The 71st National Convention of IPSJ 平成21年



第71回全国大会 大会案内/プログラム

—ITが創る豊かさ—

2009.3.10(火) > 12(木)

会場: 立命館大学 びわこ・くさつキャンパス

滋賀県草津市野路東1-1-1

《大会会期中》 Tel/Fax (077)561-5009

《聴講参加費》(稅込)

正会員3,000円 正会員(CD付)8,000円 非会員6,000円 学生無料

《講演論文集》(稅込)

4冊セット(CD-ROM1枚付) 43,000円 分冊 9,000円 CD-ROM 7,000円

《懇親会参加費》(稅込)

一般5,000円 学生3,000円

第71回全国大会スポンサー



が株式会社 知能情報システム 株式会社知能情報システム





http://www.ipsj.or.jp/

プログラム目次

	フォメーション1	6C	画像処理応用 (一般セッション)
	案内図	1D	ゲーム・ロボカップ (一般セッション)
	鉄道バス時刻表/ JR 南草津駅前バス乗り場案内図	2D 3D	音声・音楽情報処理(一般セッション)43 人工知能(1)(一般セッション)43
	暗人子 - ひわこ・\ さ フェャッハス図 案内図5	3D 4D	人工知能 (1) (一般セッション)
タイ	ステーブル	5H	自然言語処理(一般セッション)
	論文集分類と内容11	2Q	ロボカップ・ロボット (学生セッション)43
全国	大会イベント企画 /会場別プログラム12	3Q	音声の分析・合成(学生セッション)44
	大会イベント企画概要15	4Q	音声対話・音声要約(学生セッション)44
一般	/学生/デモ セッションプログラム詳細35	5Q	ニューラルネット (1) (学生セッション)
	(第1分冊 アーキテクチャ)	6Q 1R	ニューラルネット(2)(学生セッション)44 マルチエージェント(1)(学生セッション)44
1A	(第1万冊 ゲーキデンテヤ) 並列処理と動的再構成技術 (一般セッション)	2R	マルチエージェント (1) (子生セッション)
2A	仮想化技術 (一般セッション)	210	(学生セッション)
3A	高性能計算(一般セッション)35	3R	学習 (学生セッション)
4A	省電力と高信頼技術(一般セッション)35	4R	音楽演奏・生成(学生セッション)45
5A	組込みと効率化 (一般セッション)35	5R	音楽検索・解析 (学生セッション)45
4J	システム LSI 設計技術 (一般セッション)	6R	自動生成・合成(学生セッション)
1K	仮想化と言語処理系 (学生セッション)	1S	情報検索・評価分析(学生セッション)45 自然言語処理一般(学生セッション)45
2K 3K	プロセッサ設計とメモリンステム (字生セッション)35 チップマルチプロセッサと並列化技術	2S 3S	日然言語処理一板(子生セッション)
310	(学生セッション)35	4S	対話・質問応答(学生セッション)
4K	HPC と高速化(学生セッション)36	5S	認知・推論・探索(学生セッション)
5K	マルチスレッドと省電力(学生セッション)36	6S	遺伝的アルゴリズム・人工生命(学生セッション)46
6K	プロセッサと可視化(学生セッション)36	1T	画像処理の基礎技術(学生セッション)46
1L	組込みとネットワーク (学生セッション)36	2T	圧縮・復元 (学生セッション)
2L	上流設計技術 (学生セッション)	3T	検出・抽出 (学生セッション)
3L 6ZD	論理・物理設計技術 (学生セッション)	4T 5T	医用・その他応用(学生セッション)
0ZD	イットラークと専用ナーイナクテヤ (子主セッション)30	6T	「現応職 (子生でリンヨン)
	(第1分冊 ソフトウェア科学・工学)	3ZD	
6A	プログラミング教育と開発管理(一般セッション)37	デモ	セッション
1B	プログラム検証と品質管理(一般セッション)37		
$^{2\mathrm{B}}$	数理モデル化と問題解決 (一般セッション)		(第3分冊 ネットワーク)
3B	アルゴリズムとその応用 (一般セッション)	5D	ネットワーク運用管理 (一般セッション)
4B 5B	最適化問題(一般セッション)37 プログラム設計支援(一般セッション)37	6D 1E	省電力ネットワーク・システム (一般セッション)48 マルチメディア情報配信システム (一般セッション)48
эь 4L	要求定義とプログラミング言語・設計・実装	2E	ITS (一般セッション)
TL	(学生セッション)	3E	センサネットワーク (一般セッション)
5L	プログラミング支援環境(学生セッション)38	4E	分散応用システム (一般セッション)48
6L	ソフトウェア設計(学生セッション)38	1U	センサネットワークシステム(学生セッション)48
1M	ソフトウェア実装 (学生セッション)	2U	センサネットワークプロトコル (学生セッション)49
2M	進化的計算とデータマイニング(学生セッション)38	3U	ネットワーク制御(学生セッション)49 位置推定(学生セッション)49
3M 4M	数理モデルと問題解決(学生セッション)	4U 5U	世世様だ (子生でッション)
5M	アルゴリズム (学生セッション)	6U	ネットワーク応用 (学生セッション)
6M	ソフトウェア開発(学生セッション)39	1V	プロトコルと性能測定 (学生セッション)49
デモ・	セッション39	2V	ネットワーク理論・プロトコル(学生セッション)49
		3V	ITS (学生セッション)50
CD	(第 1 分冊 データベースとメディア) マイニング(一般セッション)39	4V	P2P (学生セッション)50 ナビゲーション (学生セッション)50
6В 1С	マイーング (一般セッション)39 コンテンツ作成支援 (一般セッション)39	5V 6V	分散システム・運用管理(学生セッション)
2C	コンテンツ推薦 (一般セッション)	1W	映像処理システム (学生セッション)
3C	情報検索(一般セッション)39	2W	ユビキタスコンピューティング (学生セッション)50
4C	情報システム(一般セッション)39	3W	ロボットと社会インフラ(学生セッション)51
1N	Web サービス提供(学生セッション)39	デモ	セッション51
2N	Web 応用(学生セッション)40		(** 0 /) **
3N 4N	メタデータ活用(学生セッション)40 マルチメディアとメタデータ(学生セッション)40	5E	(第3分冊 セキュリティ) システム・ネットワークセキュリティ
5N	推薦 (学生セッション)	ЭE	(一般セッション)51
6N	ビジネス応用(学生セッション)40	6E	セキュリティと社会 (一般セッション)
1P	XML と応用(学生セッション)40	$4\mathrm{W}$	認証・アクセス制御(学生セッション)51
2P	Web マイニング(学生セッション)41	5W	ネットワークセキュリティ (学生セッション)51
3P	情報管理とシステム(学生セッション)41	6W	セキュリティと社会・リスク管理 (学生セッション)51
4P	情報可視化 (学生セッション)	1X	セキュア設計・実装・フォレンジクス
5P 6P	情報検索 (1) (学生セッション)	デエ	(学生セッション)
6P 1Q	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	ノモ	Lyvav
-	セッション		(第 4 分冊 インタフェース)
		1F	知的ヒューマンインタフェース (一般セッション)53
	/6t 0 // m 1 = 1 = 1 = 1 = 1 = 1 = 1 = 1 = 1 = 1	2F	インタフェースデザイン (一般セッション)
EC	(第2分冊 人工知能と認知科学) 画像処理基礎(一般セッション)43	3F 4F	グループウェア(一般セッション)53 CG 一般(一般セッション)53
5C	四	4Γ	しひ 川又 (一川又でツィョマ)

5F	仮想現実 (一般セッション)53
2X	情報共有 (学生セッション)53
3X	Web 応用 (学生セッション)53
4X	組織知 (学生セッション)54
5X	VR 基礎 (学生セッション)54
6X	VR とセンサ (学生セッション)54
1Y	ユーザインタフェース (学生セッション)54
2Y	入出力インタフェース (学生セッション)54
3Y	アンビエント・インタフェース (学生セッション)54
4Y	AR と VR (学生セッション)
5Y	コミュニケーション支援 (学生セッション)
6Y	感性 (学生セッション)
1Z	アニメーション (学生セッション)
2Z	自然現象 (学生セッション)
3Z	CG と可視化 (学生セッション)
5Z	モデリング (学生セッション)
6Z	CG システム (学生セッション)
1ZA	VR システム (学生セッション)
	グルンスケム (千工 こりつョン)
,	- 9 > 3 >
	(第4分冊 コンピュータと人間社会)
1G	教育支援システム・教育実践 (一般セッション)
2G	教育方法・教育システム (一般セッション)
2G 3G	人文科学 (一般セッション)
4G	ソフトウェア開発教育・各分野の教育 (1)
40	(一般セッション)
5G	プログラミング教育(一般セッション)
6G	情報危機管理教育・各分野の教育(2)
uu	(一般セッション)
1H	意思決定支援とデータ分析 (一般セッション)
	思心伏足又扱こノークカ州 (一放モッション)
2H	業務分析と情報セキュリティー(一般セッション)57
2H 3H	業務分析と情報セキュリティー (一般セッション)57 医療分野への応用 (2) (一般セッション)57
2H 3H 4H	業務分析と情報セキュリティー (一般セッション)57 医療分野への応用 (2) (一般セッション)57 医療分野への応用 (3) (一般セッション)57
2H 3H 4H 6H	業務分析と情報セキュリティー (一般セッション)57 医療分野への応用 (2) (一般セッション)57 医療分野への応用 (3) (一般セッション)57 情報システムのインタフェース (一般セッション)57
2H 3H 4H 6H 2ZA	業務分析と情報セキュリティー (一般セッション)57 医療分野への応用 (2) (一般セッション)57 医療分野への応用 (3) (一般セッション)57 情報システムのインタフェース (一般セッション)57 情報社会を支える技術 (1) (学生セッション)57
2H 3H 4H 6H 2ZA 3ZA	業務分析と情報セキュリティー (一般セッション)57 医療分野への応用 (2) (一般セッション)57 医療分野への応用 (3) (一般セッション)57 情報システムのインタフェース (一般セッション)57 情報社会を支える技術 (1) (学生セッション)57 情報社会を支える技術 (2) (学生セッション)58
2H 3H 4H 6H 2ZA 3ZA 4ZA	業務分析と情報セキュリティー (一般セッション)57 医療分野への応用 (2) (一般セッション)57 医療分野への応用 (3) (一般セッション)57 情報システムのインタフェース (一般セッション)57 情報社会を支える技術 (1) (学生セッション)57 情報社会を支える技術 (2) (学生セッション)58 組織の情報システム (学生セッション)58
2H 3H 4H 6H 2ZA 3ZA 4ZA 5ZA	業務分析と情報セキュリティー (一般セッション)57 医療分野への応用 (2) (一般セッション)57 医療分野への応用 (3) (一般セッション)57 情報システムのインタフェース (一般セッション)57 情報社会を支える技術 (1) (学生セッション)57 情報社会を支える技術 (2) (学生セッション)58 組織の情報システム (学生セッション)58 防災と情報 (学生セッション)58
2H 3H 4H 6H 2ZA 3ZA 4ZA 5ZA 6ZA	業務分析と情報セキュリティー (一般セッション)57 医療分野への応用 (2) (一般セッション)57 医療分野への応用 (3) (一般セッション)57 情報システムのインタフェース (一般セッション)57 情報社会を支える技術 (1) (学生セッション)57 情報社会を支える技術 (2) (学生セッション)58 組織の情報システム (学生セッション)58 防災と情報 (学生セッション)58
2H 3H 4H 6H 2ZA 3ZA 4ZA 5ZA	業務分析と情報セキュリティー (一般セッション)57 医療分野への応用 (2) (一般セッション)57 医療分野への応用 (3) (一般セッション)57 情報システムのインタフェース (一般セッション)57 情報社会を支える技術 (1) (学生セッション)57 情報社会を支える技術 (2) (学生セッション)58 組織の情報システム (学生セッション)58 防災と情報 (学生セッション)58 行動支援とインタフェース (学生セッション)58 情報教育方法論・教育支援システム
2H 3H 4H 6H 2ZA 3ZA 4ZA 5ZA 6ZA 1ZB	業務分析と情報セキュリティー (一般セッション)57 医療分野への応用 (2) (一般セッション)57 医療分野への応用 (3) (一般セッション)57 情報システムのインタフェース (一般セッション)57 情報社会を支える技術 (1) (学生セッション)57 情報社会を支える技術 (2) (学生セッション)58 組織の情報システム (学生セッション)58 防災と情報 (学生セッション)58 行動支援とインタフェース (学生セッション)58 情報教育方法論・教育支援システム (学生セッション)58
2H 3H 4H 6H 2ZA 3ZA 4ZA 5ZA 6ZA	業務分析と情報セキュリティー (一般セッション)57 医療分野への応用 (2) (一般セッション)57 医療分野への応用 (3) (一般セッション)57 情報システムのインタフェース (一般セッション)57 情報社会を支える技術 (1) (学生セッション)57 情報社会を支える技術 (2) (学生セッション)58 組織の情報システム (学生セッション)58 防災と情報 (学生セッション)58 行動支援とインタフェース (学生セッション)58 情報教育方法論・教育支援システム (学生セッション)58
2H 3H 4H 6H 2ZA 3ZA 4ZA 5ZA 6ZA 1ZB	業務分析と情報セキュリティー (一般セッション)57 医療分野への応用 (2) (一般セッション)57 医療分野への応用 (3) (一般セッション)57 情報システムのインタフェース (一般セッション)57 情報社会を支える技術 (1) (学生セッション)57 情報社会を支える技術 (2) (学生セッション)58 組織の情報システム (学生セッション)58 防災と情報 (学生セッション)58 防災と情報 (学生セッション)58 情報教育方法論・教育支援システム (学生セッション)58 プログラミング教育・ロボット・動画・仮想空間を 用いた教育 (学生セッション)58
2H 3H 4H 6H 2ZA 3ZA 4ZA 5ZA 6ZA 1ZB 2ZB	業務分析と情報セキュリティー (一般セッション)57 医療分野への応用 (2) (一般セッション)57 医療分野への応用 (3) (一般セッション)57 情報システムのインタフェース (一般セッション)57 情報社会を支える技術 (1) (学生セッション)57 情報社会を支える技術 (2) (学生セッション)58 組織の情報システム (学生セッション)58 防災と情報 (学生セッション)58 防災と情報 (学生セッション)58 情報教育方法論・教育支援システム (学生セッション)58 情報教育方法論・教育支援システム (学生セッション)58 情報教育方法論・教育支援システム (学生セッション)58 情報社会を支える技術 (3) (学生セッション)59
2H 3H 4H 6H 2ZA 3ZA 4ZA 5ZA 6ZA 1ZB 2ZB	業務分析と情報セキュリティー (一般セッション)57 医療分野への応用 (2) (一般セッション)57 医療分野への応用 (3) (一般セッション)57 情報システムのインタフェース (一般セッション)57 情報社会を支える技術 (1) (学生セッション)57 情報社会を支える技術 (2) (学生セッション)58 組織の情報システム (学生セッション)58 防災と情報 (学生セッション)58 行動支援とインタフェース (学生セッション)58 情報教育方法論・教育支援システム (学生セッション)58 情報教育方法論・教育支援システム (学生セッション)58 情報社会を支える技術 (3) (学生セッション)59
2H 3H 4H 6H 2ZA 3ZA 4ZA 5ZA 6ZA 1ZB 2ZB 3ZB 4ZB 5ZB	業務分析と情報セキュリティー (一般セッション)57 医療分野への応用 (2) (一般セッション)57 医療分野への応用 (3) (一般セッション)57 情報システムのインタフェース (一般セッション)57 情報社会を支える技術 (1) (学生セッション)57 情報社会を支える技術 (2) (学生セッション)58 組織の情報システム (学生セッション)58 防災と情報 (学生セッション)58 情報教育方法論・教育支援システム (学生セッション)58 情報教育方法論・教育支援システム (学生セッション)58 情報社会を支える技術 (3) (学生セッション)59 自治学教育・音楽教育・心理学教育(学生セッション)59 e-learning・PBL (学生セッション)59
2H 3H 4H 6H 2ZA 3ZA 4ZA 5ZA 6ZA 1ZB 2ZB 3ZB 4ZB 5ZB 6ZB	業務分析と情報セキュリティー (一般セッション)57 医療分野への応用 (2) (一般セッション)
2H 3H 4H 6H 2ZA 3ZA 4ZA 5ZA 6ZA 1ZB 2ZB 3ZB 4ZB 5ZB 6ZB 1ZC	業務分析と情報セキュリティー (一般セッション)57 医療分野への応用 (2) (一般セッション)57 医療分野への応用 (3) (一般セッション)57 情報システムのインタフェース (一般セッション)57 情報社会を支える技術 (1) (学生セッション)57 情報社会を支える技術 (2) (学生セッション)58 組織の情報システム (学生セッション)58 防災と情報 (学生セッション)58 防災と情報 (学生セッション)58 情報教育方法論・教育支援システム (学生セッション)58 情報教育方法論・教育支援システム (学生セッション)58 情報社会を支える技術 (3) (学生セッション)59 由学教育・音楽教育・心理学教育 (学生セッション)59 e-learning・PBL (学生セッション)59 教育システム (学生セッション)59
2H 3H 4H 6H 2ZA 3ZA 4ZA 5ZA 6ZA 1ZB 2ZB 3ZB 4ZB 5ZB 6ZB 1ZC 2ZC	業務分析と情報セキュリティー (一般セッション)
2H 3H 4H 6H 2ZA 3ZA 4ZA 5ZA 6ZA 1ZB 2ZB 3ZB 4ZB 5ZB 6ZB 1ZC 2ZC 3ZC	業務分析と情報セキュリティー (一般セッション)
2H 3H 4H 6H 2ZA 3ZA 4ZA 5ZA 6ZA 1ZB 2ZB 3ZB 4ZB 5ZB 6ZB 1ZC 2ZC 3ZC 4ZC	業務分析と情報セキュリティー (一般セッション)57 医療分野への応用 (2) (一般セッション)57 医療分野への応用 (3) (一般セッション)57 情報システムのインタフェース (一般セッション)57 情報社会を支える技術 (1) (学生セッション)57 情報社会を支える技術 (2) (学生セッション)58 組織の情報システム (学生セッション)58 防災と情報 (学生セッション)58 情報教育方法論・教育支援システム (学生セッション)58 情報教育方法論・教育支援システム (学生セッション)58 情報教育方法論・教育支援システム (学生セッション)58 情報社会を支える技術 (3) (学生セッション)59 用いた教育 (学生セッション)59 自会和ring・PBL (学生セッション)59 e-learning・PBL (学生セッション)59 メ育システム (学生セッション)59 バイオ情報学と医用画像 (学生セッション)59 医療分野への応用 (1) (学生セッション)59 地域と観光 (学生セッション)59
2H 3H 4H 6H 2ZA 3ZA 4ZA 5ZA 6ZA 1ZB 2ZB 3ZB 4ZB 5ZB 6ZB 1ZC 2ZC 3ZC	業務分析と情報セキュリティー (一般セッション)57 医療分野への応用 (2) (一般セッション)57 医療分野への応用 (3) (一般セッション)57 情報システムのインタフェース (一般セッション)57 情報社会を支える技術 (1) (学生セッション)57 情報社会を支える技術 (2) (学生セッション)58 組織の情報システム (学生セッション)58 防災と情報 (学生セッション)58 情報教育方法論・教育支援システム (学生セッション)58 情報教育方法論・教育支援システム (学生セッション)58 情報教育方法論・教育支援システム (学生セッション)58 情報社会を支える技術 (3) (学生セッション)59 用いた教育 (学生セッション)59 自中和 (学生セッション)59 を・音楽教育・心理学教育 (学生セッション)59 を・音楽教育・心理学教育 (学生セッション)59 バイオ情報学と医用画像 (学生セッション)59 医療分野への応用 (1) (学生セッション)59 地域と観光 (学生セッション)59
2H 3H 4H 6H 2ZA 3ZA 4ZA 5ZA 6ZA 1ZB 2ZB 3ZB 4ZB 5ZB 6ZB 1ZC 2ZC 3ZC 4ZC 5ZC	業務分析と情報セキュリティー (一般セッション)
2H 3H 4H 6H 2ZA 3ZA 4ZA 5ZA 6ZA 1ZB 2ZB 3ZB 4ZB 5ZB 6ZB 1ZC 2ZC 3ZC 4ZC 5ZC	業務分析と情報セキュリティー (一般セッション)
2H 3H 4H 6H 2ZA 3ZA 4ZA 5ZA 6ZA 1ZB 2ZB 3ZB 4ZB 5ZB 6ZB 1ZC 2ZC 3ZC 4ZC 5ZC 4ZC 5ZC	業務分析と情報セキュリティー (一般セッション)

- インフォメーション -

- ■**総受付(インフォメーションコーナー)** クリエーションコア 1 階 エントランスホール 受付時間:10日(火)8:40-16:30 11日(水)8:40-17:00 12日(木)8:40-15:30 各種受付,講演論文集・CD-ROM販売,各種問合せ窓口
- ■大会本部・手荷物預かり クリエーションコア 1 階 CC101 教室 臨時電話(FAX 兼用)077-561-5009(会期中のみ)

■聴講参加費 [プログラム・参加章付き] (税込)

正会員:3,000 円 正会員 (CD-ROM 付):8,000 円 一般非会員:6,000 円

学生:無料(会員非会員問わず)

■講演論文集・CD-ROM(税込)

講演論文集セット(全論文集・CD-ROM・カバー付き): 43,000 円

講演論文集各分冊:9,000 円

講演論文集 CD-ROM: 7,000 円 *CD-ROM には一般講演全論文とプログラム収録

■懇親会

日時:3月11日(水)18:00-20:00

会場: リンクスクエア 1階 リンク食堂 参加費(税込): 社会人 5,000 円 学生 3,000 円

■その他お知らせ事項

[連絡掲示板]

大会会場での周知および伝言等は、総受付前に設置する「連絡掲示板」に掲示しますのでご注意ください. 各会場への個別の連絡や館内アナウンス等は致しません.

[インターネット接続コーナー (無線 LAN)]

利用可能エリア:利用可能エリア:コラーニングハウス I 1階 C108 教室, C109 教室 ご希望の方は、大会総受付に利用申込書がございますので、必要事項をご記入のうえ総受付に提出してください。利用申込書と引き換えにアカウントとパスワードを記載した用紙をお渡し致します。なお、電源は提供しておりません。

[食堂・売店]

ユニオンスクエア 1階 ユニオン食堂 (営業時間 $11:00 \sim 14:00$) シー・キューブ 1階 喫茶シー・キューブ (営業時間 $12:00 \sim 18:00$) ユニオンスクエア 1階 ユニオンコンビニショップ (営業時間 $8:30 \sim 18:00$) リンクスクエア 1階 生協ショップ (営業時間 $11:00 \sim 16:00$)

[喫煙について]

キャンパス内は、以下の場所以外は全て禁煙です.

・喫煙シェルター (プリズムハウスとコラーニングハウス I の間にあります)

[最寄り駅までの交通]

- ・近江鉄道バス JR 南草津駅, JR 草津駅をご利用ください.
 - * [JR 大津駅←→立命館大学], [京阪中書島駅←→立命館大学] のバスは大学の職員・学生の方が優先利用されますので, 全国大会参加者の方はご利用できません.
- ・タクシー会社 近江タクシー:077-563-0106 帝産タクシー滋賀:0120-530818

■今後の全国大会・FIT 情報

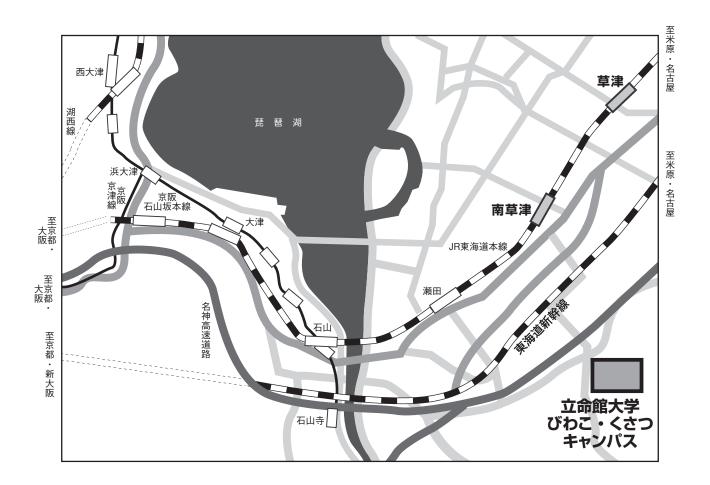
FIT2009 第8回情報科学技術フォーラム

会期:2009年9月2日(水)~4日(金)会場:東北工業大学 八木山キャンパス

第72回全国大会(学会創立50周年記念全国大会)

会期:2010年3月9日(火)~11日(木)会場:東京大学 本郷キャンパス

会場案内図



■主要駅/空港からのアクセス

- ・東京/新横浜/名古屋駅(東海道新幹線ひかり)→米原駅(東海道本線新快速)→草津駅(または草津駅(東海道本線普通)→南草津駅)
- ・東京/ 別頃次/ 日日皇前(宋海道和軒線のでみ) → 京都駅(東海道本線普通) → 南草津駅 ・東京/ 品川/ 新横浜駅(東海道新幹線のでみ) → 京都駅(東海道本線普通) → 南草津駅 ・三宮(神戸) / 大阪/京都駅(東海道本線新快速) → 石山駅(東海道本線普通) → 南草津駅 ・関西空港駅(JR西日本「特急はるか」) → 京都駅(東海道本線普通) → 南草津駅 ・大阪(伊丹) 空港(空港リムジンバス) → 京都駅(東海道本線普通) → 南草津駅

■南草津駅(最寄り駅)ご利用の場合(所要時間15~20分)

- ・JR京都駅2番線/3番線 [JR琵琶湖線(東海道本線)] 普通電車(草津・米原・長浜方面行)にて約20分、JR南草津駅が最寄りです。
- ・新快速電車は南草津駅には停車しません。石山駅で普通電車にお乗り換えください。 (姫路・大阪方面からの快速電車は、南草津駅に停車します。)
- ・南草津駅東口の「南草津駅」バス停より、近江鉄道バスで「立命館大学」行きにご乗車ください。
- ・会場最寄りのバス停は「立命館大学」(キャンパス内バス停)です。「立命館大学正門前」で下車されませんようご注意ください。

- ■草津駅(新快速停車駅)ご利用の場合(所要時間30~40分) ・草津駅東口の「草津駅」バス停より、近江鉄道バスで「立命館大学」行きまたは「福祉センター(立命館大学経由)」行きにご乗車ください。 ・会場最寄りのバス停は「立命館大学」(キャンパス内バス停)です。「立命館大学正門前」で下車されませんようご注意ください。

近江鉄道バス時刻表

■■■ 南草津駅時刻表 (南草津駅→立命館大学)

		[1]	立命館	馆大学	行(直	通)		
8 9	15 43	20 54	30	31	33	39	45	58
10 11	11 00	13 15	29 30	45 45				
12 13	00	15 15	45 45					

] 立記	命館大	学行	(パナ	ソニッ	ク方面	1経由)
03	08	15	20	30	45		
		20	20				
	51	29	29				
06							
21	4.5						
	03 10 13 22	03 08 10 37 13 21 22 51 06 21	03 08 15 10 37 13 21 29 22 51 06 21	03 08 15 20 10 37 13 21 29 29 22 51 06 21	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	10 37 13 21 29 29 22 51 06 21

[2] 立命館大学行(かがやき通り/笠山経由)											
7 49 8 08 9 10 10 11 11 00 12 00 13 00 14 00 15 00 16 00 17 05 18 05	18 25 18 20 15 21 05 15 15 30 05 15 05 15 05 15 05 15 05 16 20 25 55 55	31 35 26 37 30 45 30 35 35 45 30 35 30 35 30 35 30 45 35 46	36 39 43 45 45 45 45	45 58 54							

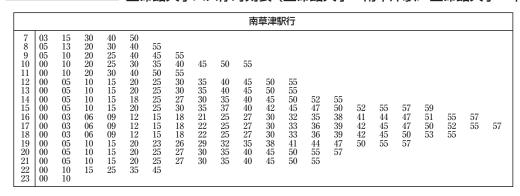
[3]	立命	館大	学行(.	パナン	ノニック	東口	経由)
7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18	立所 00 33 10 11 00 00 00 00 00 00 00 00	25 39 18 30 15 15 15 15 16 17 17	学行 (35 42 26 45 30 45 30 45 30 31 33 32	47 58 43 45 45 45 45 46 47 47	/ <u>ーック</u> 58 54	7果山	<u>経田)</u>
19 20 21	02 02 02 02	17 17 17	32 32 32 32	47 47 47			

草津駅時刻表(草津駅→立命館大学)

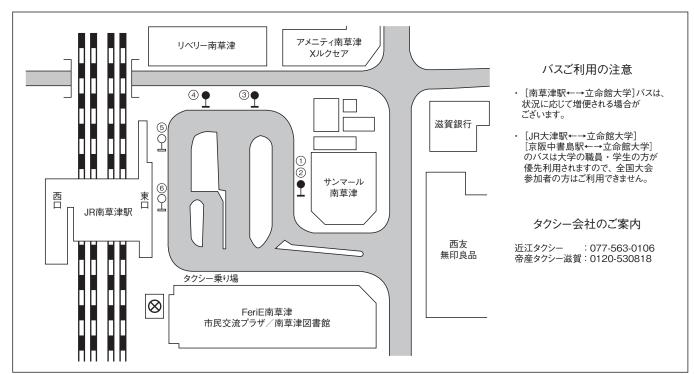
福祉センター行(立命館大学経由)							
8 9 10 11 12	00 15 00	50 40 55 55 40					

		立命館大学行	
7 8			40
8	20	30	
9 10	15		40
11		25	40
12 13	20 20		40
14	15	30	
15	15	30	45 35
16 17	00 15	15 30	35 50
18	10	25	
19 20		30 25 25 25 25	55
20	15	25	

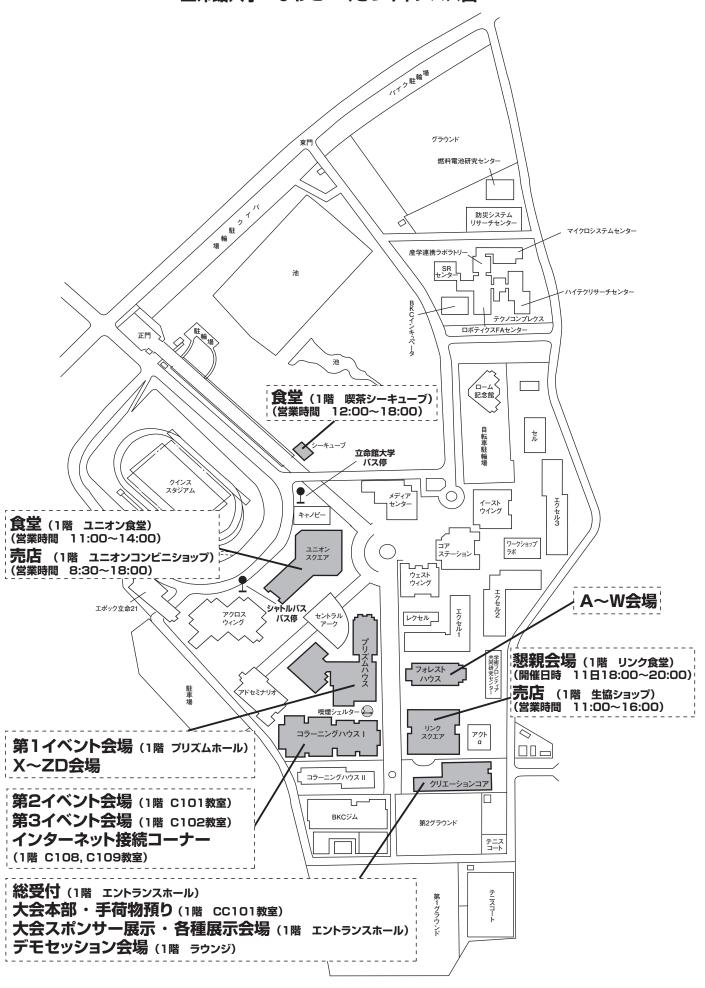
立命館大学バス停時刻表(立命館大学→南草津駅/立命館大学→草津駅)■



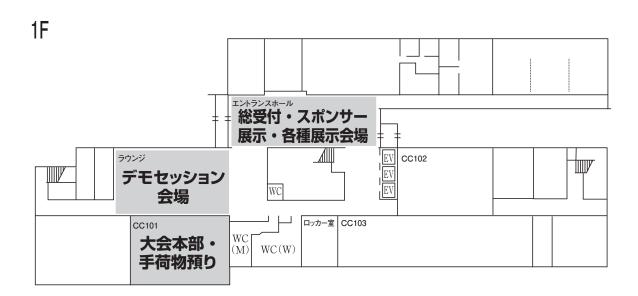
	草津縣	尺行	
9 0 10 0 11 0 12 0 13 0 14 1 15 0 16 0 17 0 18 0 20 0 21 1	155 100 40 100 17 170 17 100 17 1	45 40 40 53 45 35 35 35 50 50	55 55 50 50 50



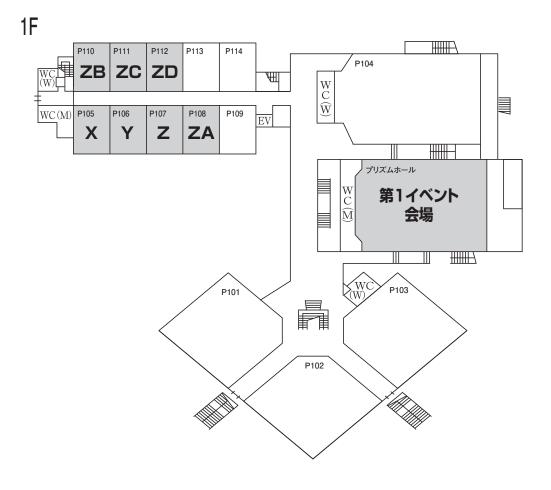
立命館大学 びわこ・くさつキャンパス図



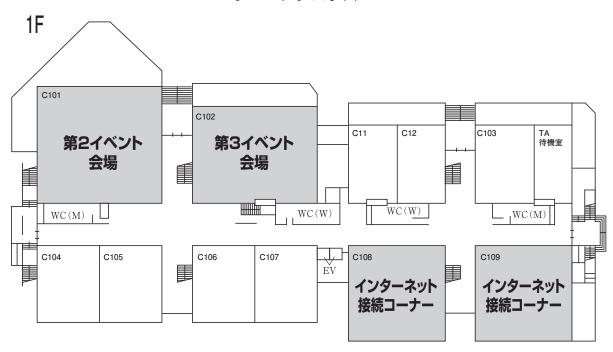
クリエーションコア



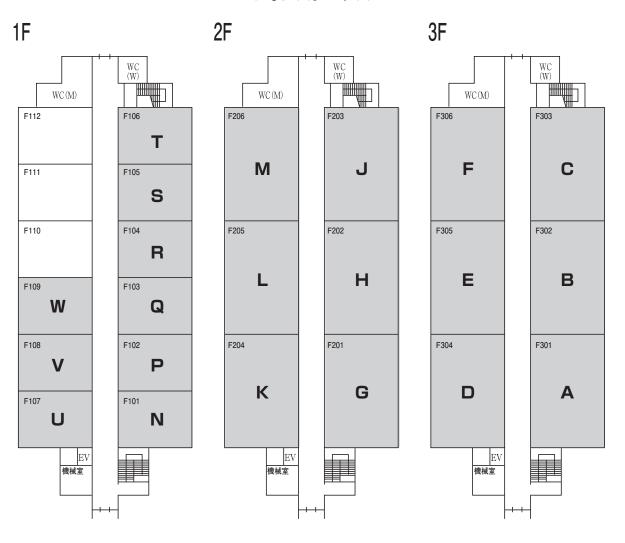
プリズムハウス



コラーニングハウス |



フォレストハウス



情報処理学会 第71回全国大会 タイムテーブル

	会場	第1イベント会場	第2イベント会場	第3イベント会場	一般セッション A	一般セッション B	一般セッション C	一般セッション
日	時間	プリズムハウス 1階 プリズムホール	コラーニングハウスI 1階 C101教室	コラーニングハウスI 1階 C102教室	フォレストハウス 3階 F301教室	フォレストハウス 3階 F302教室	フォレストハウス 3階 F303教室	フォレストハウス 3階 F304教室
	9:30	特別セッション(1)	シンポジウム(1)		並列処理と 動的再構成技術	プログラム検証と 品質管理	コンテンツ作成支援	ゲーム・ロボカップ
	1	最先端IT技術による 防災・減災の現在と未来	学会の新たなベクトルに向けて: 情報セキュリティ心理学と トラスト研究グループの 立ち上げと期待される 今後の活動		嶋田 創	永籐 直行 (立命館大)	大村 廉 (慶大)	中島 智晴 (大阪府大)
3 月	12:00	17	27		① 35	① 37	① 39	② 43
10 日 (火)	13:00 14:15	招待講演(1) ヒトとマシンの協働を支える 4次元都市時空間情報インフラ 柴崎 亮介 (東京大学空間情報科学研究センター センター長 教授) 15						
	14:30	特別セッション(2)	シンポジウム(2)		仮想化技術	数理モデル化と 問題解決	コンテンツ推薦	音声・音楽情報処理
	2	コンピュータ将棋は止まらない -人間トップに勝つ コンピュータ将棋-	私の詩と真実		田端 利宏	佐藤 彰洋 (京大)	出羽 達也	伊藤 彰則 (東北大)
	17:00	18	28		① 35	① 37	① 39	② 43
	9:30	特別セッション(3)	シンポジウム(3)		高性能計算	アルゴリズムと その応用	情報検索	人工知能(1)
	3	この1曲が 私の研究テーマを決めた	2008年度以降の 一般情報教育のあり方を問う		合田 憲人 (国立情報学研)	久保田光一 (中大)	江口 浩二 (神戸大)	長尾 確 (名大)
	12:00	20	29		① 35	① 37	① 39	② 43
	13:40 13:40	大 会 挨 拶 表 彰 式 認 証 式		特別セッション(7)				
3 月 11 日 (水)	13:50 14:30	招待講演(2) Software Standards - Providing Support for Today's Software Crisis Susan Kathy Land (IEEE-CS会長) 15		ロボカップ春季競技会				
	14:35 15:15	招待講演(3) The Seoul Accord: Toward Mutual Recognition of Accredited Computing Programs for Computing Professions Sung Jo Kim (KIISE会長) ₁₆		10:00 - 17:00 予選1次リーグ				
	15:30	特別セッション(4)	シンポジウム(4)		省電力と高信頼技術	最適化問題	情報システム	人工知能(2)
	4	加速度センサと その応用技術・事例	情報を副専攻とする 理工系学科の知識項目		吉瀬 謙二 (東工大)	畠中 利治 (阪大)	天笠 俊之 (筑波大)	和泉 憲明 (産総研)
	17:30	22	30	27	① 35	① 37	① 39	② 43
	9:30	特別セッション(5)	シンポジウム(5)	特別セッション(7)	組込みと効率化	プログラム設計支援	画像処理基礎	ネットワーク運用管理
	5	擬人化エージェントとの 音声対話を実現する 基盤ソフトウェア	ソウルアコード- 情報専門学部教育認定の 国際相互承認	ロボカップ春季競技会 10:00 - 12:00 決勝リーグ	毛利 公一	鷲崎 弘宜 (早大)	井手 一郎 (名大/国立情報学研)	石原 丈士 (東芝)
	12:00	24	31		① 35	① 37	② 43	3 48
月 12 日 (大)	13:00 14:15	招待講演(4) 時代の求める技術開発 三輪 真 (パナソニック(株) 東京R&Dセンター 所長)		13:00 - 14:30 決勝戦・順位決定戦				
	14:30	特別セッション(6)	シンポジウム(6)	14:30 - 15:00	プログラミング教育と 開発管理	マイニング	画像処理応用	省電力 ネットワーク・システム
	6	未来の生活を変える AIPSロボティクス [Artificial Intelligent Partner System] 〜未来の生活を変える メカエレキソフトの融合技術〜	IT専門職大学院を対象とした 認証評価モデル	表彰式	白銀 純子 (東京女子大)	高須 淳宏 (国立情報学研)	鈴木 健嗣 (筑波大)	中川 智尋 (NTTドコモ)
	16:30	25	33	27	① 37	① 39	2 43	③ 48

※表中の○囲み数字は講演論文集の掲載分冊番号です。また、右下の数字は当プログラム冊子の詳細掲載ページ番号です。

情報処理学会 第71回全国大会

В	会場	一般セッション E	一般セッション F	一般セッション G	一般セッション H	一般セッション J	学生セッション K	学生セッション L	学生セッション M
	時間 9:30	フォレストハウス 3階 F305教室	フォレストハウス 3階 F306教室	フォレストハウス 2階 F201教室	フォレストハウス 2階 F202教室	フォレストハウス 2階 F203教室	フォレストハウス 2階 F204教室	フォレストハウス 2階 F205教室	フォレストハウス 2階 F206教室
	9.50	マルチメディア情報 配信システム	知的ヒューマン インタフェース	教育支援システム・ 教育実践	意思決定支援と データ分析		仮想化と言語処理系	組込みとネットワーク	ソフトウェア実装
	1	甲藤 二郎 (早大)	中西 英之 (阪大)	辰己 丈夫 (農工大)	鷲崎 早雄 (静岡産業大)		揚妻 匡邦 (日立)	阿部 洋丈 (豊橋技科大)	服部 哲 (東工大)
3	12:00	③ 48	4)53	4)56	④ 57		① 35	① 36	① 38
月 10 日	13:00				,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,				
(火)	14:15								
	14:30	ITS	/ インタフェース デザイン	教育方法・教育システム	業務分析と情報セキュリティー		プロセッサ設計と メモリシステム	上流設計技術	進化的計算と データマイニング
	2	梅津 高朗 (阪大)	中村 嘉志	大即 洋子 (清和大)	南波 幸雄 (産業技術大)		橋本 隆 (パナソニック)	山田 晃久 (シャープ)	山田 武士 (NTT)
	17:00	③ 48	4)53	4)56	④ 57		① 35	① 36	① 38
	9:30	センサネットワーク	グループウェア	人文科学	医療分野への 応用(2)		チップマルチプロセッサと 並列化技術	論理・物理設計技術	数理モデルと 問題解決
	3	横田 裕介	金井 秀明 (北陸先端大)	小方 孝 (岩手県大)	田中 充 (岩手県大)		宮嶋 浩志 (パナソニック)	金本 俊幾 (ルネサステクノロジ)	鈴木 智也 (同志社大)
	12:00	③ 48	(4)53	4) 56	4 57		① 35	① 36	① 38
	13:00								
3	13:40 13:50								
月 11 日 (水)	14:30								
	14:35								
	15:15 15:30								
	15.50	分散応用システム	CG一般	ソフトウェア開発教育・ 各分野の教育(1)	医療分野への 応用(3)	システムLSI 設計技術	HPCと高速化	要求定義と プログラミング言語・ 設計・実装	ソフトウェア分析
	4	今野 将 (千葉工大)	高橋時市郎 (電機大)	立田 ルミ (獨協大)	松田 浩一 (岩手県大)	福水 洋平 (立命館大)	加納 健 (NEC)	吉川 隆英 (富士通研)	丸山 勝久 (立命館大)
	17:30	③ 48	④ 53	4)57	④ 57	① 35	① 36	① 37	① 38
	9:30	システム・ネットワーク セキュリティ	仮想現実	プログラミング教育	自然言語処理		マルチスレッドと 省電力	プログラミング 支援環境	アルゴリズム
	5	上原哲太郎 (京大)	吉高 淳夫	長 慎也 (一橋大)	福本 淳一 (立命館大)		佐藤 真琴 (日立)	中田 秀基	堀山 貴史 (埼玉大)
	12:00	③ 51	(4)53	4)57	② 43		① 36	① 38	① 38
3 月	13:00								
12 日 (木)	14:15								
	14:30	セキュリティと社会		情報危機管理教育・ 各分野の教育(2)	情報システムの インタフェース		プロセッサと可視化	ソフトウェア設計	ソフトウェア開発
	6	須賀 祐治 (IIJ)		西田 知博	高田 喜朗 (高知工科大)		上久保雅規 (NEC)	蜂巣 吉成 (南山大)	吉田 敦
	16:30	③ 51		457	④ 57		① 36	① 38	① 39

※表中の○囲み数字は講演論文集の掲載分冊番号です。また、右下の数字は当プログラム冊子の詳細掲載ページ番号です。

学生セッション N フォレストハウス 1階 F101教室	学生セッション P フォレストハウス 1階 F102教室	学生セッション Q フォレストハウス 1階 F103教室	学生セッション R フォレストハウス 1階 F104教室	学生セッション S フォレストハウス 1階 F105教室	学生セッション T フォレストハウス 1階 F106教室	学生セッション U フォレストハウス 1階 F107教室	学生セッション V フォレストハウス 1階 F108教室	学生セッション W フォレストハウス 1階 F109教室
Webサービス提供	XMLと応用	ユーザ支援	マルチエージェント(1)	情報検索・評価分析	画像処理の基礎技術	センサネットワーク システム	プロトコルと性能測定	映像処理システム
志築文太郎 (筑波大)	高山 毅 (岩手県大)	鈴木 優 (東芝)	服部 宏充	高村 大也 (東工大)	中井 宏章 (東芝)	岩本 健嗣 (KDDI研)	藤崎 智宏 (NTT)	高木 真一 (早大)
① 39	① 40	① 41	② 44	② 45	② 46	3 48	3 49	③ ₅₀
Web応用	Webマイニング	ロボカップ・ロボット	マルチエージェント(2)・ 知識ベース	自然言語処理一般	圧縮・復元	センサネットワーク プロトコル	ネットワーク理論・ プロトコル	ユビキタス コンピューティング
高橋 慈子 (ハーティネス)	鈴木 伸崇 (筑波大)	高橋 友一 (名城大)	松原 繁夫 (京大)	内山 将夫 (NICT)	西尾 孝治 (阪工大)	石原 進 (静岡大)	地引 昌弘 (NEC)	山口 弘純 (阪大)
① 40	① 41	② 43	2 44	② 45	2 46	3 49	3 49	③ 50
メタデータ活用	情報管理とシステム	音声の分析・合成	学習	情報抽出	検出・抽出	ネットワーク制御	ITS	ロボットと社会インフラ
森 正弥 (楽天)	河合 秀紀 (NEC)	服部 浩明 (NEC情報システムズ)	福田 直樹 (静岡大)	中川 哲治 (NICT)	新田 直子 (阪大)	柳生 智彦 (NEC)	屋代 智之 (千葉工大)	村川 賀彦 (富士通研)
① 40	① 41	② 44	② 44	② 45	② 46	3 49	3 50	3 51
マルチメディアと メタデータ	情報可視化	音声対話・音声要約	音楽演奏・生成	対話・質問応答	医用・その他応用	位置推定	P2P	認証・アクセス制御
奥村 学 (東工大)	遠山 元道 (慶大)	東中竜一郎 (NTT)	平賀 譲 (筑波大)	北村美穂子 (沖電気)	勞 世紅 (オムロン)	上坂 大輔 (KDDI研)	田上 敦士 (KDDI研)	松崎なつめ (パナソニック)
① 40	① 41	② 44	② 45	② 45	② 46	3 49	③ 50	③ 51
推薦	情報検索(1)	ニューラルネット (1)	音楽検索・解析	認知・推論・探索	顔認識	センサネットワーク 運用・制御	ナビゲーション	ネットワーク セキュリティ
井上 潮 (電機大)	岩山 真 (日立)	松本 哲也 (名大)	平田 圭二 (NTT)	片上 大輔 (東工大)	山崎 龍次 (パナソニックシステム ソリューションズ)	長谷川輝之 (KDDI研)	今井 尚樹 (KDDI研)	寺田 真敏 (日立)
① 40	① 41	② 44	② 45	② 46	② 47	3 49	3 50	3 51
ビジネス応用	情報検索(2)	ニューラルネット (2)	自動生成・合成	遺伝的アルゴリズム・ 人工生命	ロボットビジョン・ 行動認識	ネットワーク応用	分散システム・ 運用管理	セキュリティと社会・ リスク管理
奥 雅博 (NTT)	佐藤 貴子 (横浜国大)	鈴木 麗璽 (名大)	杉本 和英 (三洋電機)	有田 隆也 (名大)	向川 泰博 (阪大)	椎尾 一郎 (お茶の水女子大)	石島 悌 (大阪府産総研)	小松 文子 (IPA)
① 40	① 41	② 44	② 45	② 46	② 47	3 49	③ 50	③ ₅₁

情報処理学会 第71回全国大会 タイムテーブル

日	会場時間	学生セッション X プリズムハウス 1階 P105教室	学生セッション Y プリズムハウス 1階 P106教室	学生セッション Z プリズムハウス 1階 P107教室	学生セッション ZA プリズムハウス 1階 P108教室	学生セッション ZB プリズムハウス 1階 P110教室	学生セッション ZC プリズムハウス 1階 P111教室	学生セッション ZD プリズムハウス 1階 P112教室	デモセッション デモ会場 クリエーションコア 1階 ラウンジ
	9:30	セキュア設計・実装・フォレンジクス	ユーザインタフェース	アニメーション	VRシステム	情報教育方法論・ 教育支援システム	バイオ情報学と 医用画像	デジタル ストーリーテリング	
	1	大久保隆夫 (富士通研)	木村 朝子 (JST/立命館大)	古谷 雅理 (農工大)	小川 剛史 (東大)	坂東 宏和 (桜美林大)	富永 大介 (産総研)	角 (NICT)	
		(角工地初)	(31/亚邮烟人)	(辰工八)	(永八)	(按关作人)	(座版4月)	(NIC1)	
3	12:00	3 52	④ 54	④ 55	④ ₅₆	4)58	④ 59	④ 60	
月 10	13:00	7							デ
日 (火)									セセッ
	14:15								デモセッション
	14:30	体却非去	Till to the same	白灰田岳	 本却も 人よ	プログラン が払ぶ	医療八服。の		
		情報共有	入出力インタフェース	自然現象	情報社会を 支える技術(1)	プログラミング教育・ ロボット・動画・ 仮想空間を用いた教育	医療分野への 応用(1)		
	2	青山 浩二	三浦 元喜	柿本 正憲	金田 重郎	鎌田 敏之	山口 高平		
	_	(富士通研)	(北陸先端大)	(日本SGI)	(同志社大)	(愛知教育大)	(慶大)		
		4	4	4	4	4	4		
	17:00	53	54	55	57	58	59		
	9:30	Web応用	アンビエント・ インタフェース	CGと可視化	情報社会を 支える技術 (2)	情報社会を 支える技術 (3)	地域と観光	センシング・ 複雑系・その他	
		大平 雅雄	田村 弘昭	中村 徳裕	辻 秀一	倉本 到	鈴木 恵二	高田 司郎	
	3	(奈良先端大)	(篠田プラズマ)	(東芝)	(東海大)	(京都工繊大)	ガイ ぶ <u></u> (北大)	(近畿大)	
			,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	.,/	.,,		, .=,	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	
	12:00	4)53	④ 54	④ 55	4 58	④ 59	④ 60	② 47	
	13:00								
	13:40								
	13:50								デ
3 月									デモセッション
11 日	14:30								ション
(水)	14:35								
	15.15								
	15:15 15:30	組織知	ARŁVR		組織の情報システム	語学教育·音楽教育·	<u>/</u> 身体		
		122,147,41				心理学教育	~		
	4	由井薗隆也	天目 隆平		市川 照久	ビラール イリヤス	片寄 晴弘		
	4	(北陸先端大)	(立命館大)		(静岡大)	(長野大)	(関西学院大)		
		4	4		4	4	4		
	17:30	54	55		58	59	60	/	
	9:30	VR基礎	コミュニケーション 支援	モデリング	防災と情報	e-learning • PBL	エンタテインメント コンピューティング		
		野嶋 琢也		三浦憲二郎	畑山 満則	助父 目 ·	藤澤 隆史		
	5	(電通大)	村田 和義 (京都工繊大)	二	畑山 海則 (京大)	駒谷 昇一 (筑波大)	藤澤 産史 (関西学院大)		
	12:00	④ 54	④ 55	4)56	④ 58	④ 59	④ 60		
3	13:00								デモ
月 12 日									デモセッション
(木)	14:15								ノヨン
	14:30	VRとセンサ	感性	CGシステム	行動支援と	教育システム	コンピュータと	ネットワークと	
					インタフェース		人間社会	専用アーキテクチャ	
	6	柴田 史久	大島 千佳	三ツ峰秀樹	刀川 真	加藤謙一	後藤 真	清水 剛	
		(立命館大)	(NICT/ATR)	(NHK技研)	(室蘭工大)	(ハイマックス)	(花園大)	(富士通研)	
	16.00	4	4	4	4	4	4	①	
	16:30	54	55	56	58	59	60	36	

※表中の○囲み数字は講演論文集の掲載分冊番号です。また、右下の数字は当プログラム冊子の詳細掲載ページ番号です。

第71回全国大会講演論文集の分類と内容

(括弧内はセッション会場名)

●第1分冊

・アーキテクチャ

計算機アーキテクチャ、システムソフトウェアとオペレーティングシステム、ハイパフォーマンスコンピューティング、エレクトロニクス用設計自動化・CAD

 $(1A \sim 5A, 4J, 1K \sim 6K, 1L \sim 3L, 6ZD)$

・ソフトウェア科学・工学

アルゴリズム,数理モデル化と問題解決,ソフトウェア工学,プログラミング $(6A, 1B \sim 5B, 4L \sim 6L, 1M \sim 6M)$ (デモセッション: デ-01)

・データベースとメディア

データベース,情報検索,メディアと情報開発・共有・流通 (6B, 1C \sim 4C, 1N \sim 6N, 1P \sim 6P, 1Q) (デモセッション: デ -07, デ -08, デ -09)

●第2分冊

人工知能と認知科学

人工知能,自然言語処理,音声言語情報処理,視覚情報処理,音楽情報科学 $(5C\sim6C,\ 1D\sim4D,\ 5H,\ 2Q\sim6Q,\ 1R\sim6R,\ 1S\sim6S,\ 1T\sim6T,\ 3ZD)$ $(デモセッション: デ-02,\ デ-04)$

●第3分冊

・ネットワーク

マルチメディア通信と分散処理,分散システム運用,マルチメディア符号化,モバイルコンピューティング,ITS (5D ~ 6D,1E ~ 4E,1U ~ 6U,1V ~ 6V,1W ~ 3W) (デモセッション:デ -10)

・セキュリティ

セキュリティ基盤技術, ネットワークセキュリティ, システムセキュリティ, セキュリティと社会, 危機管理とリスク管理, 信頼性

(5E \sim 6E, 4W \sim 6W, 1X) (デモセッション: デ-06)

●第4分冊

・インタフェース

ヒューマンコンピュータインタラクション,グループウェア,グラフィクスと CAD,仮想現実感 $(1F\sim 5F,\ 2X\sim 6X,\ 1Y\sim 6Y,\ 1Z\sim 3Z,\ 5Z\sim 6Z,\ 1ZA)$ (デモセッション:デ -05)

・コンピュータと人間社会

情報システム, コンピュータと教育・学習, コンピュータと社会, 医療分野への応用, 企業活動への応用, バイオ情報学, エンタテインメントコンピューティング, 標準化, その他

(1G \sim 6G, 1H \sim 4H, 6H, 2ZA \sim 6ZA, 1ZB \sim 6ZB, 1ZC \sim 6ZC, 1ZD) (デモセッション:デ -03)

-全国大会イベント企画-

- ・招 待 講 演(1): 「ヒトとマシンの協働を支える4次元都市時空間情報インフラ」
 - 柴崎 亮介 (東京大学 空間情報科学研究センター センター長 教授)
- ·招 待 講 演 (2): [Software Standards Providing Support for Today's Software Crisis]
 - Susan Kathy Land (IEEE-CS 会長)
- ·招 待 講 演 (3): 「The Seoul Accord: Toward Mutual Recognition of Accredited Computing Programs
 - for Computing Professions」 Sung Jo Kim(KIISE 会長)
- ・招 待 講 演(4): 「時代の求める技術開発」
 - 三輪 真(パナソニック(株)東京 R&D センター 所長)
- ・特別セッション(1):最先端 IT 技術による防災・減災の現在と未来
- ・特別セッション(2):コンピュータ将棋は止まらない一人間トップに勝つコンピュータ将棋ー
- ・特別セッション(3):この1曲が私の研究テーマを決めた
- ・特別セッション (4):加速度センサとその応用技術・事例 [*電子情報通信学会 ISS UBIC 研究会協賛]
- ・特別セッション(5):擬人化エージェントとの音声対話を実現する基盤ソフトウェア
- ・特別セッション(6): 未来の生活を変える AIPS ロボティクス [Artificial Intelligent Partner System] ~未来の生活を変えるメカエレキソフトの融合技術~
- ・特別セッション(7):ロボカップ春季競技会
- ・シンポジウム (1):学会の新たなベクトルに向けて:情報セキュリティ心理学とトラスト研究グループの 立ち上げと期待される今後の活動
- ・シンポジウム (2): 私の詩と真実
- ・シンポジウム (3):2008 年度以降の一般情報教育のあり方を問う
- ・シンポジウム (4):情報を副専攻とする理工系学科の知識項目
- ・シンポジウム (5):ソウルアコードー情報専門学部教育認定の国際相互承認
- ・シンポジウム (6): IT 専門職大学院を対象とした認証評価モデル

-全国大会 会場別プログラム-

【第 1	イベント会	は場(プリズムハウス 1階 プリズムホール)】						
日	時間	内						
	特別セッション(1): 最先端 IT 技術による防災・減災の現在と未来							
	9:30-10:00	講演(1):緊急地震速報の仕組みと限界~有効活用するために~ 松森 敏幸(気象庁)						
		講演(2): 危機発生時に初動の鍵を握る災害情報配信サービス 市川 啓一(レスキューナウ)						
	10:30-11:00	講演 (3): 効果的な防災活動を支援する災害情報マネジメントのあり方						
10		目黒 公郎 (東大)						
		講演(4):ユビキタス技術による災害時情報収集・被害推定技術 滝澤 修(NICT)						
		講演(5):レスキューロボットシステム研究開発最前線 松野 文俊(電通大)						
	13:00-14:15	招待講演(1):ヒトとマシンの協働を支える4次元都市時空間情報インフラ						
		柴崎 亮介 (東京大学 空間情報科学研究センター センター長)						
日	特別セッショ	ョン(2):コンピュータ将棋は止まらない-人間トップに勝つコンピュータ将棋-						
	14:30-15:00	講演:コンピュータ将棋の X ディに向けて 松原 仁(はこだて未来大)						
	15:10-16:00	公開対局解説「激指 VS 立命館将棋部学生」(別室にて 13:00 から対局開始)						
		解 説:中川 大輔(日本将棋連盟プロ七段) 聞き手:伊藤 毅志(電通大)						
(11)	1000 1700	対局者:稲葉 聡(立命館大)						
(火)	16:20-17:20	パネル討論:コンピュータ将棋の現状と課題						
		司 会:松原 仁(はこだて未来大) 特別ゲスト:中川 大輔(日本将棋連盟プロ七段)						
		パネリスト:伊藤 毅志 (電通大),瀧澤 武信 (早大),鶴岡 慶雅 (マンチェスター大),						
	性別セッシュー	横山 大作(東大) ョン(3): この 1 曲が私の研究テーマを決めた						
	9:30-9:45	講演 (1): J.S.Bach: インヴェンションとシンフォニア (二声と三声のインヴェンション)						
	9:30-9:43							
111	-Glenn Gould (pf.)東条 敏 (北陸先端大)9:45-10:00 講演 (2): John McLaughlin, Al Di Meola, Paco De Lucia: Fantasia Suite (1980) 浜中 雅俊 (筑波大)							
' '								
	10:00-10:15	講演 (3): F. J. Haydn: 交響曲第 94 番ト長調「驚愕」 平賀 譲(筑波大)						
	10:15-10:30	講演 (4):マイルス・デイビス・クインテット: Nefertiti (1967) 平田 圭二 (NTT)						
	10.50-10.45 開稿 (5) * Claudio Monteverdi * Missa a 4 voci de cappena ガラ Crucinaus 嵯峨山茂樹(東大)							
	10:45-11:00	講演 (6): さだまさし: 関白宣言 村尾 忠廣 (愛知教育大)						
	11:00-12:00	パネル討論:音楽の情報処理は学として自立しうるか						
(水)		司会兼パネリスト:平田 圭二 (NTT)						
		パネリスト:嵯峨山茂樹 (東大), 東条 敏 (北陸先端大), 浜中 雅俊 (筑波大),						
		平賀 譲(筑波大),村尾 忠廣(愛知教育大)						

【第 1	イベント会	場(プリズムハウス 1階 プリズムホール)】						
日	時間	内						
	大会挨拶・表彰式・認証式							
	13:00-13:40	[13:00-13:03] 大会プログラム委員長挨拶 松原 仁(はこだて未来大)						
		[13:03-13:13] 第 70 全国大会優秀賞・奨励賞 表彰式						
		[13:13-13:23] 平成 20 年度山下記念研究賞 表彰式						
		[13:23-13:25] 優秀教育賞·優秀教材賞 表彰式						
11		[13:25-13:34] フェロー認証式						
		[13:34-13:37] 学会活動貢献賞表彰式						
	10 50 14 00	[13:37-13:40] 情報処理学会会長挨拶 佐々木 元 (NEC)						
	13:50-14:30 招待講演(2): Software Standards - Providing Support for Today's Software Crisis Susan Kathy Land (IEEE-CS 会長)							
	1405 15 15							
	14:35-15:15	招待講演(3): The Seoul Accord: Toward Mutual Recognition of Accredited Computing						
日		Programs for Computing Professions						
	性印出っいる。	Sung Jo Kim (KIISE 会長)						
		ョン(4):加速度センサとその応用技術・事例 [* 電子情報通信学会 ISS UBIC 研究会協賛] 講演(1):加速度センサを用いた移動状態推定と運動強度の推定 川原 圭博(東大)						
		講演(1)・加速度センサを用いた移動状態推定と連動独及の推定 - 川原 主傳(宋大) 講演(2):加速度センサを利用した新しいインタラクションサービス 中島 達夫(早大)						
		講演(2):加速度センリを利用した初しにインダブグンョンリーにスー 中島 建入(千人) 講演(3):慣性航法によるパーソナルポジショニング手法 興梠 正克(産総研)						
(7K)		講演(4):6軸電子コンパスの小型化技術を補完するオフセット調整ミドルウエア						
(,,,	10.00 10.00	山下 昌哉 (旭化成エレクトロニクス)						
	16:50-17:10	講演 (5):スポーツ携帯実現のための加速度応用とサービスモデル 荒井 克己 (KDDI)						
	17:10-17:30	講演(6):ゲーム(まいにちいっしょ)で使う加速度センサ,失敗例と成功例						
		南治 一徳(BeXide)						
		ン(5):擬人化エージェントとの音声対話を実現する基盤ソフトウェア						
		基調講演:マルチモーダル対話技術の課題 新田 恒雄(豊橋技科大)						
		講演(1):音声対話のための音声認識ソフトウェア 李 晃伸(名工大)						
1.0		講演(2):音声対話のための音声合成ソフトウェア 山下 洋一(立命館大) 出海 (2): 音声対話のための音声合成ソフトウェア 山下 洋一(立命館大) 出海 (4.777)						
12		講演(3):音声対話のための顔画像合成ソフトウェア 四倉 達夫(ATR) 講演(4):音声対話のための対話制御ソフトウェア 西本 卓也(東大)						
		講演 (4) ・ 自戸対話のための対話制師フノドウェア 四本 早也 (宋人) 講演 (5) : 音声対話のための MMI 記述言語標準化 桂田 浩一 (豊橋技科大)						
	11:40-12:00							
		招待講演 (4): 時代の求める技術開発						
		三輪 真 (パナソニック (株) 東京 R&D センター 所長)						
- '	特別セッショ	ョン (6): 未来の生活を変える AIPS ロボティクス [Artificial Intelligent Partner System]						
	~未来の生活を変えるメカエレキソフトの融合技術~							
	14:30-14:40	イントロダクション						
	14:40-15:20	基調講演:コンピュータ・エンタテインメント+ AIPS の可能性						
(木)		久多良木健 (ソニー・コンピュータエンタテインメント)						
	15:20-16:20	パネル討論:未来の生活を変える AIPS ロボティクス						
		司 会: 萩原 良昭 (AIPS)						
		パネリスト:大森 隆司 (玉川大), 鏡 慎吾 (東北大), 藤田 善弘 (NEC), 牧川 方昭 (立命館大)						
	16:20-16:30	サマリー						

第2	イベント会	は場(コラーニングハウス I 1階 C101教室)】						
日	時間	内容						
	シンポジウム (1): 学会の新たなベクトルに向けて:							
	情報セキュリティ心理学とトラスト研究グループの立ち上げと期待される今後の活動							
10	9:30-12:00	パネル討論:情報セキュリティ心理学とトラストに関する研究分野に期待されること						
		司 会:村山 優子(岩手県大)						
		パネリスト:内田 勝也(情報セキュリティ大),田中 健次(電通大),松浦 幹太(東大),						
日日		西垣 正勝 (静岡大)						
		<u>」(2):私の詩と真実</u>						
		開会挨拶と企画趣旨 和田 英一 (IIJ 技研)						
(火)		講演(1):コンセプト創造の勧め 森 健一(東理大)						
		講演 (2): 少年への難問と知能情報メディア 池田 克夫 (京大)						
		総括と閉会挨拶 和田 英一 (IIJ 技研)						
	シンポジウム(3):2008 年度以降の一般情報教育のあり方を問う							
11	9:30- 9:50	HADY (E) ANNUAL (SEE) CONTROL (SEE)						
	9:55-10:15	講演(2):一般情報教育の知識体系(GEBOK)に関する調査報告						
日		駒谷 昇一 (筑波大),大即 洋子 (清和大)						
(1)	10:20-12:00	パネル討論:これからの一般情報教育のあり方						
(水)		司 会:立田 ルミ(獨協大)						
		パネリスト:岡部 成玄(北大),駒谷 昇一(筑波大),山口 和紀(東大)						

【第2	イベント会	場(コラーニングハウス I 1階 C101教室)】					
日	時間	内容					
	シンポジウム	4):情報を副専攻とする理工系学科の知識項目					
11		講演 (1):情報副専攻の目的と概要 玉井 哲雄 (東大)					
		講演(2):技術開発系情報副専攻 森 武俊(東大)					
日		講演(3):経営管理系情報副専攻 西村 和夫(駒沢大)					
		講演 (4): J07 の各領域との関係 佐渡 一広 (群馬大)					
(水)	16:50-17:30	パネル討論:情報を副専攻とする理工系学科に要求される知識項目					
		司 会:佐渡 一広 (群馬大)					
		パネリスト: 玉井 哲雄 (東大), 西村 和夫 (駒沢大), 森 武俊 (東大)					
		」(5):ソウルアコード-情報専門学部教育認定の国際相互承認					
		基調報告 (1): ソウルアコード					
		基調報告 (2): J-CAC 吉澤 康文 (農工大)					
	10:10-10:30	基調報告 (3): J-CAC の認定審査試行 疋田 輝雄 (明大)					
12	10:30-12:00	パネル討論:J-CAC と情報専門教育					
		司 会:牛島 和夫 (九産大)					
		パネリスト:筧 捷彦(早大),酒井三四郎(静岡大),鈴木 敦夫(南山大),					
		疋田 輝雄 (明大), 吉澤 康文 (農工大)					
		」(6):IT 専門職大学院を対象とした認証評価モデル					
日		趣旨説明:プロジェクトの概要報告 第 捷彦 (早大)					
		講演 (1): IT 専門職大学院について 大原 茂之 (東海大)					
	15:00-15:20	講演(2):IT 専門職大学院を対象とした認証評価の基準と評価プロセス					
		大岩 元(帝京平成大)					
	15:20-15:40	講演(3): IT 専門職大学院を対象とした認証評価の組織とビジネスモデル					
(木)		掛下一哲郎(佐賀大)					
	15:40-16:30	137 (1111)					
		司 会:筧 捷彦(早大)					
	パネリスト: 浅野 敦行(文部科学省),有賀 貞一(ミスミグループ),大岩 元(帝京平成大),						
		大原 茂之(東海大),掛下 哲郎(佐賀大),平林 純一(経済産業省)					

【第3	イベント会	場(コラーニングハウス 1 1	階	C102 教室)】		
日	時間	内		容		
11日	特別セッショ	ョン(7):ロボカップ春季競技会				
(水)	10:00-17:00	予選1次リーグ				
	特別セッション(7):ロボカップ春季競技会					
12	10:00-12:00	決勝リーグ				
日	13:00-14:30	決勝戦・順位決定戦				
(木)	14:30-15:00	表彰式				

【一般セッション:A ~ J 会場(9 会場)】 フォレストハウス 【学生セッション:K ~ ZD 会場(19 会場)】 フォレストハウス,プリズムハウス 10 日 [9:30 ~ 12:00,14:30 ~ 17:00],11 日 [9:30 ~ 12:00,15:30 ~ 17:30],12 日 [9:30 ~ 12:00,14:30 ~ 16:30]

【デモセッション: デモ会場 (1 会場) /大会スポンサー・各種出展会場】 クリエーションコア 1 階 10 日 $[9:30\sim16:30]$, 11 日 $[9:30\sim17:00]$, 12 日 $[9:30\sim16:00]$

 【懇親会会場】 リンクスクエア 1 階 リンク食堂

 11 日 [18:00 ~ 20:00]

全国大会イベント企画 招待講演・特別セッション・シンポジウムの概要

招待講演(1): ヒトとマシンの協働を支える 4 次元都市時空間情報インフラ

今後10年間で人やモノの位置を追跡する環境は大きく進歩する。次世代 GPS に加え, EU, ロシア, 中国がそれぞれ GPS と比肩する全地球測位システムを稼働させ, 実質的な測位衛星の数は現在の約4倍となる。また都市部や屋内でも無線 LAN, 電子タグ, 可視光通信などを利用した測位環境が次第に拡がると予想され、カメラ等のセンサのネットワーク化も相まって、さまざまな人やモノが都市空間や国土空間をどのように移動・活動し、空間も同時に変化する状況を絶えずモニタリングできる環境が整いつつある。

一方,こうした環境は人やモノの動き、都市空間等とのインタラクションに関する定量的履歴情報の蓄積を可能とし、それらがヒトなどの活動モデルなどを経由してより高次なサービスへとつながると期待される。本講演では地理空間情報基本法など社会制度変化に触れながら、センシングからシミュレーション、サービスへとつなぐ視点からユビキタスネットワーク技術やロボット技術等の我が国の技術戦略を概観する。



[略歴

東京大学・空間情報科学研究センター長・教授. 1980年東京大学工学部卒、同大学院修了. 2005年より現職. 実世界のデータ計測・統合技術、特に3次元マッピングや移動体の追跡技術、計測データとモデルとの統合による実世界ダイナミクスの再現技術、それらを利用した情報サービスの提供方法などの研究・開発に従事.

2008 年からは GIS 学会会長であり、地理空間情報活用推進基本法の策定にも尽力した.

ISO や GEO (地球観測グループ) では標準化活動をリードしている.

招待講演(2): Software Standards - Providing Support for Today's Software Crisis

3月11日 (水) 13:50-14:30 [第1イベント会場(プリズムハウス 1F プリズムホール)] Susan Kathy Land(IEEE Computer Society 会長) [講演概要]

Is software process improvement an effective tool for today's software project manager? It is not clear that the present cadre of process improvement methodologies have been effective given the ongoing software crisis. Process improvement methodologies do not tell users 'how' to satisfy their criteria, as they are typically descriptive. These methodologies do not provide detailed information on how to accomplish their goals but rather describe the criteria that desired results should support. Standards, however, are prescriptive and describe how to fulfill the requirements associated with effective organizational process improvement and software project management. They are effective tools for the definition and managed improvement of the software development process. Standards are particularly effective when partnered with software process improvement methodologies.

Ms. Land will present an overview of the state of the practice, brief descriptions of several process methodologies - the CMMI, ISO 9001, and Lean Six Sigma, and will present how to apply international process and IEEE Systems and Software Engineering Standards in support of each of these models. This presentation will explore how standards can be used to cope with the real-world problems associated with information systems and software development. Ms. Land will present a description each standard that provides the best fit for a specific portion of the software lifecycle and how these standards might be applied to support software process definition and continuous software process improvement. She will address the strengths and shortcomings associated with the application of each of three process models - the CMMI, ISO 9001, and Lean Six Sigma. This presentation will focus on how

standards, when paired with a model for software process improvement, provide the software engineering foundations on which software managers can build sound, and repeatable, development programs.



[略歴

Kathy Land, an employee of MITRE Corp., has more than 20 years of industry experience in the practical application of software engineering methodologies, the management of information systems, and leadership of software development teams.

Ms. Land is currently President-Elect of the IEEE Computer Society (CS) and has served on the CS Board of Governors and in positions as 1st and 2nd vice president. She has also served as vice president for standards and conferences and tutorials. She is a current member of the CS Standards Activities Board (SAB), Software and Systems Engineering Standards Executive Committee (S2ESC), and also serves on a number of other CS boards and committees. In 2007 she was the recipient of the IEEE Standards Association Standards Medallion. Land is author of Jumpstart CMM/CMMI Software Process Improvement: Using IEEE Software Engineering Standards (John Wiley & Sons, 2005). She is coauthor of Practical Support for CMMI-SW Software Project Documentation: Using IEEE Software Engineering Standards (John Wiley & Sons, 2006), Practical Support for ISO 9001 Software Project Documentation: Using IEEE Software Engineering Standards (John Wiley & Sons, 2006), and Practical Support for Lean Six Sigma Software Process Documentation: Using IEEE Software Engineering Standards (John Wiley & Sons, 2008). She is also a contributor to the CS ReadyNotes program and CS PodCast program IEEE Talks Software Process.

招待講演(3): The Seoul Accord: Toward Mutual Recognition of Accredited Computing Programs for Computing Professions

3月11日 (水) 14:35-15:15 [第1イベント会場(プリズムハウス 1F プリズムホール)] Sung Jo Kim (The Korean Institute of Information Scientists and Engineers 会長) [講演概要]

The 21st century has witnessed the emergence of full-fledged knowledge-based economies around the globe, accompanied by a rapid pace of technological development in the computing and IT-related disciplines; such development has engendered a need and desirability of multi-lateral recognition of educational programs in these economies as a foundation for fostering the mobility of practitioners at the professional level. In November 2007, ABEEK hosted an international symposium on accreditation of educational programs in computing and IT-related disciplines, which resulted in the Seoul Declaration that laid the foundation for the establishment of the Seoul Accord. Selected leading countries in the world with respect to IT namely Australia, Canada, Japan, the United Kingdom, the USA and Korea participated in the symposium and had agreed on the need for establishing a system of alignment of accredited educational programs in the computing and IT-related disciplines. After adopting Seoul Declaration on the Accord establishment, six participating countries agreed to establish three working groups, each of which is responsible for preparing and submitting the final drafts for Rules and Procedures, Standards and Scope and Finance and Operations, respectively.

The Seoul Accord is a multi-lateral agreement among agencies responsible for accreditation or recognition of tertiary-level computing and IT-related qualifications. The Accord reflects on our mutual need for an international accord in the Computing and IT-related disciplines. The Accord signatories adopted three basic documents relating to the establishment and operation of an accord for mutual recognition of accreditation/recognition systems: Governance Document (the Accord itself), Rules and Procedures (mandatory things that expand the governance document), and Guidelines (representing the "norm" of how things are done, but which are not mandatory). These agencies have chosen to work collectively to assist the mobility of computing and IT-related professionals holding suitable qualifications and to improve the quality of tertiary-level computing and IT-related education.

During my presentation, after introducing the goals and motivations of the Seoul Accord, I will briefly summarize progresses we have made until the Accord has been launched. I will also explain what three working groups have accomplished for inauguration of the Accord. After explaining some details about the three basic documents adopted by the Seoul Accord, I will conclude my presentation with its expected effects and future roadmap.



[略歴]

Sung Jo Kim is a Professor at the Department of Computer Science and Engineering, and Director of the Fusion Technology Research Institute in Chung-Ang University, Korea. He received the B.S. degree from the Seoul National University in 1975, the M.S. degree from the Korea Advanced Institute of Science and Technology in 1977, the Ph.D. degree from the University of Texas at Austin in 1987, respectively. He had held a visiting professor position with the University of California - Irvine during 1997 ~ 98 academic year. He was the Dean of Graduate School of Information and Director of Computing and Information Office of Chung-Ang University from 1999 to 2003. He was also the Dean of College of Engineering of the University from 2005 to 2007. He has been serving as a Vice President of Accreditation Board for Engineering Education of Korea (ABEEK) in charge of International Activities and Policy Development since 2007. He had served as the Chairman of Working Committee for establishing the Seoul Accord from May of 2007 to December of 2008, and assumed his position as the Secretary General of the Seoul Accord Secretariat as of January 1, 2009. He is currently the President of the Korean Institute of Information Scientists and Engineers (KIISE). His research interests include embedded software, mobile computing, and Linux.

招待講演(4):時代の求める技術開発

3月12日(木)13:00-14:15 [第1イベント会場(プリズムハウス 1F プリズムホール)] 三輪 真(パナソニック(株) 東京 R&D センター所長)

[講演概要

時代時代に社会から要請される課題の解決が技術開発には求められている。大会スローガン「ITが創る豊かさ」に示されているように、現代社会からは IT 技術に対して種々の課題の解決に高い期待が持たれている。その期待に応えるには、ハードウェアやソフトウェアの開発にとどまらず、インフラなどの環境整備のための技術開発も重要となる。

例えば、子供の通学時に安全確保を行おうとすれば、カメラや無線タグといったハードウェアの性能向上やそのデータを処理して個人認識・行動把握を行う ソフトウェアの精度向上に加えて、その結果をシステマティックに必要な人に必要な時に届ける仕組みとインフラの構築が必須となる。

本講演では、安心で質の高い暮らし環境を実現するために行ってきたこれまでの研究開発経験をベースにして、時代が求めている技術開発のあり方について 考察する。



[略歴]

松下電器産業株式会社に入社以来、ネットワーク機器・システムの開発に従事.

2004年からは社内分社である パナソニックシステムソリューションズ社の CTO として、ユビキタス安心安全な社会創造に向けて、技術・商品・システムの開発を推進し、2008年からは、東京 R&D センターの所長として、ワイヤレス技術を核として次世代の社会の基盤となる技術開発を推進している。

特別セッション(1): 最先端 IT 技術による防災・減災の現在と未来

[全体概要]

地震,水害,風害といった自然災害,テロ,原子力災害といった人為的災害など我々の周りに起こりうる様々な災害に対して,情報通信技術が果たすべき 役割について,当該分野の第一線の研究者,および,実運用中のサービス事業者・担当者による講演をお願いする.



司 会:竹内 郁雄(東大)

[略歴]

1969年東大理学部数学科卒,1971年同大学院理学系研究科数学専攻修士.同年日本電信電話公社武蔵野電気通信研究所.記号処理システムの開発等に従事。1997年電気通信大学情報工学科教授.2005年東京大学情報理工学系研究科教授.博士(工学).2000年より未踏ソフトウェア創造事業のプロジェクトマネージャ、2002年から5年間(独)防災科学技術研究所に兼務してIT防災の研究開発に携わり、現在も複数のIT防災プロジェクトに参加している。

●講演(1) 3月10日(火)9:30-10:00 [第1イベント会場(プリズムハウス 1F プリズムホール)] 「緊急地震速報の仕組みと限界~有効活用するために~」

松森 敏幸 (気象庁)

[講演概要]

緊急地震速報は、検知した地震波を迅速に処理し、強い地震動が到達することをその到達前に提供しようというものである。地震学における知見の蓄積と情報通信技術の発達により可能となったシステムであるが、全国約 1000 ヶ所の高密度な地震観測ネットワーク、高度なデータ処理・通信技術、信頼性の高いシステムの構築と運用があって初めて可能となるものであり、国内全域を対象としたサービスとしては世界初の試みである。

2004年2月25日の試験運用開始以降,2006年8月の高度利用者向けの提供開始を経て,2007年10月には広く一般向けに、緊急地震速報の提供を開始した.また、2007年12月には、より確実な提供と適切な利活用を確保するために、地震動の予報・警報として位置づけられた.

本講演では、一般向けに提供を開始してから1年あまりを経過した緊急地震速報の発表や利活用の状況を織り交ぜながら、緊急地震速報の仕組みと限界について報告する。



[略歴]

1958年滋賀県生まれ、1982年気象大学校大学部卒業、

1985 年地震火山部地震予知情報課に異動後,地殻変動データの解析や地震津波火山監視関連の業務処理システムの開発,運用に携わる. 仙台管区気象台業務課長,地震火山部管理課課長補佐を経て,2008 年 4 月より現職. 現在,緊急地震速報を担当.

●講演(2) 3月10日(火)10:00-10:30 [第1イベント会場(プリズムハウス 1F プリズムホール)] 「危機発生時に初動の鍵を握る災害情報配信サービス」

市川 啓一 (レスキューナウ)

[講演概要]

事業継続の初動の鍵を握る情報、その情報をどのように収集配信し共有するか、

24 時間 365 日専門スタッフが常駐し、災害情報を収集するオンリーワン企業レスキューナウの危機管理情報センター「RIC24」では、9年にわたる実績とノウハウをもとに、地震、台風など自然災害のみならず、交通運行情報、事件事故、感染症にいたるまで危機管理全般の情報支援を行っている。

鉄道運行情報は全国 58 事業者 430 路線(全国の 85%)をカバーし、放送局、新聞社、インターネットサービス各社をとおして配信している。

災害発生時には、メールや電話での緊急通報から、職員の安否確認や非常呼集、被害状況のまとめ、レポート配信にいたる初動情報支援サービスを提供している。 その広範迅速な情報収集をいかにして実現し、すでに数百に及ぶ法人、数百万人におよぶ個人に情報提供を行っているのか、その具体的な事例紹介を行う.



[略歴]

1964年マレーシアで生まれる. 幼少期をチェコで育った. 「プラハの春」も経験, 以後東京育ち.

1987年成蹊大学経済学部卒業.

1987年日本アイ・ビー・エム入社. 金融機関担当営業を経て、アウトソーシング・サービス、ビジネスリカバリーサービス、マルチメディア・コンテンツ・プロデュースなどの新事業立ち上げに参画の後、経営企画室課長.

2000年(株)レスキューナウ・ドット・ネット(現レスキューナウ)を設立。同社代表取締役に就任。

●講演(3) 3月10日(火)10:30-11:00[第1イベント会場(プリズムハウス 1F プリズムホール)] 「効果的な防災活動を支援する災害情報マネジメントのあり方」 目黒 公郎(東大)

日無 公即 [講演概要]

総合的な防災力を向上するには、災害の事前から事後にいたる各タイミングで、適切な対策をバランスよく講じていく必要があり、それに対する考え方として、「災害対応の循環体系 (Disaster Life Cycle)」がある。 防災対策は次の 6 種類に分類される。「被害抑止力 (Mitigation)」、「被害軽減・減災力 (Preparedness)」、「災害の予知・予見、早期警報(Prediction & Early Warning)」、「被害評価(Damage Assessment)」、「(緊急)災害対応((Emergency) Disaster Response)」、「復旧・復興(Recovery/Reconstruction)」。 この全てに「情報とコミュニケーション(Information & Communication)」 が欠かせない。 講演では、この災害情報を如何にマネジメントすべきかについて解説する。



[略歴]

東京大学教授、生産技術研究所都市基盤安全工学国際研究センター長、工学博士、専門は都市震災軽減工学、東京大学大学院修了後、日本学術振興会特別研究員、東京大学助手、助教授を経て、2004年より教授、2006年からは東京工業大学特任教授を兼務、研究テーマは、構造物の破壊シミュレーションから防災制度設計まで広範囲に及ぶ、地震を代表とする災害を最小化するハードとソフトの両面からの戦略研究に従事、途上国の地震防災の立ち上げ運動にも参加、内外の30を越える災害と事故の現地調査。 「現場を見る」「実践的な研究」「最重要課題からタックル」がモットー、

●講演 (4) 3月10日 (火) 11:00-11:30 [第1イベント会場 (プリズムハウス 1F プリズムホール)]

「ユビキタス技術による災害時情報収集・被害推定技術」

滝澤 修 (NICT)

[講演概要]

災害に遭遇した情報通信技術(ICT)に期待されることとしては、平常時と変わらないサービスを途切れず供給し続ける「災害に強い」ことと、被災情報 収集や復旧活動支援など災害時ならではの機能を発揮する「災害時に役立つ」ことに大別できると考えられる。本講演では、RFID、携帯電話、ロボット などのユビキタス技術を駆使して、被災情報の収集や被害推定のような「災害時に役立つ ICT」の実現を目指す、我々の研究開発の取り組みを紹介する。



[略歴]

1985年, 京大·工·電気卒. 1987年, 同大学院修士課程修了.

同年, 郵政省電波研究所 (現·独立行政法人情報通信研究機構) 入所. 1997年, 工博 (阪大).

2000年から、RFID 等ユビキタス技術を用いた非常時防災通信の研究開発に従事.

現在, 同機構情報通信セキュリティ研究センター防災・減災基盤技術グループリーダー. 防災士.

●講演(5) 3月10日(火)11:30-12:00 [第1イベント会場(プリズムハウス 1F プリズムホール)] 「レスキューロボットシステム研究開発最前線」

松野 文俊(電通大)

「講演概要]

1995 年 1 月 17 日に発生した阪神淡路大震災以降,人間が近づくには危険な場所の情報収集や人命救助のためのレスキューロボットシステムの開発が積極的に行なわれている。特に,2002 年度から 5 年間実施された「大都市大震災軽減化特別(大大特)プロジェクト」では多くの研究成果が生まれ、レスキュー工学が認知されるようになった。その実績をベースに、実用化を視野に入れたレスキューロボットシステム研究開発プロジェクトが実施されている。本講演では、大大特終了後のレスキューロボットシステムに関する研究開発プロジェクトについて概観し、講演者らが取り組んでいる新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)の 21 世紀ロボットチャレンジプログラムの一環である戦略的先端ロボット要素技術開発プロジェクト「被災建造物内移動 RT システムの研究開発プロジェクト」(採択プロジェクト名:半自律高機能移動ロボット群による被災建造物内の情報インフラ構築と情報収集システム)について概説する.



「略歴]

1986年大阪大学大学院基礎工学研究科博士後期過程修了

大阪大学助手,神戸大学助教授,東京工業大学助教授を経て2003年より電気通信大学(知能機械工学科)教授.

1993年システム制御情報学会論文賞, 2001, 2006年度計測自動制御学会論文賞, 2001年同学会武田賞, 2006年度船井情報科学振興賞などを受賞

現在, 国際レスキューシステム研究機構副会長, IEEE Technical Committee on Safety, Security, and Rescue Robotics, Co-Chair などを勤める.

|特別セッション(2): コンピュータ将棋は止まらない -人間トップに勝つコンピュータ将棋-

[全体概要]

世界中のチェスライクゲームの中で唯一取った駒を再利用できる「将棋」は、場合の数が他のゲームに比べて圧倒的に多いばかりか、静的評価関数の設計も難しく、コンピュータプログラムの開発が困難であった。しかし、多くのコンピュータ将棋開発者の努力によって、着実にその成果は花開きつつある。コンピュータ将棋は確実にそのレーティング(棋力を計る数値)を年々のばしており、2008年5月に開催された世界コンピュータ将棋選手権では、優勝、準優勝プログラムが、アマチュア強豪に2連勝するという快挙を成し遂げ、その実力の一端を示した。本イベントでは、まず基調講演において、コンピュータ将棋の現状と進歩にについて位置づけを行い、トップアマチュアとコンピュータ将棋「激指」との公開対局により現状を確認する。その対局結果を受けて、コンピュータ将棋のXディ(トッププロ棋士に勝つ日)とその先の情報処理技術や社会的影響について、パネル討論を通して考察していく、



司 会:伊藤 毅志(電通大)

-[略歴]

1994年、名古屋大学大学院工学研究科情報工学専攻博士課程修了. 工学博士. 同年より電気通信大学電気通信学部情報工学科助手. 2007年より同助教.

人間の問題解決,学習過程に興味をもち,認知科学,人工知能的手法を用いて,学習支援,教育工学,ゲーム情報学の研究に従事,情報処理学会,電子情報通信学会,ICGA,日本認知科学会各会員.コンピュータ将棋協会理事.著書に「先を読む頭脳」(新潮社) 他.

●講演 3月10日(火) 14:30-15:00 [第1イベント会場(プリズムハウス 1F プリズムホール)]

「コンピュータ将棋のXディに向けて」

松原 仁(はこだて未来大)

[講演概要]

コンピュータ将棋は非常に弱い時期がずっと続いていた。瀧澤氏らが1970年代に最初のプログラムを開発して以来,1990年代初めにはまだアマチュア初級者(ルールを覚えたばかりの人間)のレベルに留まっていた。1990年代になってようやく強くなり始め、アマチュアの有段者のレベルに到達した。その後も順調な進歩を遂げ、最近はアマチュアのトップレベル(プロの一歩手前)の実力に達している。ここではこれまでのコンピュータ将棋の歴史を振り返り、どのような技術が進歩に貢献してきたのかを考察する。また現時点でのコンピュータ将棋の長所と短所について触れる。トップのプロ棋士に勝つためにはさらに何が必要なのか、勝てるのはいつごろになるのかを述べてまとめとする。



[略歴]

1981年東京大学理学部情報科学科卒業. 1986年同大学院工学系研究科情報工学専攻博士課程終了.

同年通産省工技院電子技術総合研究所(現産業技術総合研究所)入所. 2000 年公立はこだて未来大学教授.

ゲーム情報学, エンタテインメントコンピューティング, 観光情報学などに興味を持つ.

本学会理事. コンピュータ将棋協会理事. 将棋はアマ5段.

●公開対局解説 3月10日(火) 15:10-16:00 [第1イベント会場(プリズムハウス 1F プリズムホール)] 「激指 VS 立命館将棋部学生」(別室にて13:00から対局開始)



解 説:中川 大輔(日本将棋連盟プロ七段)

[略歴]

聞 き 手:伊藤 毅志 (電通大)

略歴・写真は「特別セッション (2): コンピュータ将棋は止まらない - 人間トップに勝つコンピュータ将棋 - 」司会紹介を参照。



対 局 者:稲葉 聡(立命館大)

略歴]

立命館大学将棋研究会に在籍.

第60.63 回学生名人戦優勝. 第35.36 回学生十傑戦 (王将戦) 優勝.

第62回全日本アマチュア名人戦準優勝.

第37回学生将棋団体対抗戦(王座戦)優勝(主将).

●パネル討論 3月10日(火)16:20-17:20[第1イベント会場(プリズムハウス 1F プリズムホール)] 「コンピュータ将棋の現状と課題」

司 会:松原 仁(はこだて未来大)

略歴・写真は「講演 コンピュータ将棋のXディに向けて」を参照.

特別ゲスト:中川 大輔(日本将棋連盟プロ七段)

略歴・写真は「公開対局解説 激指 VS 立命館将棋部学生」解説者紹介を参照.

パネリスト:伊藤 毅志 (電通大)

略歴・写真は「特別セッション (2): コンピュータ将棋は止まらない -人間トップに勝つコンピュータ将棋-」司会紹介を参照。



パネリスト:瀧澤 武信(早大)

[略歴]

1951年11月生まれ. 1980年3月早稲田大学理工学研究科数学専攻後期課程単位取得後退学. 1978年4月玉川大学工学部助手, 1981年4月同専任講師. 1985年4月早稲田大学政治経済学部専任講師, 1987年4月同助教授, 1992年4月同教授. 2004年4月早稲田大学政治経済学術院教授. 現在に至る. 現在の研究テーマ:人工知能・知識工学のゲームへの応用, 数理ゲーム理論, ファジイ理論の教育工学への応用. 著書に「Excel で楽しむ統計」(共著) など. 本会ほか, 日本数学会, 科学教育学会, 電子情報通信学会など各会員籍.



パネリスト: 鶴岡 慶雅 (マンチェスター大)

[略歴]

1997年東京大学工学部電気工学科卒業.

2002年同大学院博士課程終了. 同年, 科学技術振興事業団 (JST) 研究員.

2006年より英国マンチェスター大学研究員.

自然言語処理・テキストマイニングに関する研究に従事.工学博士.東京大学大学院在学中(1999 年)に激指の開発を開始.



パネリスト:横山 大作(東大)

[略歴]

2000 年東京大学大学院工学研究科情報工学専攻修士課程修了. 2002 年同博士課程中退. 同大助手を経て, 2007 年より同大 IRT 研究機構特任助教, 現在に至る. 2006 年同大学より博士号取得. 博士 (科学).

並列・分散プログラミング、ロボット環境におけるプログラミングフレームワーク、およびゲームプログラミングに関する研究に従事、 コンピュータ将棋プレイヤ「激指」開発においては、データ構造、並列探索部分等を主に担当.

特別セッション(3):この1曲が私の研究テーマを決めた

[全体概要]

音楽情報処理の研究者には、研究人生を大きく動かした1曲があるものだ。道しるべ「計算の視点から音楽の構造を眺めてみると」の著者らもその例外ではない。彼らの1曲とはどんな曲だったのか。その1曲から、どうして計算の視点から音楽の構造を眺めるようになったのか。そして、その1曲はこれからの研究にどんな指針を与えるのか。道しるべの著者らとゲストをお呼びし、思いを込めてその1曲を語りあうと同時に、メタなレベルから、音楽情報処理という研究テーマ設定の難しさ、面白さ、可能性をパネル討論会形式で議論してみたい。



司 会:屋代 聡(日立)

[略歴]

1999年東北大学大学院情報科学研究課修士課程修了.

同年(株) 目立製作所システム開発研究所に入所.

以来、自治体情報システム、地域コミュニティシステム、地域情報システム、Web サービス運用管理システム等の研究開発に従事、

●講演(1) 3月11日 (水) 9:30-9:45 [第1イベント会場(プリズムハウス 1F プリズムホール)] 「J. S. Bach:インヴェンションとシンフォニア(二声と三声のインヴェンション)Glenn Gould (pf.)」 東条 敏 (北陸先端大)

[講演概要]

「音楽は耳で聴いて楽しむもんだ、ご託なんか聞きたくないし読みたくない」という意見は次の二種類の人にとって正しい。(i) 耳で聴いただけでその音楽の持つ 構造をすべて頭の中に再構成できる人、(ii) 構造を意識すると楽しいような曲なんか聴かない人、筆者はそのどちらでもない。J. S. バッハのインヴェンションは 聴くだけでも名曲集であると思うが、ピアノ練習曲として左右の手の独立した動きを訓練する秀逸な教材である。この練習過程では、声部の上下交替、楽句の移調や変形、反行(逆立ち)などの構造を楽譜の上から視覚的に認識する訓練を伴う。一度構造が見えてしまうと聴く曲は変わる。では視覚は構造を すべて拾えるのか、グレン・グールドのピアノで聴くと楽譜からは陽に見えないような旋律が内声として聞こえてくることがある。音楽の構造認識は どのようになされるのか。つまり視覚・聴覚組み合わせて言及できるような構造はどのように形式化できるだろうか。



[略歴]

1981年東京大学工学部計数工学科卒業,1983年東京大学大学院工学系研究科修了.

1995年東京大学大学院博士(工学).

1983-1995 年三菱総合研究所,1995 年北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科助教授,2000 年同教授.

自然言語の形式意味論および人工知能の論理の研究に従事.

情報処理学会,人工知能学会,ソフトウェア科学会,言語処理学会,認知科学会各会員.

●講演(2) 3月11日(水)9:45-10:00 [第1イベント会場(プリズムハウス 1F プリズムホール)] 「John McLaughlin, Al Di Meola, Paco De Lucia: Fantasia Suite (1980)」 浜中 雅俊(筑波大)

[講演概要]

即興演奏では、本来のメロディではなく、あえて外れている音を含む不安定なメロディを演奏することで、曲の秩序が崩壊する瀬戸際を楽しむことがある。 そんな即興演奏の醍醐味が味わえるのが、3人のギタリスト John McLaughlin, Al Di Meola, Paco De Lucia による Fantasia Suite という曲である。 では、メロディが安定であるか不安定であるかはどうやって定義できるだろうか。安定度を測るためのものさしのようなものが必要であることは容易に 想像がつくが、メロディのどこをどうやって測るかは難しい問題である。Fantasia Suite のもう一つの特徴は、ロックやジャズ、フラメンコといったそれぞれ 異なったバックグラウンドを持った各ギタリストの個性がぶつかりあい、あたかも格闘技のようなギターバトルが展開されていることである。講演では、 メロディの安定度の評価を音楽理論に基づき求める試みについて紹介するとともに、即興演奏における個性がどのようにモデル化できるかについても紹介する.



[略歴]

2003年筑波大学大学院工学研究科博士課程修了.

同年日本学術振興会特別研究員 PD, さきがけ研究員 (専任) などを経て 2007 年より筑波大学大学院システム情報工学研究科講師. 2004-2005 年オランダ・ナイメヘン情報認知研究所 (NICI) 客員研究員. 音楽情報処理の研究に従事. 博士 (工学).

2001 年情報処理学会山下記念研究賞,2001 年 SCI in Art 優秀論文賞,2003 年筑波大学大学院優秀論文賞(博士課程長賞),ICMC2005 Best Paper Award(Journal of New Music Research Distinguished Paper Award)各賞受賞.

●講演(3) 3月11日(水)10:00-10:15 [第1イベント会場(プリズムハウス 1F プリズムホール)] 「F. J. Haydn: 交響曲第94番ト長調『驚愕』」

平賀 譲 (筑波大)

[講演概要]

Chomsky の有名な「例文」: "colorless green ideas sleep furiously" は構文論の性格や役割を端的に浮彫りにしてくれる. こういった特異な例は、それ自身、意表をつく興味深いものであるとともに、もっとありふれた日常的な場合についても、根底から考え直してみることを我々に促すものになっている. この例自体は人工的・作為的だが、音楽の場合、ごく普通の曲の中にも特異な事例が潜んでいることが多い. 標題に掲げた曲にしても、自分にとって文字通り「驚愕」だったものであり、音楽構造や音楽認知の研究に関わる1つの原体験にもなっている.

こういった例は、音楽が本質的に多重的・多義的な表現になっていることに根ざしている.

講演では他の事例も交えて、それらと研究との関わりについて紹介していきたい.



[略歴]

1956 年生.

1983年東京大学大学院理学系研究科(博士課程)中退.

同年図書館情報大学助手.

現在, 筑波大学図書館情報メディア研究科教授.

日本認知科学会,日本音楽知覚認知学会,ACM等各会員.

●講演(4) 3月11日(水) 10:15-10:30 [第1イベント会場(プリズムハウス 1F プリズムホール)] 「マイルス・デイビス・クインテット: Nefertiti (1967)」

平田 圭二 (NTT)

[講演概要]

Nefertiti 録音当時(1967年)、マイルス・デイビス・クインテットのピアニストであったハービー・ハンコックがその録音の時の模様を語った 1989年のインタビュー記事がある。その一節は次のようであった。「ウェイン(*)がこの曲を書いてきた時、コード・シンボル(和音名)はまったくなかった」(*: Nefertiti を作曲したマイルス・デイビス・クインテットのサックス奏者)。筆者は、この曲のもつ不思議なハーモニー感覚の理由がこんな所にあったことを知り、それまで当然のように使っていた C7 や G マイナーなどの和音名では和音を本当に表現できないことを知った。音楽知識の表現に興味を持ったのはこの曲がきっかけであり、それ以来、AI 的な立場で音楽という未知のメディアに潜む構造を記述し操作する研究に取り組んできた。筆者が幸運だったのは、音楽学という学問がすでに存在し、楽曲構造の分析が一部門を形成していたことである。未知のメディアを形式化する際に最も大切なプロセスである緻密な内省の多くの部分を、音楽学に負うことができたと考えている。



[略歴]

1987年東京大学大学院工学系研究科情報工学専門課程博士課程修了。工学博士。

同年 NTT 基礎研究所入所. 1990 ~ 93 年 (財) 新世代コンピュータ技術開発機構 (ICOT).

1999年より NTT コミュニケーション科学基礎研究所.

2001年本会論文賞, 2003年山下記念研究賞, 2005~2007年本会理事. 2007年より日本ソフトウェア科学会理事.

音楽情報処理に興味を持つ. ビデオコミュニケーションシステム t-Room のプロジェクトを率いる.

●講演(5) 3月11日(水)10:30-10:45 [第1イベント会場(プリズムハウス 1F プリズムホール)] 「Claudio Monteverdi: "Missa a 4 voci de cappella" から "Crucifixus"」 嵯峨山 茂樹(東大)

「講演概要〕

表題の曲は私にとって初の本格的な合唱曲である。モンテヴェルディという作曲家もラテン語という言語も知らなかった私が、高校の合唱部に入ってコンクールを目指して毎日練習した時、部で買ってあった「ラテン語の読み方」という解説本に惹かれた。例えば /r/ の発音は言語によりさまざまであることなども発音記号とともに解説されていた。コンクールでは全国二位に終わったが、私には音声学への強い興味が残った。折しも音声学者を主役にしたミュージカル映画「マイ・フェア・レディ」が上映され、転調を多用した音楽にも魅了され、それ以来の音声と音楽と言語への興味が今に至るまで続いた。パネルでは、音声と音楽のアナロジーに基づく研究の進め方について論じたい。



[略歴]

1974年東京大学大学院工学系研究科計数工学専攻修士課程修了.

日本電信電話公社武蔵野電気通信研究所、ATR 自動翻訳電話研究所、NTT ヒューマンインタフェース研究所にて音声認識・合成・対話・音声翻訳の研究開発に従事、北陸先端科学技術大学院大学を経て、2000 年より東京大学教授、大学院情報理工学系研究科システム情報学専攻、音楽・音響・音声の信号処理と情報処理、パターン認識などを研究、博士(工学)。

発明協会発明賞、科学技術庁長官賞、電子情報通信学会および情報処理学会論文賞などを受賞、

●講演(6) 3月11日(水)10:45-11:00 [第1イベント会場(プリズムハウス 1F プリズムホール)] [さだまさし:関白宣言|

村尾 忠廣(愛知教育大)

[講演概要]

モーツァルト、ベートーヴェン、ショパン、要するに西洋クラシック音楽を中心に認知的音楽分析をおこなっていた私が、一転、J. ポップスに関心をいだくようになったきっかけは、さだまさしの「関白宣言」であった。「関白宣言」は今聴いても泣ける。が、その音楽構造はと言えば、シドレミ、ファミレドと音階を上がって下がって、そしてサビに入るとソドミソ、ソシレファの分散和音である。先読みができること(暗に意味された音がその通り出現、実現すること)が大衆性の条件とはいえ、これはあまりにひどい。テレビドラマの「水戸黄門」である。いや、それ以下というべきか。しかし、考えてみれば「水戸黄門」は、未だにテレビドラマとして人気があり、視聴率を維持している。なぜだろうか。「関白宣言」は音楽としてもやはり面白い。そこには説明できる何かがなければならない。大衆性と流行、そして一つの大ヒット。これらも研究の対象となるのではないか、と気付いたそのきっかけが「関白宣言」であった。



[略歴]

1969年東京芸術大学チェロ科卒. 1971年東京芸術大学大学院音楽学専門課程修了, 芸術学修士.

1982 -1983 年ペンシルヴァニア大学交換研究員, 認知的音楽分析を研究. 現在, 愛知教育大学教授. 専門: 認知音楽学, 音楽教育学. University of Surrey Reohampton(博士課程)Co-adviser, ISME(国際音楽教育学会)理事 (2000-2004), ISME リサーチ委員会委員長 (1998-2000), 日本音楽教育学会会長 (2001-2004), 日本音楽知覚認知学会副会長 (1996-2000), RSME オーストラリア音楽教育学会 (学会誌編集委員), APJAE アジア太平洋芸術教育研究誌 (香港) (編集委員 2001-), APSMER アジア太平洋音楽教育学会委員長 (2006-).

●パネル討論 3月11日 (水) 11:00-12:00 [第1イベント会場 (プリズムハウス 1F プリズムホール)] 「音楽の情報処理は学として自立しうるか」

「討論概要」

本パネル討論会に先立ち、パネリストには各々の研究人生を大きく動かした1曲を選んで紹介していただく。その1曲は、パネリストにとって計算の視点から音楽の構造を眺めるようになったきっかけでもあり、同時に、常に初心に立ち戻らせ新たに進むべき方向への道しるべにもなるような楽曲である。本パネル討論会ではまず、各パネリストの講演を踏まえた上で、計算の視点から音楽の構造を眺める時の研究テーマや研究テーマ設定の方法論に関して、パネリスト間での共通点を見出したい。そして、メタなレベルに立ち、音楽を情報処理する(あるいは科学する)研究分野における研究テーマ設定の方法論、難しさについて議論する。

さらに、学として自立することを目指し、情報処理に関する技術体系における音楽情報処理の位置づけや他の技術との関連付けを試み、最後には、音楽学・認知心理学・言語学とともにいかに知の体系を構築していくかという夢を語り合う.

司 会:平田 圭二 (NTT)

略歴・写真は「講演(4) マイルス・デイビス・クインテット: Nefertiti (1967)」を参照.

パネリスト:嵯峨山 茂樹(東大)

略歴・写真は「講演(5) Claudio Monteverdi: "Missa a 4 voci de cappella" から "Crucifixus"」を参照.

パネリスト: 東条 敏 (北陸先端大)

略歴・写真は「講演(1) J. S. Bach:インヴェンションとシンフォニア(二声と三声のインヴェンション) Glenn Gould(pf.)」を参照。

パネリスト: 浜中 雅俊(筑波大)

略歴・写真は「講演(2) John McLaughlin, Al Di Meola, Paco De Lucia: Fantasia Suite(1980)」を参照.

パネリスト:平賀 譲(筑波大)

略歴・写真は「講演 (3) F. J. Haydn: 交響曲第 94 番ト長調『驚愕』」を参照.

パネリスト:村尾 忠廣(愛知教育大)

略歴・写真は「講演(6) さだまさし:関白宣言」を参照.

特別セッション(4):加速度センサとその応用技術・事例

[* 電子情報通信学会 ISS UBIC 研究会協賛]

[全体概要]

近年、加速度センサは MEMS 技術の発展によって、小型化、低価格化が進んでいる、良く知られているようにゲームの入力デバイスとしての応用や、 携帯電話への搭載が進められている、また、研究分野でも、コンテクスト推定や位置推定などの分野で様々な研究が行われている。

本特別セッションでは、加速度センサに関する応用技術への取り組みを、研究、実用の両面から取り上げ、今後への課題や応用の方向性について探る、



司 会:岩本 健嗣(KDDI研)

[略歴]

(株) KDDI 研究所 Web データコンピューティンググループ研究員.

1998年 慶應義塾大学 環境情報学部 卒業. 2000年 慶應義塾大学 政策・メディア研究科 修士課程修了.

2005年 慶應義塾より博士 (政策・メディア).

現在,携帯電話を用いた屋内位置システム,コンテクストアウェアシステム,ユビキタスコンピューティングの研究に従事.

●講演(1) 3月11日(水) 15:30-15:50 [第1イベント会場(プリズムハウス 1F プリズムホール)]

「加速度センサを用いた移動状態推定と運動強度の推定」

川原 圭博 (東大)

[講演概要]

加速度センサは昨今急速に携帯端末への導入が進んでいるセンサの一つであり、カメラの手ぶれ検出、端末の縦横検出、歩数検出、ゲームの入力インタフェースと 広い用途で利用されている。本講演では、加速度センサを用いた移動状態推定と運動強度推定手法を紹介する。本手法は、携帯電話を想定した端末に 搭載された加速度センサに現れる特有の信号パターンから、持ち主の移動状態を割り出すことができ、従来の歩数計では正確に求めることができなかった、持ち主の日常生活での非運動性活動量を精度よく推定することができる。



「略歴

2000 年東京大学工学部電子情報工学科卒。2002 年東京大学大学院工学系研究科電子情報学専攻修了。

2005 年東京大学大学院情報理工学系研究科電子情報学専攻修了. 同年東京大学大学院情報理工学系研究科助手. 2007 年同助教. ピアツーピアネットワークに関する研究のほか. ユビキタスコンピューティング環境を構成するためのネットワーク技術やセンサデータからの行動理解. およびその応用に関する研究に従事.

●講演(2) 3月11日(水) 15:50-16:10 [第1イベント会場(プリズムハウス 1F プリズムホール)] 「加速度センサを利用した新しいインタラクションサービス」

中島 達夫 (早大)

[講演概要]

加速度センターはユビキタスコンピューティングの様々なサービスを構築するために必要不可欠なものとなっている.

本講演では、はじめに我々の研究室において開発した様々なアプリケーションを紹介する.

我々の研究では、ユーザの行動を暗黙的に抽出するサービスと、ユーザが明示的にサービスに指示を送る2つのタイプのサービスを構築してきた、 それらの開発経験を通して得られた知見に関しても簡単に紹介する。



[略歴]

早稲田大学基幹理工学部情報理工学科教授.

ユビキタスコンピューティング,組込みシステム、インタラクションデザイン、リアルタイムシステム、高信頼分散システム等に興味を 持つ、

●講演 (3) 3月11日 (水) 16:10-16:30 [第1イベント会場 (プリズムハウス 1F プリズムホール)]

「慣性航法によるパーソナルポジショニング手法」

興梠 正克 (産総研)

[講演概要]

近年、人の位置・方位を計測する技術の需要が高まっており、特に GPSではカバーされない屋内環境においてはその傾向が顕著である。加速度センサを含む、自蔵センサ(外部からの支援なしに自律動作するセンサ)は、 MEMS 技術の急速な進歩に伴い、 高精度化と小型化、 低コスト化、 省電力化が進んでいる。こうした背景を踏まえて、 本発表では、 MEMS 技術をベースとした自蔵センサ(加速度・ジャイロ・磁気センサ各3軸)を情報源として、 歩行動作に 特化した信号処理を用いることで、 歩行者の相対位置と方位を取得するデッドレコニング手法について述べる。 本手法においては、 加速度センサは人の 歩幅推定と重力方向のトラッキングに重要な役割を果たすほか、 階段やエレベータ、 エスカレータなどによる高度方向の移動検知のためにも適用される。これにジャイロセンサと磁気センサが加わることで絶対方位をトラッキングすることが可能となり、 歩行者の位置と方位の計測を実現することができる。



[略歴]

2001年,早大大学院理工学研究科博士後期課程修了.博士(情報科学).

同年, (独) 産業技術総合研究所入所. 現在に至る.

パーソナルポジショニング、拡張現実感、ウェアラブルコンピューティングに関する研究に従事、

●講演(4) 3月11日(水)16:30-16:50 [第1イベント会場(プリズムハウス 1F プリズムホール)] 「6軸電子コンパスの小型化技術を補完するオフセット調整ミドルウエア」

山下 昌哉 (旭化成エレクトロニクス)

[講演概要]

携帯機器に搭載する電子コンパス(地磁気センサー)の場合、周辺のスピーカー磁石や鉄製部品が地磁気より大きな漏洩磁場を発生してオフセットになることを避けられない。その上、この漏洩磁場は市場出荷後も温度等で変化するため、ユーザーは使用前に調整(キャリブレーション)を行う必要がある。 旭化成エレクトロニクスでは、このユーザーによる調整を不要とするために、変動するオフセットを自動調整するソフトウエア「磁気 DOE 技術」を開発し、既に 22 機種 1200 万台以上の市場実績を有している。

この技術と経験から弊社では、3 軸地磁気センサーと3 軸加速度センサーを1パッケージに複合化した6 軸電子コンパスを量産出荷するにあたり、実は、加速度センサーでもオフセットを自動調整する「加速度 DOE 技術」を開発し、既に200万台近い携帯電話で使用されている。本講演では、この「加速度 DOE 技術」についても、その概要を御紹介する。



「略歴

1982 年東京大学大学院博士課程修了(物理工学専攻). 1982 年旭化成工業(株)システム機器エンジニアリング研究所新設.「MRI(磁気共鳴断層像診断装置)」の開発に従事. 1989 年シーメンス旭メディテック(株)設立. 1993 年旭化成工業(株)電池開発研究所新設.「LIB(リチウムイオン二次電池)」の開発に従事. ATB(株)(旭東芝バッテリー(株)) 設立. 2000 年旭化成(株)中央技術研究所.「電子コンパス(複合化センサー)」の開発に従事. 2003 年旭化成エレクトロニクス(株)電子部品研究所新設: 研究所長. 2006 年旭化成エレクトロニクス(株) 個級S センターマルチセンサー事業グループ新設: 事業グループ長.

●講演(5) 3月 11日(水)16:50-17:10[第1イベント会場(プリズムハウス 1F プリズムホール)] 「スポーツ携帯実現のための加速度応用とサービスモデル」

荒井 克己(KDDI)

[講演概要]

携帯電話の GPS 機能と加速度センサーを用いたスポーツ支援サービス「au Smart Sports」の提供事例について紹介する.



略歴

1992 年第二電電株式会社(現 KDDI)入社、携帯電話及び周辺機器の企画に従事. 2000 年以降 "au" のモバイルインターネットサービス "EZweb" のサービス企画、コンテンツ開拓を推進する. 近年は au のライフスタイル戦略に基づきケータイによるスポーツ支援サービス "au Smart Sports" の企画・開発を担当.

●講演(6) 3月11日(水)17:10-17:30 [第1イベント会場(プリズムハウス 1F プリズムホール)] 「ゲーム(まいにちいっしょ)で使う加速度センサ,失敗例と成功例」

南治 一徳 (BeXide)

[講演概要]

プレイステーション3用タイトル「まいにちいっしょ」の制作過程で多数のみにゲームを作成してきた。そのミニゲームの中で,加速度センサを積極的に使ってきたが,加速度センサがうまくはまるケースもあれば,逆に加速度センサのために,操作でフラストレーションがたまってしまうケースもでてきてしまった。それらの経験もふまえ,加速度センサをインターフェイスとして使う場合の話を予定している。



「略歴

大学生の頃からパソコンでゲーム制作を本格的に始める. その後、ゲーム会社にアルバイトで働きはじめ、そのまま就職. 数年後、友人達とチームを作り SCE のオーディション「ゲームやろうぜ!」に応募し、合格する. あまたの没企画をへて「どこでもいっしょ」を考案&完成. このゲームで人気キャラクター「トロ」が誕生した. チームを法人化し、社長に就任.

現在も「どこでもいっしょ」シリーズを作り続けており、PS3 用の最新作「まいにちいっしょ」を制作&配信中!

特別セッション(5):擬人化エージェントとの音声対話を実現する基盤ソフトウェア

「全体概要」

インターネット上での様々なサービス展開に伴ない,情報の授受に利用する機器も多様化してきている。このような多様な機器や端末を誰でも簡単に使えるユーザインタフェースを実現するために,音声入力や音声出力を既存のインタフェースと組み合わせて利用する技術に期待が高まっている。2003年度11月に情報処理学会音声言語情報処理研究会のもと,音声対話技術コンソーシアム (ISTC) が設置され,音声対話技術に不可欠な広範囲の基本ソフトウエアを提供することを目的として活動を行ってきた。2009年3月でISTCが活動を終了するにともない,音声対話を実現するための要素技術である対話音声認識、対話音声合成、顔画像合成、対話統合などのマルチモーダル対話(MMI)技術に関して、ISTC での成果を中心として、これまでの到達レベルを紹介し、今後の見通しや課題を議論する。

司 会:河原 達也(京大)

[略歴]

京都大学学術情報メディアセンター教授. 京大博士 (工学). 1987 年 京都大学工学部情報工学科卒業. 1989 年同大学院修士課程修了. 音声認識・理解及び音声対話システムに関する研究に従事. 情報処理学会音声言語情報処理 (SLP) 研究会主査.

●基調講演 3月12日(木)9:30-10:00[第1イベント会場(プリズムハウス 1F プリズムホール)] 「マルチモーダル対話技術の課題」

新田 恒雄(豊橋技科大)

[講演概要]

音声対話技術コンソーシアム(ISTC)が、2003 年 11 月に情報処理学会音声言語情報処理研究会(SIG-SLP)の下に発足して以来、5 年を経過した.この間、ISTC では音声認識ソフト Julius、音声合成ソフト Galatea Talk、顔画像合成ソフト、および対話制御ツール(Linux 版、Windows 版)から成る基本ソフトを、Galatea Tool kit として提供すると同時に、毎年夏季に技術講習会を開催し普及に努めてきた.

現在、インターネット上の音声サービスは、QoS機能などにより格段に向上しており、また情報端末も携帯を中心に新しい機能とサービスが要請されている。本活動は2009年3月をもって一旦終了するが、次世代情報端末ではアプリケーションに適した、多用な入出力機能を提供することが必須になることから、ISTCが提供してきた音声対話技術が、マルチモーダル対話(MMI; Multi-Modal Interaction)の中核として、広範に利用されるとともに発展していくことを望んでいる。



「略歴]

1969 年東北大学工学部電気工学科卒業. (株) 東芝総合研究所, 同社マルチメディア技術研究所 (主幹) を経て, 1998 年豊橋技術科学大学大学院工学研究科教授. 工学博士.

2006 年度本学会情報規格調査会標準化貢献賞受賞。音声認識・合成・文字認識、マルチモーダル対話システム、および知的エージェントのための知の体系構築に関する研究に従事。1998 年 -2000 年本学会音声言語情報処理(SLP)研究会主査。2003 年 -2007 年音声対話技術コンソーシアム(ISTC)代表。2001 年より情報規格調査会試行標準化専門委員会委員(WG4 主査)。

●講演(1) 3月 12日 (木) 10:00-10:20 [第 1 イベント会場(プリズムハウス 1F プリズムホール)] 「音声対話のための音声認識ソフトウェア」 李 晃伸(名工大)

[講演概要]

音声対話において音声認識部は入力の要であり、高い認識性能が要求される.

本プロジェクトでは、音声認識モジュール SRM および Julius の最新版を開発し、特に音声対話システム向けに機能、性能および利便性を大幅に向上させてきた。言語モデル関連では、多様なタスクに柔軟に対応するための機能拡張として、単語 N-gram と文法のデコーダの統合・複数言語モデルの並列認識などが実装された。音声入力関連では、GMM を用いた音声区間検出・MAP-CMN・入力遅延の低減などにより、雑音環境下での頑健かつ迅速な動作を可能とした。また、実装においてはコアエンジンがライブラリ化されたほか、高速化やメモリ管理等の実装改善・Windows の正式サポート・ドキュメントの整備なども行われた。また、Windows SAPI 版 Julius では、API として HTML 等のマークアップ文書と連携して音声インタフェースを適用するための企画である Speech Application Language Tags(SALT)へ対応した。



[略歴]

1996年京都大学工学部情報工学科卒業. 1998年同大学大学院修士課程修了. 2000年同大学院情報学研究科博士課程修了. 同年奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科助手. 2005年より名古屋工業大学大学院工学研究科助教授, 2007年, 同准教授. 主として音声認識・音声言語理解の研究に従事. 博士(情報学).

2002年日本音響学会粟屋潔学術奨励賞受賞. 2007年情報処理学会山下記念研究賞受賞.

情報処理学会,日本音響学会,電子情報通信学会,IEEE,ISCA 各会員.

●講演(2) 3月12日(木)10:20-10:40 [第1イベント会場(プリズムハウス 1F プリズムホール)] [音声対話のための音声合成ソフトウェア]

山下 洋一(立命館大)

[講演概要]

擬人化エージェントとの音声対話を実現するためのツールキット Galatea の開発が行なわれている。Galatea において対話音声合成を実現するための Galatea Talk と Prosedit のソフトウェアを紹介する。Galatea Talk は,Galatea ツールキットにおける音声合成モジュールとして動作するとともに,日本語 テキスト音声合成システムとして単体でも利用でき,HMM (Hidden Markov Model) に基づいた手法により音声合成が実現されている。Galatea Talk では,基本的な日本語音声合成に加えて,対話音声の合成を行うことを指向して,(1)音声出力の途中での停止,(2)話者の変更,(3)韻律の柔軟な制御,(4)顔画像出力との同期,などの機能を持つ。Prosedit は,Galatea Talk の生成した合成音声に対して基本周波数(声の高さ),振幅,発話速度を GUI インタフェースを用いて手修正するためのツールで,対話音声合成における韻律的な多様性を実現する。



[略歴]

1982 年大阪大学工学部電子工学科卒業. 1984 年同大学院工学研究科電子工学専攻前期課程修了. 同年大阪大学産業科学研究所文部技官(教務職員), 同助手, 講師を経て, 1997 年立命館大学理工学部助教授.

同教授を経て、2004年同大学情報理工学部教授. 博士(工学).

音声情報処理に関する研究に従事.日本音響学会,電子情報通信学会,情報処理学会,人工知能学会,ISCA,IEEE 会員.

●講演 (3) 3月12日 (木) 10:40-11:00 [第1イベント会場 (プリズムハウス 1F プリズムホール)]

「音声対話のための顔画像合成ソフトウェア」

四倉 達夫 (ATR)

[講演概要]

ISTC プロジェクトで研究開発が進められている顔画像合成モジュール(FSM: Face Synthesis Module)の基盤は、IPA プロジェクト「感性擬人化音声エージェントのための顔情報処理システムの開発」で開発された顔合成ソフトウェアであり、その後 Galatea プロジェクトを経て他モジュール連携のためのエージェント制御用コマンド(表情変化・リップシンク)の拡充を中心に性能向上を図った。顔画像合成モジュールは、正面顔画像から 3 次元顔モデルを生成可能なエージェント生成ツール: FaceMaker (旧 FaceFit) を用いて、任意のエージェントを作成可能である。これらエージェントモデルは他モジュールからのコマンドにより、顔画像合成モジュールにて、エージェント顔モデルの表情・発話などのアニメーションをリアルタイムに生成することができる。ISTC 活動期間中におけるFaceMaker、FSM の主な機能拡張は、英語発話対応、リップシンク精度向上、出力画面キャプチャ機能、ユーザインタフェースの改良である。



[略歴]

1998年成蹊大学工学部電気電子工学科卒業. 2000年同大学大学院修士課程修了. 2000-2001年(株) ATR 知能映像通信研究所研修研究員. 2003年同大学博士課程修了博士(工学). 同年 ATR 音声言語コミュニケーション研究所に入社, 現在に至る.

2006年12月-2007年3月カリフォルニア大学ロサンゼルス校客員研究員.

デジタルコンテンツ制作支援技術,コンピュータグラフィックス,フェイシャルモデリング・アニメーションに関する研究に従事. 現在,JST-CREST プロジェクト,文科省振興調整費プロジェクト参画メンバー.

●講演(4) 3月 12日(木)11:00-11:20 [第1イベント会場(プリズムハウス 1F プリズムホール)] 「音声対話のための対話制御ソフトウェア」

西本 卓也 (東大)

「講演概要]

Galatea Toolkit における音声対話制御ソフトウェアについて報告する.

オープンソースの対話ツールキットにおいて、我々は VoiceXML 言語を拡張して擬人化エージェントの制御に用いることを提案し、システムの実装および改良、開発者支援機能の追加を行ってきた。また、音声対話インタフェースをユーザにとって使いやすいものにするために、独自に行った模擬対話実験の結果を踏まえて、重視すべき事項や有効と思われる機能の提案を行ってきた。さらに、アプリケーション開発者からの要求としては、データベースを用いたアプリケーションの開発が効率的に行えること、モダリティ依存/非依存の記述を適切に分離できること、などが挙げられる。我々はこれらの要求を満たすために Ruby on Rails などの Web 開発フレームワークの調査・検討をすすめてきた。本報告ではこれらの提案および実現状況について述べる。



[略歴]

1993年早大·理工·電気卒. 1996年同大大学院修士課程了.

1996 年京都工芸繊維大·工芸学部·電子情報工学科助手.

2002年東大·大学院情報理工学系研究科助手. 2007年同大助教.

音声言語情報処理,福祉情報工学,音楽情報処理,ヒューマンインタフェースの研究に従事.

情報処理学会、電子情報通信学会、日本音響学会、人工知能学会、ヒューマンインタフェース学会各会員、

●講演(5) 3月12日(木)11:20-11:40 [第1イベント会場(プリズムハウス 1F プリズムホール)] 「音声対話のための MMI 記述言語標準化」

桂田 浩一 (豊橋技科大)

[講演概要]

マルチモーダル対話(MMI)に関する要素技術の発展に伴い、MMI システムの標準化に対する要求が高まっている。 ISTC では平成 16 年度から MMI 記述言語策定 WG において MMI システムのアーキテクチャおよび MMI 記述言語の標準化作業を進めてきた。 平成 18 年度からは情報処理学会試行標準委員会に組織を移行し、本年度中に試行標準としてアーキテクチャを公開する予定である。 本講演では、これまで当グループで検討してきた MMI システムのユースケース、 要求仕様、 およびアーキテクチャを紹介するとともに、 W3C の MMI-WG で討議されている MMI システムのフレームワークにも触れつつ、近年の MMI 記述言語および MMI システムに関する標準化動向について報告する。



[略歴]

1995年大阪大学基礎工学部情報工学科卒業.

2000年大阪大学大学院基礎工学研究科博士後期課程修了.

同年豊橋技術科学大学工学研究科助手. 2007年同研究科講師. 博士(工学).

マルチモーダル対話,知識処理に関する研究に従事.

AAAI,情報処理学会,人工知能学会,日本音響学会,言語処理学会,ヒューマンインタフェース学会の各会員.

●全体討論 3月12日(木) 11:40-12:00 [第1イベント会場(プリズムハウス 1F プリズムホール)]

特別セッション(6):未来の生活を変える AIPS ロボティクス [Artificial Intelligent Partner System] ~未来の生活を変えるメカエレキソフトの融合技術~

[全体概要]

近年では、二足歩行ロボットによるサッカー大会が開催され、またITによる自動車の運転補助が実用化するなど、ロボティクス技術、またイメージング技術などが急速に発展している。それら技術の応用により、近い未来には各家庭にもロボットが普及し、家事や身の回りの世話を行うホームロボット時代が到来すると予想されている。本特別セッションでは、未来の生活を変えるロボティクスやイメージング技術の将来動向について展望するとともに、具体的にREAL TIME での音声認識、画像認識技術、それを支えるプロセッサーの実現など、現状技術の紹介や将来へ向けての研究課題について議論する。



司 会:萩原 良昭(AIPS コンソーシアム)

[略歴]

1971年米国カリフォルニア工科大学卒業.1975年6月同大学博士課程卒業(主:電子工学,副:物理学).

1975 年 2 月ソニー入社. 固体撮像素子とそのカメラシステム, ADC, メモリチップ, MCU マイコン, システム LSI の開発事業化担当. 主幹技師, 半導体技術企画室長などを歴任. 2008 年 7 月, 60 歳定年退職.

2008 年 8 月神奈川県庁認定(NPO 法人)AIPS コンソーシアム設立. その理事長に就任,現在に至る.

●イントロダクション 3月12日(木) 14:30-14:40 [第1イベント会場(プリズムハウス 1F プリズムホール)]

●基調講演 3月12日(木) 14:40-15:20 [第1イベント会場(プリズムハウス 1F プリズムホール)] 「コンピュータ・エンタテインメント+ AIPS の可能性」 久夛良木 健(ソニーコンピュータエンタテインメント)

[講演概要]

従来の自律型ロボットは、駆動系と情報処理系を限られたスペース内に一体として収納していた。これにより膨大なセンサーからの入力情報を元に、巨大なデータベースを参照しながらリアルタイムに各種情報を並列処理し、あたかもそこに知能が存在するかのような行動を期待するには演算能力もデータベースの総量も大幅に不足している。また駆動電力の面からも限界がある。一方、ネットの発展に伴い、データベースはネット上に展開されますます巨大化が進んでいる。またクラウドコンピューティングにより、演算資源そのものもネット上に配置されようとしている。汎用コンピュータシステムでは困難なリアルタイム処理も、最新の家庭内コンピュータ・エンタテインメント機器では容易にこなす事ができるようになっている。これにより、センサーや駆動系といった脊髄反射系はロボットの体内に、そして脳にあたる情報処理系はネット経由でサービスを行う、新しいロボットの形態が誕生しようとしている。

[略歴]

1975 年電気通信大学電子工学科卒業。同年、ソニー株式会社に入社。本社研究所、情報処理研究所に所属。液晶平面テレビ、世界初の電子カメラ、マイクロプロセッサ開発支援システム。各種 LSI の設計、超小型 2 インチフォロッピー、音声 DSP 等の開発を経て、1993 年ソニー・コンピュータエンタテインメントを設立。一連のプレイステーションを産み出す。同社、社長・会長を歴任し、現名誉会長。2000 年から 2005 年、ソニー取締役。2003 年から執行役副社長兼 COO。現角川グループホールディングス取締役に就任、現在に至る。

●パネル討論 3月12日(木) 15:20-16:20 [第1イベント会場(プリズムハウス 1F プリズムホール)] 「未来の生活を変える AIPS ロボティクス」

[討論概要]

近年では、二足歩行ロボットによるサッカー大会が開催され、またITによる自動車の運転補助が実用化するなど、ロボティクス技術、及びイメージング技術などが急速に発展している。それらの技術の応用により近い未来には各家庭にもゲームに代表されるコンピュータ・エンタテーメント技術がさらに発展変貌をとげると観察される。ゲーム分野とロボット技術が融合し、Real Timeで敏速に行動する人工知能(AI)ロボットが普及しさらに家事や身の回りの世話もするパートナー・システム(PS)としての家庭用 AIPS ロボット時代が到来すると予想される。

本パネル討論では我々の未来の生活、Life Style を変える AIPS ロボティクス総合技術の将来を展望するとともに、その実現の為の要素技術とは何か、メカエレキソフトがどう融合し発展していくか、いってほしいかなど、夢を語りつつ、具体的には REAL TIME での音声認識、画像認識技術、それを支えるプロセッサーの実現など、現状技術の紹介や将来へ向けての研究課題について議論する。

司 会:萩原 良昭(AIPS コンソーシアム)

略歴・写真は「特別セッション(6): 未来の生活を変える AIPS ロボティクス [Artificial Intelligent Partner System] ~未来の生活を変えるメカエレキソフトの融合技術~」司会紹介を参照.



パネリスト:大森 隆司(玉川大)

[略歴]

1980 年東京大学工学研究科計数工学専攻修了,87 年東京農工大学工学部講師を経て88 年より同助教授,98 年より同大学電気電子工学科教授,2000 年 5 月より北海道大学大学院工学研究科教授を経て,2006 年 4 月より玉川大学教授,現在にいたる。博士(工学).この間,89-90 年ブラウン大学言語と認知学科客員研究員.

計測自動制御学会, 日本認知科学会, 日本神経回路学会, 電子情報通信学会などの会員.



パネリスト:鏡 慎吾(東北大)

[略歴]

1998 年東京大学工学部計数工学科卒業. 2003 年同大学院工学系研究科計数工学専攻博士課程修了. 博士 (工学). この間 2002 年から 2003 年日本学術振興会特別研究員. 2003 年科学技術振興事業団研究員. 同年東京大学大学院情報理工学系研究科システム情報学専攻助手. 2005 年東北大学大学院情報科学研究科講師. 2007 年同准教授, 現在に至る.

高速視覚処理を中心とした実時間センサ情報処理に関するアルゴリズム, アーキテクチャ, システムの研究に従事.



パネリスト:藤田 善弘 (NEC)

[略歴]

1986 年京都大学大学院修士卒、NEC に入社し,動画像認識処理向け並列処理プロセッサの研究開発に従事。1989 年に考案したメモリ 集積型並列処理 LSI「IMAP」が「IMAPCAR」として製品化され、2006 年にレクサス LS460 の「プリクラッシュセーフティ機能」向けに 採用された。1997 年よりパーソナルロボットの研究開発に着手し,ロボットのコミュニケーション能力の向上や事業化を目指し応用開拓 活動を行なっている。京都大学博士(情報学)。



パネリスト: 牧川 方昭 (立命館大) [略歴]

1982 年大阪大学大学院基礎工学研究科博士後期課程単位修得退学, 工学博士(大阪大学), 1982-1986 年滋賀医科大学医学部整形外科・助手, 1986-1990 年国立循環器病センター研究所研究機器管理室・研究員, 1990-1996 年大阪大学基礎工学部生物工学科・助教授, 1996-現在立命館大学理工学部ロボティクス学科・教授, 2001-2002 年カロリンスカ研究所 (スウェーデン)・客員研究員, 2003-2005 年立命館大学 BKC リエゾンオフィス・室長, 2007-現在立命館大学総合理工学研究機構・機構長.

●サマリー 3月12日 (木) 16:20-16:30 [第1イベント会場 (プリズムハウス 1F プリズムホール)]

特別セッション(7):ロボカップ春季競技会

[全体概要]

ロボカップとは、サッカー・レスキュー・家庭用サービスロボットなど、具体的な課題をこなすロボットやエージェントの能力を、競技形式で競い合うことで、 人工知能やロボット技術の研究課題や応用に向けたマイルストーンを提供することを狙ったイベントである.

本企画では、このロボカップの各種競技のうち、サッカーおよびレスキューのシミュレーションリーグをロボカップ春季競技会として行う。これらのリーグでは主に、マルチエージェントの協調技術が競われ、サッカーやレスキューのような動的で不完全情報な環境で機械学習やマルチエージェントプランニング、タスクアロケーションなどを分散処理で解いていく技術が問われる。また、サッカーシミュレーションリーグの 3D 競技では、仮想的ヒューマノイド型ロボットの制御技術も大きな課題であり、より現実に近いロボット技術も競技の要素となってきている。

- ●予選 1 次リーグ 3 月 11 日 (水) 10:00-17:00 [第 3 イベント会場(コラーニングハウス I 1F C102)]
- ●決勝リーグ 3月12日(木) 10:00-12:00 [第3イベント会場(コラーニングハウス I 1F C102)]
- ●決勝戦・順位決定戦 3月12日(木) 13:00-14:30 [第3イベント会場(コラーニングハウス I 1F C102)]
- ●表彰式 3月12日(木) 14:30-15:00 [第3イベント会場(コラーニングハウス I 1F C102)]

シンポジウム(1):学会の新たなベクトルに向けて -情報セキュリティ心理学とトラスト研究 グループの立ち上げと期待される今後の活動-

[全体概要]

2008年4月に活動を始めた「情報セキュリティ心理学とトラスト研究グループ」の取り扱う研究分野は、今までの情報処理分野にヒューマンファクタを 考慮し、学際的である、今回のパネルでは、本研究グループが網羅するセキュリティ心理学やトラスト等の分野の紹介を行い、今後の活動について、 聴衆の皆様からもフィードバックを伺いながら、考えて行きたい。

●パネル討論 3月10日(火) 9:30-12:00 [第2イベント会場(コラーニングハウス I 1F C101)] [情報セキュリティ心理学とトラストに関する研究分野に期待されること]



司 会:村山 優子(岩手県大) [略歴]

津田塾大学学芸学部数学科卒. 三菱銀行および横河ヒューレット・パッカード社に勤務. 1984年 University College London 大学院理学部 計算機科学科修士課程修了, 1990年同大学大学院博士課程修了, Ph.D. (ロンドン大学). 慶應義塾大学環境情報学部非常勤講師を経て, 1994年4月より広島市立大学情報科学部情報工学科講師, 1998年4月より岩手県立大学ソフトウェア情報学部助教授, 2002年4月より教授, 現在に至る. インターネット, ネットワークセキュリティ, 安心やトラストの研究に従事. IEEE, ACM, 情報処理学会, 電子情報通信学会, 映像情報メディア学会, 日本 OR 学会, 情報知識学会会員. 情報処理学会フェロー.



パネリスト:内田 勝也(情報セキュリティ大)

情報セキュリティ大学院大学教授. 博士(工学). 民間企業にて, COBOL 開発, システム監査, コンピュータ保険設計, 情報セキュリティ調査研究等の後, 中央大学にて, 情報セキュリティ人材育成, 21 世紀 COE 事業推進. 情報セキュリティ大学院大学にて, 情報セキュリティマネジメント, リスクマネジメント等を講義. 情報セキュリティ心理学, CPTED 等の研究を行っている. ISMS 審査機関 審査判定委員会委員長. 横浜市 CIO 補佐.



パネリスト:田中 健次(電通大)

[略歴] 1982 年京都大学理学部数学科卒,東京工業大学システム科学専攻博士課程修了,理学博士.

茨城大学工学部助手を経て、1995年電気通信大学大学院情報システム学研究科助教授、2004年より同教授、2008年教育研究評議員、人間・機械系の高信頼性や安全性を獲得するための仕組みや安全情報のあり方、ヒューマンエラー防止の研究が専門、製品安全、災害安全などを横断的に貫く『システム安全学』の確立を目指している。



パネリスト:西垣 正勝(静岡大)

[略歴]

1990 年静岡大学工学部卒業. 1992 年同大学院修士, 1995 年博士課程修了. 日本学術振興会特別研究員 (PD) を経て, 1996 年静岡大学情報学部助手. 現在, 同創造科学技術大学院准教授. 博士 (工学). 情報セキュリティ, ニューラルネットワーク, 回路シミュレーション等に関する研究に従事. 情報処理学会・コンピュータセキュリティ研究会幹事, セキュリティ心理学とトラスト研究グループ幹事, 電子情報通信学会・バイオメトリックセキュリティ時限研究専門委員会幹事補佐.



パネリスト:松浦 幹太(東大)

[略歴]

1997 年 3 月東京大学大学院工学系研究科電子工学専攻博士課程修了. 博士 (工学). 1997 年 4 月東京大学生産技術研究所助手などを経て, 2002 年 4 月同助教授(2007 年 4 月より准教授). 2000 年 4 月~ 2005 年 3 月東京大学大学院情報学環兼担, 2000 年 3 月~ 2001 年 3 月ケンブリッジ 大学客員研究員. 情報セキュリティの研究に従事.

IEEE, 電子情報通信学会,情報処理学会, ACM, IACR 各会員. 日本セキュリティマネジメント学会常任理事.

シンポジウム(2):私の詩と真実

「全体概要」

情報処理学会歴史特別委員会ではオーラルヒストリのインタビューを進めているが、大先輩のお話は毎回大変示唆に富み印象的なので、これを広く会員の方々、特に若い世代の会員に直接お聞かせ出来ないものかと検討してきた。そして海外の事例なども参考にし、コンピュータパイオニアあるいは情報処理学会会長経験者、またはそれらに相当する経歴の大先輩をお招きして、若い頃の研究生活の思い出や今の若い世代に伝えたい経験談などをお話頂くシンポジウムを企画した。なお本シンポジウムは昨年度の全国大会でも開催しており今回が第2回目の開催となる。



司 会:和田 英一(IIJ技研)

[略歴]

1955 年東京大学理学部物理学科卒業. 1957 年修士課程終了. 1957 年~1964 年小野田セメント調査部統計課. 1964 年~1992 年東京大学工学部計数工学科. 1992 年~2002 年富士通研究所. 2002 年~IIJ 技術研究所.

IFIP WG2.1 メンバー、WIDE プロジェクトメンバー、情報処理学会プログラミング・シンポジウム委員会運営委員長、情報処理学会会誌編集長などを歴任。

●開会挨拶と企画趣旨 3月10日(火)14:30-14:40[第2イベント会場(コラーニングハウス I 1F C101)]和田 英一(川 技研)

略歴・写真は「シンポジウム(2):私の詩と真実」司会紹介を参照.

●講演(1) 3月 10日(火)14:40-15:45 [第2イベント会場(コラーニングハウスⅠ 1F C101)]「コンセプト創造の勧め」

森 健一 (東理大)

「講演概要]

新規事業開拓や新商品開発を始める前に、未来の顧客が真に実現を求めているものはどのようなものかを短い言葉で表現したものが『コンセプト』である. 説得力のあるコンセプトを創造するには、複数の人による熱烈な議論が不可欠である。 日本語ワードプロセッサ、ノートパソコン、DVD-ROM はこのようなコンセプト創造から生まれた。 コンセプト創造の7つのステップを紹介し、日本語ワードプロセッサを例にして、コンセプトをどのようにして具体的な商品開発に結び付けていったかを話したい。 コンセプト創造の方法は、世の中に未だ存在しない新規な商品を生み出すことができるばかりでなく、コンセプトが既にある商品を競争力のあるものに生まれかえらせることにも活用できる。 コンセプト創造は、言葉を使える人間だけが誰でもできる創造的な活動である。コンセプト創造を勧める所以である。



[略歴]

1962年, 東京大学工学部応用物理学科卒業.

同年,東京芝浦電気株式会社入社.情報システム研究所長,パーソナル情報機器事業本部長,記憶メディア事業本部長,映像メディア 事本部長などを経て,1996年常務取締役,1999年,東芝テック社長.

2004年, 東京理科大学 MOT 大学院教授 (現職). 工学博士,

情報処理学会名誉会員. 特許庁長官賞,大河内記念技術賞,科学技術長官賞,本田賞,文化功労者,IEEE マイルストンなどを受賞.

●講演(2) 3月 10日(火)15:45-16:50 [第2イベント会場(コラーニングハウスⅠ 1F C101)]「少年への難問と知能情報メディア」

池田 克夫 (京大)

[講演概要]

昭和 2桁の始めの方に生まれた筆者は、ご多分に漏れずラジオ少年だった。片田舎ではせいせい「無線と実験」位で適切な科学技術書は手に入らなかったし、身近には教えて貰えそうな大人も居なかった。ようやく NHK の「ラジオ技術教科書」を見つけ出して動作原理を知ろうとした。ところが、基礎として始めに出てきたのが LC を直列接続する同調回路で、共振周波数が $1/2\pi$ SQRT (LC)|である。というのがどうしても導き出せなかった。小学校の 4 年生の頃だったが、複素数の概念など聞いたこともなく、複素インピーダンスの虚数部分が 0 となる周波数でインピーダンスが最小になる。という、大学生ならいとも簡単に解ける問題で挫折したのである。この時点では、難しい電気回路の理論を理解して、電子工学分野の技術者となることが夢であった。こんなことで京大の電子工学科に入学した。卒業する頃に電子計算機が実用化され、以来ずっとこの分野を歩いてきた。初期のコンピュータは誠に小規模で信頼性も低く、機能的にもとても今日のコンピュータをその延長線上に想像できるものではなかったが故に、何とかして、もっと信頼性の高い高性能なコンピュータが構成できないか。そして、自在にやりたいことを実現してくれる賢い秘書を願望したのだった。MULTICS はその望みをかなり叶えてくれたが、それで終わりではなく、知能情報メディア環境を構築するという、夢に発展した。



「略歴)

1960年京都大学工学部電子工学科卒. 1965年同学大学院博士課程単位修得退学. 1978年筑波大学教授, 1988年京都大学教授(この間 1971年9月ユタ大学および MIT 客員, 1984年10月 ETH 客員). 1998年情報学研究科長兼任. 2001年大阪工業大学教授, 京都大学ならびに筑波大学名誉教授. 2002年(財)京都高度技術研究所所長兼任. 2005年大阪工業大学情報科学部長兼任. 2008年大阪工業大学名誉教授. オペレーティングシステムの構成, コンピュータネットワーク, 画像理解, 知能情報メディア環境の構成の研究に従事. 本会 Fellow, 名誉員. 電子情報通信学会 Fellow. IEEE Life Fellow.

●総括と閉会挨拶 3月10日(火) 16:50-17:00 [第2イベント会場(コラーニングハウス I 1F C101)] 和田 英一(IIJ 技研)

略歴・写真は「シンポジウム(2):私の詩と真実」司会紹介を参照.

シンポジウム (3): 2008 年度以降の一般情報教育のあり方を問う

「全体概要]

一般情報教育委員会では、高等学校教科「情報」が 2003 年から開始されたことにともない、2006 年度からの一般情報教育において新たな対策(たとえば、授業内容の再編、能力別クラス編成など)が必要であるという問題意識を持ってきた。これに合わせて、一般情報教育のカリキュラム策定や教科書の発刊などを行った。しかし、2007 年 10 月に発覚した未履修問題などにより、実際には 2008 年度以降において本格的な対策を講じる必要が生じてきたといえる。また、J07 カリキュラムにおいては、一般情報教育の知識体系(GEBOK)の策定も行った。 さらには、GEBOK の内容に対するインタビュー調査も実施した。これらにもとづき、2008 年度以降の一般情報教育のカリキュラム再編についての検討を行っている。以上を踏まえた上で、2008 年度以降の一般情報教育のあり方について、GEBOK を中心に議論を展開したい。



司 会:立田 ルミ (獨協大)

[略歴]

津田塾大学数学科卒,理学研究科修士課程修了,獨協大学経済学部経営学科助手,講師,助教授を経て,1987年より教授.情報センター主任研究員,キャリアセンター所長を歴任.1974年より情報処理学会会員.コンピュータと教育研究会幹事,情報教育シンポジュームプログラム委員長を経て,現在運営委員.一般情報教育委員会幹事,情報教育特集号編集委員.イリノイ大学客員研究員,イリノイ大学客員教授を歴任.現在CIEC理事・研究委員会委員長,私立大学情報教育協会大会委員.

●講演(1) 3月11日(水)9:30-9:50 [第2イベント会場(コラーニングハウスⅠ 1F C101)] 「一般情報(処理)教育委員会の活動報告」

河村 一樹 (東京国際大)

[講演概要]

情報処理学会一般情報(処理)教育委員会(SIGGE)では、数十年前から大学等の一般情報(処理)教育に関する調査研究を行ってきた。その結果、平成3/4年度の報告書(一般情報教育の教育内容)、平成12/13年度の報告書(標準カリキュラムの策定)、そして、今年度の報告書(J07-GEBOKの策定)をそれぞれ発刊してきた。その中の一般情報教育の知識体系(GEBOK)については、大学の一般教養課程(あるいは、全学レベルでの情報基礎教育科目)での実施を前提に、通年で4単位分(前期/後期で2科目分、机上演習を含む講義科目として)を想定した編成になっている。本講演では、このGEBOKの内容について紹介するとともに、GEBOKに準拠したシラバスなどについても取り上げる。



[略歴]

1955 年東京生まれ. 立教大学理学部化学科卒業, 日本大学大学院理工学研究科博士前期課程電子工学専攻修了, 博士 (工学).

現在, 東京国際大学商学部情報システム学科教授. 情報教育工学の研究及び情報処理教育に従事.

情報処理学会 2003-2005 年度代表会員,一般情報教育委員会委員長,初等中等教育委員会委員,コンピュータと教育研究会幹事及び運営委員を歴任.情報処理推進機構(IPA)情報処理技術者試験委員を歴任.

●講演(2) 3月11日(水)9:55-10:15 [第2イベント会場(コラーニングハウスⅠ 1F C101)]

「一般情報教育の知識体系(GEBOK)に関する調査報告」

駒谷 昇一 (筑波大), 大即 洋子 (清和大)

[講演概要]

一般情報教育委員会では、高等学校教科情報を履修とした文系理系を問わない一般大学生を対象とした大学での一般情報教育の知識体系(GEBOK:一般情報処理教育のBody of Knowledge)を昨年策定した、既に高校までにコンピュータの基礎的な知識や表計算ソフトウェアの使い方などが教えられており、一般情報教育のあり方も問われている。大学の一般情報教育の実態は、従来と変わらない情報リテラシー教育が行われていたり、不要であるという意見もある。一般情報教育は多くの大学生において社会に出る際の最後の情報教育であり、社会や一般企業等において求められる情報教育である必要がある。2007 年春に策定された GEBOK や既に発行済みの情報処理学会が出版する一般情報教育の教科書を参照モデルとして大学における一般情報教育へのニーズについて、一般企業等の方々に個別のヒアリングを実施した。 GEBOK について、それぞれの組織(公官庁、地方自治体、大学/学校、企業)ではどのようにとらえているのかの調査結果について報告する。



[略歴

筑波大学大学院システム情報工学研究科コンピュータサイエンス専攻教授.

1985 年 NTT ソフトウェア(株)に入社、SE、プロマネ、人事部を経て、2007 年 3 月から(株)NTT データ、先導的 IT スペシャリスト育成推進プログラムのため筑波大に常勤教員として出向中.

情報処理学会 J07 カリキュラム標準 IT 領域策定委員長 (IT 教育委員会委員長). 共著: 情報処理学会 IT Text シリーズ 『情報システム基礎』 『情報と社会』 『情報と職業』、 『ずっと受けたかったソフトウェアエンジニアリングの授業 1, 2』 (翔泳社 2006).



2005年東京農工大学大学院工学教育部電子情報工学専攻博士後期課程修了。博士(工学)

同年4月清和大学専任講師, 現在に至る.

教育の情報化、ヒューマンインタフェースの研究に興味を持つ.

コンピュータと教育研究会運営委員(2005年~),情報処理学会論文誌編集委員(2006年~),情報処理学会論文誌情報教育特集号幹事(2006~2007年),情報処理学会一般情報教育委員会幹事(2007年~)等を歴任).

●パネル討論 3月11日(水) 10:20-12:00 [第2イベント会場(コラーニングハウス I 1F C101)] 「これからの一般情報教育のあり方」

[討論概要]

パネリストである東京大学の山口和紀教授からは、教養教育の位置づけ、目的についてお話しいただいた後、東京大学教養学部において情報教育を始めたきっかけ、高校の情報教育の必履修により学生たちがどのような影響を受けたか、どのような内容をどのように教育しているか、教育はどのように評価されているか、どのような課題が残されているかについてお話しいただく。

もう一人のパネリストである北海道大学の岡部成玄教授からは、北海道大学におけるほぼ全学の学生が履修する全学共通の一般教育科目としての情報教育の視点から、実施体制や授業計画と評価、授業内容と授業方法についてお話いただくとともに、初等中等教育などの影響により学生たちがどのように変化したかについてお話しいただく。

その後、文科系私立大学における現状なども含めて司会者からお話しし、フロアとの意見交換を行う予定である。

司 会:立田 ルミ(獨協大)

略歴・写真は「シンポジウム (3): 2008 年度以降の一般情報教育のあり方を問う」司会紹介を参照。



パネリスト: 岡部 成玄(北大)

略歴]

・---北海道大学情報基盤センター教授.

1978年、北海道大学理学研究科博士課程修了(理博)、北海道大学情報処理教育センター、情報メディア教育研究総合センターを経て、2003年から現職、著書「情報学入門—大学で学ぶ情報科学・情報活用・情報社会(コロナ社)」ほか、

情報処理学会,教育システム情報学会,教育工学会,情報科教育学会各会員.

パネリスト: 駒谷 昇一(筑波大)

略歴・写真は「講演(2) 一般情報教育の知識体系(GEBOK)に関する調査報告」を参照.



パネリスト:山口 和紀(東大)

「略歴]

1956 年生. 1979 年東京大学理学部数学科卒業. 1981 年東京大学理学部助手. 1985 年理学博士 (東京大学). 1989 年筑波大学電子情報工学系講師. 1992 年東京大学教養学部助教授. 1999 年東京大学情報基盤センター教授. 2007 年東京大学大学院総合文化研究科教授. コンピュータのためのモデリング全般に興味を持つ.

情報処理学会, ACM 各会員.

シンポジウム(4):情報を副専攻とする理工系学科の知識項目

「全体概要]

情報処理学会教育委員会および関連する委員会で、2007 年度までに情報専門学科の知識項目 (BOK) および標準カリキュラムモデルとして J07 を作成した. しかし、現在の多くの大学の学部・学科等において、電子情報工学科、機械情報工学、経営情報学科といった、「情報」という名を有していても情報を主とする専門学科ではなく、情報を副専攻として学習する場合が多数ある。さらに、学生の総数は情報専門学科の学生数よりも多い情況である。このため、理工系学科で情報を副専攻として扱う学科における、情報および情報関連科目の知識項目と標準カリキュラムの作成を試みた。副専攻としての知識項目の基本的考え方を示し、技術開発系(電気、電子、機械工学科向き)のカリキュラム案、および経営管理系(経営・管理工学科向き)のカリキュラム案を示す。最後に J07 および今後の課題を含めて、パネルディスカッションを行う。



司 会:佐渡 一広(群馬大)

[略歴]

1977 年東京工業大学理学部情報科学科卒業. 1979 年同大学院修士課程修了. 1983 年同大学院博士課程単位取得退学. 1983 年群馬大学工学部助手. 1987 年同大学助教授. 1993 年同大学社会情報学部助教授. 理学博士. プログラミング言語, 教育支援, 電子民主主義等に興味を持つ.

ACM, IEEE, 日本ソフトウエア科学会他会員.

●講演(1) 3月11日(水) 15:30-15:50 [第2イベント会場(コラーニングハウスⅠ 1F C101)] 「情報副専攻の目的と概要」

玉井 哲雄(東大)

[講演概要]

情報処理学会教育委員会および関連する委員会では、2007 年度までに情報専門学科の知識項目 (BOK) および標準カリキュラムモデルとして J07 を作成した. しかし、現在の多くの大学の学部・学科等において、電子情報工学科、機械情報工学科、経営情報学科といった、「情報」という名を有していても情報を主とする専門学科ではなく、情報を副専攻として学習するケースが多数ある。また、「情報」が学科名に含まれていなくても、分野として情報が重要な位置づけにある学科も少なくない。それらの学科に学ぶ学生の総数は、情報専門学科の学生数よりもむしろ多い。このために、情報を専門として学ぶのではないが、情報を副専攻としたり情報教育に力を入れている学科において、学生がどのような知識を習得すべきかを検討する委員会を設けた。この活動状況と今後の計画について述べる。



[略歴]

1972 年東京大学大学院工学系研究科計数工学専攻修士課程修了. 同年 (株) 三菱総合研究所入社. 1989 年筑波大学大学院経営システム科学専攻助教授. 1994 年東京大学教養学部 (大学院総合文化研究科)教授, 現在に至る. 工学博士. ソフトウェア要求技術, 検証技術, モデル化技術, 進化プロセスの分析, 協調計算モデルの開発, 等の研究及び実際的な問題への適用に従事. 著書に「ソフトウェア工学の基礎」(岩波書店, 2004, 大川出版賞受賞),「ソフトウェアのテスト技法」(共立出版, 1988) など, 訳書に「ソフトウェア要求と仕様ー実践, 原理, 偏見の辞典」(新紀元社, 2004) などがある.

●講演(2) 3月11日(水)15:50-16:10 [第2イベント会場(コラーニングハウス I 1F C101)] 「技術開発系情報副専攻 |

森 武俊(東大)

[講演概要]

電子情報工学科や機械情報工学科など学科名に「情報」を有するものの情報科学・技術を主たる専門とするのではなくあくまで電子工学や機械工学が基盤である学科、あるいは電子工学科や機械工学科という名称を用いているが「情報分野」についても力を入れている学科などが多数ある。これらの学科における主たる「情報分野」を技術開発系と定義し、どのような情報技術の知識を身につけるべきかの共通の指針を設けることを目的として最低限の知識項目を設定した。基礎的なプログラミングやアルゴリズム、応用としてのコンピュータアーキテクチャ、オペレーティングシステム、通信ネットワーク、ソフトウエア工学、組み込みシステム、ヒューマンコンピュータインタラクションを中心とした最低限必要と思われる知識項目を示す。



[略歴]

1995 年東京大学大学院工学系研究科博士課程修了(情報工学専攻). 同年東京大学先端科学技術研究センター助手. 1998 年同講師. 2001 年 米国 MIT 客員研究員. 2002 年東京大学助教授. 現在同大学大学院情報理工学系研究科准教授(知能機械情報学専攻). 動作認識, 行動理解, ヒューマンコンテンツの研究に従事. 日本ロボット学会, 日本機械学会, 電子情報通信学会, 計測自動制御学会, 人工知能学会, ヒューマンインタフェース学会, IEEE, ACM 会員. 博士 (工学). 情報処理学会会員.

●講演(3) 3月11日(水)16:10-16:30 [第2イベント会場(コラーニングハウス I 1F C101)]

「経営管理系情報副専攻」

西村 和夫 (駒沢大)

[講演概要]

経営情報学科やシステム工学科などの学科では、「情報分野」の教育を中心に行っているところもあれば、「副専攻」のような扱いになっている場合もある。あるいは経営工学や管理工学科等の学科では、情報教育に力を置いている学科もある。これらの学科おいては、情報技術の教育ではなく、情報を利用する、あるいは管理するような面からの教育が行われていることが多い。このように「経営管理系」の情報副専攻として、どのような情報分野の知識を身につけるべきかの共通の指針を設けることを目的として、最低限の知識項目を設定した。基礎的なプログラミングやアルゴリズム等を基礎とし、ネットワーク、情報管理、セキュリティ、ヒューマンコンピュータインタラクション等を中心として最低限必要と思われる知識項目を示す。



「略歴]

1974 年慶應義塾大学工学部管理工学科卒業。同年修士課程修了。同大学院博士課程数理工学専攻単位取得退学。 1976 年慶應義塾大学工学部数理科学科助手。1988 年駒澤大学経営学部講師。1995 年教授。科目:情報セキュリティ。 1984 年~現在情報処理学会 Fortran WG 委員。

1999年~2003年 C++JIS 原案作成委員.

情報処理技術者試験委員. ACM, IEEE, 日本ソフトウエア科学会ほか会員.

●講演(4) 3月11日(水)16:30-16:50 [第2イベント会場(コラーニングハウス I 1F C101)]

「J07 の各領域との関係」

佐渡 一広 (群馬大)

[講演概要]

J07 における5つの領域においても、今回のセッションで講演される副専攻の学習項目でも、習得すべき知識項目についてはかなりの違いがある。しかも、これらに共通にあるものは何か、それが「情報」という基本になるのかについてはさまざまな意見がある。本講演では、J07 における各領域と副専攻の2 領域について、共通にあるものと違いについて述べる。

J07 の各領域において、それぞれの大項目である area で比較すると共通部分があるように見られるが、その中の中項目としての unit を比較するとかなり 異なってくる。そこで、J07 の領域と副専攻において、area の段階での共通点を示し、unit の段階での違いについて、特にプログラミングとネットワークを 例にして比較する。これにより、J07 と副専攻の位置づけを考えてみる。

「略歴

略歴・写真は「シンポジウム (4):情報を副専攻とする理工系学科の知識項目」司会紹介を参照.

●パネル討論 3月11日(水)16:50-17:30 [第2イベント会場(コラーニングハウス I 1F C101)] 「情報を副専攻とする理工系学科に要求される知識項目」

[討論概要]

現在日本の大学には「情報」を名前に含む学科が多数あり、さまざまな教育が行われいる。しかし、これらに共通に行われている「情報教育」が何であるかというものは現在ない。また、J07の5領域でもかなりの差があるように、必ず履修すべき、あるいは身につけておくべき知識という者が定まっていない。 J07における5つの領域と今回示した2つの副専攻を基本に、「情報」を学んだといえるためには「少なくともこれだけはできるべきである」とか「これは知っているべきである」といったものについて、特に理工系学科における知識項目についてフロアからの質問を交えて討論を行う。

司 会:佐渡 一広(群馬大)

略歴・写真は「シンポジウム(4):情報を副専攻とする理工系学科の知識項目」司会紹介を参照.

パネリスト: 玉井 哲雄(東大)

略歴・写真は「講演(1) 情報副専攻の目的と概要」を参照.

パネリスト:西村 和夫(駒沢大)

略歴・写真は「講演(3) 経営管理系情報副専攻」を参照.

パネリスト:森 武俊(東大)

略歴・写真は「講演(2) 技術開発系情報副専攻」を参照.

|シンポジウム(5): ソウルアコード -情報専門学部教育認定の国際相互承認-

[全体概要]

JABEE による学部段階の技術者教育教育認定は、ワシントンアコードによって国際相互承認の対象となっている。しかしながら、このアコードは、Engineering Education を対象としたもので、情報分野一般、とりわけ、CSや IS は対象外である。これら情報分野を対象とする教育認定の国際相互承認の仕組みをつくるべく、米・英・加・豪・韓・日の認定機関が集まって協議が行われ、2008 年 12 月にソウルアコードとして協定が発足した。この動きを踏まえて、JABEE では、ワシントンアコード対応の各分野の認定と分離して情報分野の認定を行う体制(J-CAC)へ移行する準備を進めている。すなわち、情報処理学会、電気学会、経営工学関連学会協議会から委員が集まって情報系認定審査準備委員会(J-CAC 準備委員会)を構成し、この分野での認定基準案を策定し、それに即した形で認定審査の試行を行ってその実現可能生も検討してきた。ソウルアコードおよび J-CAC の取組みを紹介し、情報専門教育の質の向上・保証に対する、アクレディテーション委員会を中心に進めてきた。学会での活動の今後を展望する。



司 会:牛島 和夫(九産大)

[略歴]

1961年東京大学工学部卒. 1977年九州大学工学部教授. 2001年九州大学名誉教授.

同年,財団法人九州システム情報技術研究所長.2002年4月九州産業大学情報科学部教授・学部長.

本会理事, 監事, 九州支部長を歴任. 2003年本会名誉会員.

現在本会アクレディテーション委員会委員長.

●基調報告(1) 3月12日(木)9:30-9:50 [第2イベント会場(コラーニングハウス I 1F C101)]

「ソウルアコード」

筧 捷彦(早大)

[報告概要]

2007 年 11 月に ABEEK(韓国の技術者教育認定機構)の呼びかけで、ABEEK(韓)、ABET(米)、ACS(豪)、BCS(英)、JABEE(日)がソウルに集まって、これらの機関が情報分野で認定した教育プログラムを相互に同等なものとして承認し合う協定(ソウルアコード)を結ぶべく努力をしようという宣言(ソウル宣言)を行った。その後の 1 年をかけて、「定款・細則」(rules and procedures)や、相互承認の対象となる同等性の内容を記した「卒業者属性」(graduate attributes)などを合意して、2008 年 12 月 6 日にソウルアコードが成立した。

その「卒業者属性」を中心にソウルアコードの内容と、そこに至る経過について報告する.



[略歴]

1970年東京大学大学院工学系研究科修士課程修了.

東京大学助手,立教大学理学部講師・助教授を経て,1986年から早稲田大学理工学術院教授(基幹理工学部情報理工学科).プログラミングおよびプログラム言語に関して研究教育を行う.

本会フェロー,情報処理教育委員会委員長.学術会議連携会員.日本ソフトウェア科学会,ACM 等会員.

●基調報告(2) 3月12日(木)9:50-10:10 [第2イベント会場(コラーニングハウス I 1F C101)]

[J-CAC]

吉澤 康文 (農工大)

[報告概要]

「情報系の認定審査検討ワーキンググループ」は 2007 年8月に9名のメンバにより第一回の検討会が開始された。ほぼ1年かけ新基準案の完成をみた。2008 年8月からは新基準案を試行する目的で「情報系認定審査準備委員会」と名称を改め、新基準案を試行する実施体制とすべく、新メンバを6名加えた。この委員会は、文部科学省委託事業「大学評価研究委託事業」の一環として継続的に毎月開催されている。新基準の設定では、米国の ABET/EAC, CAC の認定基準を参考にし、現状の JABEE 基準との整合性を考慮すること、そして、なによりも、情報系の新たな国際的相互承認の動きであるソウルアコードへの合意を達成することを配慮することにしている。このシンポジウムでは、J-CAC の活動の根底にある考えとその経緯について J-CAC 検討WGの主査で現在は文部科学省大学評価研究委託事業 情報系分野別評価 WG 主査の米田英一氏に代り説明する。



「略歴]

1967年東京工業大学理工学部応用物理学科卒業.

同年(株)日立製作所中央研究所、同社システム開発研究所を経て1995年東京農工大学工学部教授、現在に至る.

大形計算機用 OS の開発と性能評価、OS の開発治工具の開発、ハイエンドサーバ、超並列計算機、実時間システムの研究開発に従事、情報処理学会論文賞受賞 (1972). 情報処理学会理事、監事を歴任.

フェロー会員, ACM, IEEE-CS 各会員. 工学博士.

●基調報告(3) 3月12日(木)10:10-10:30 [第2イベント会場(コラーニングハウス I 1F C101)] 「J-CAC の認定審査試行」

疋田 輝雄 (明大)

[報告概要]

J-CAC の新しい認定基準の妥当性についての評価を行なうため、認定審査の試行を近々に行なう予定である。このシンポジウム開催時には実地審査を終えているので、この試行審査から得られることが期待されている、新基準の評価および知見について報告する。

新基準の JABEE との相違は主に、認定基準 1 の学習・教育目標にある項目 (a)-(h) のうちのいくつかでの違いにあると考えられるので、特にこれらの、実地審査試行での結果について報告したい、



[略歴]

1989年から明治大学理工学部情報科学科教授.

計算理論、ネットワークコンピューティング等に興味をもっている.

2003 年から情報処理学会コンピュータ科学教育委員会委員長.

著書は「コンパイラの理論と実現」(共立出版)など.

「情報科学こんせぷつ」(朝倉書店) 編集.

●パネル討論 3月12日(木) 10:30-12:00 [第2イベント会場(コラーニングハウス I 1F C101)] 「J-CAC と情報専門教育」

「討論概要〕

J-CAC での認定基準案を用いた認定審査試行で審査試行を受けた側の人も交えて、情報分野における教育の質向上に向けてのアクレディテーション活動の 今後を展望する.

ソウルアコードによる情報分野認定教育プログラムの国際相互承認の枠組みの下で、日本での認定をどのような形にもっていくべきか、JABEE の教育認定の仕組みが各大学での教育プログラムの改善につながるために必要なことは何か、などを討論する。

司 会: 牛島 和夫(九産大)

略歴・写真は「シンポジウム (5): ソウルアコード - 情報専門学部教育認定の国際相互承認 - 」司会紹介を参照.

パネリスト: 筧 捷彦(早大)

略歴・写真は「基調報告(1) ソウルアコード」を参照.



パネリスト:酒井 三四郎 (静岡大)

[略歴]

1984年静岡大学大学院電子科学研究科博士課程住. 工学博士.

学宗大学, 新潟産業大学, 静岡大学工学部を経て, 現在同大学情報学部教授 (情報科学科).

ソトウェア開発支援、プログラミング学習支援や協調学習に関する研究・開発に従事.

本会正会員, アクレディテーション委員会委員. 電子情報通信学会, 教育システム情報学会等会員.



パネリスト:鈴木 敦夫(南山大)

[略歴]

東京大学工学部計数工学科卒. 同大学院工学系研究科計数工学専攻修士課程修了, 工学博士.

東京大学工学部計数工学科助手、南山大学経営学部教授などを経て、現在、南山大学数理情報学部教授、学部長、

専門はオペレーションズ・リサーチ. 南山大学での OR を用いた業務改善で, 2005 年, INFORMS (Institute for Operations Research and the Management Sciences), Franz Edelman Finalist 賞, 2007 年度日本オペレーションズ・リサーチ学会実施賞受賞.

パネリスト: 疋田 輝雄 (明大)

略歴・写真は「基調報告 (3) J-CAC の認定審査試行」を参照.

パネリスト: 吉澤 康文 (農工大) 略歴・写真は「基調報告 (2) J-CAC」を参照.

シンポジウム(6):IT 専門職大学院を対象とした認証評価モデル

「全体概要

専門職大学院は5年毎に認証評価を受けることを法令で義務付けられており、認証評価機関は専門分野毎に文部科学省の認証を受けることになっている. 情報分野ではこれまでに4校の専門職大学院が設置されているが、それを対象とする認証評価機関はまだ存在しない、そこで、情報処理学会は文部科学省からの委託を受けて、IT 専門職大学院の認証評価モデルの検討を行なった。IT 専門職大学院は、通常の大学院とは異なり、IT/ICT 分野における高度専門職業人の育成を目的としており、PBL やインターンシップ等の実践教育を積極的に実施している点や、実務家教員を多数配置している点でも特色がある。こういった教育手法は、既存の情報系大学院における教育でも注目されており、先導的IT スペシャリスト育成推進プログラム等でも産学連携による実践教育が盛んに行われている。本シンポジウムでは、IT 専門職大学院の認証評価モデルに関する検討結果を報告し、IT 専門職大学院関係者や産業界のITプロフェッショナルコミュニティ関係者だけでなく、一般の大学教員も含めたディスカッションを行なう。これを通じて、最近、様々な取り組みが行なわれている高度IT 人材育成に関する取り組みに対する妥当な評価のあり方についても議論を深める。

司 会: 筧 捷彦(早大)

略歴・写真は「シンポジウム(5):ソウルアコード -情報専門学部教育認定の国際相互承認-『基調報告(1) ソウルアコード』」を参照.

●趣旨説明 3月12日 (木) 14:30-14:40 [第2イベント会場(コラーニングハウス I 1F C101)] 「プロジェクトの概要報告」

筧 捷彦(早大)

「報告概要」

専門職大学院は、5年ごとに1回、分野別の認証評価を受けることが義務づけられている。

認証評価とは、文部省の認証を受けた機関が行う評価をいう。IT 分野では、すでに複数の専門職大学院が設置認可されて教育研究を行っているが、いまだに 認証評価機関が誕生していない。そこで、IT 専門職大学院を対象とした認証評価機関の設立を目指して、情報処理学会では 2008 年度に IT 専門職大学院 認証評価検討委員会を置いて、文部科学省の大学評価研究委託事業「IT 専門職大学院の認証評価モデルの研究開発事業」として、認証評価を実施するための審査システムの構築に関する調査研究を行ってきた。具体的な調査研究は、評価制度検討 WG と評価組織検討 WG とを設けて行った。その成果を報告する。「略歴!

略歴・写真は「シンポジウム (5):ソウルアコード - 情報専門学部教育認定の国際相互承認-『基調報告 (1) ソウルアコード』」を参照。

●講演(1) 3月 12日(木)14:40-15:00 [第 2 イベント会場(コラーニングハウス I 1F C101)] 「IT 専門職大学院について」

大原 茂之 (東海大)

[講演概要]

本講演ではIT専門職大学院の特徴を説明するとともに、実際のIT専門職大学院についても紹介する。先ず、設置基準における専門職大学院の特徴について述べる。すなわち、高度の専門職業を担えるように深い学識と卓越した能力を培うこと。さらに教育手法としては、事例研究、現地調査、双方向の教育手法など実践的な教育を行うこととなっている。一方で、修士論文の作成は義務付けられていない。こうした目的、教育手法の特徴から、実社会では必須の技術であるにもかかわらず人材不足に陥っている領域を扱うことが可能となる。多くの場合、こうした実務的な技術領域は、大学の研究対象としてはあまり扱われてこなかった。ITでいえば、開発工程、プロジェクト管理、品質管理、ビジネス戦略、コンテンツなどである。こうした専門職大学院の特徴とITにおける人材育成の両面から、4つの専門職大学院を取り上げ、その特徴について紹介する。



「略歴

1971年3月東海大学大学院工学研究科電気工学専攻修士修了。同年4月東海大学工学部電子工学科助手。現在に至る。研究としては、仮想空間におけるデバイスの同期確保の技法、スキルマネジメントなどに従事。

学外活動としては、経済産業省組込みソフトウェア開発力強化推進委員会などの委員を歴任、IPA/SEC リサーチフェロー、同 SEC にて組込みスキル標準(ETSS)のリーダー、社団法人組込みシステム技術協会理事。

●講演(2) 3月12日(木) 15:00-15:20 [第2イベント会場(コラーニングハウス I 1F C101)]

「IT 専門職大学院を対象とした認証評価の基準と評価プロセス」

大岩 元 (帝京平成大)

[講演概要]

IT 専門職大学院認証評価モデル事業の制度検討 WG では、IT 専門職大学院を対象とする認証評価を行うための基準と評価プロセスについて検討した。専門職大学院は認証評価を受けることが法令によって義務付けられており、その評価結果は社会に公表されること等、JABEE によるアクレディテーション審査とは異なる面を持つ、専門職大学院の教育が、情報産業の発展に資するよう改善されていく仕組作りを目指した結果について報告する。



[略歴]

1965年,東京大学理学部物理学科卒。1971年東京大学大学院理学系研究科博士課程修了,理学博士。

東京大学理学部助手,豊橋技術科学大学講師,同助教授,同教授を経て1992年慶應義塾大学環境情報学部教授,2008年帝京平成大学現代ライフ学部教授,慶應義塾大学名誉教授.

情報教育学,ソフトウェア工学,認知工学の研究に従事している.

情報処理学会フェロー.

●講演(3) 3月12日(木)15:20-15:40 [第2イベント会場(コラーニングハウス I 1F C101)] 「IT 専門職大学院を対象とした認証評価の組織とビジネスモデル」

掛下 哲郎 (佐賀大)

[講演概要]

IT 専門職大学院認証評価モデル事業の組織検討 WG では, IT 専門職大学院を対象とする認証評価機関の管理運営・評価判定を行うための体制モデルおよび経営モデルについて検討した。また、認証評価活動を適正に行うために必要な規則についても検討し、案を策定した。専門職大学院は、認証評価を受けることが法令によって義務付けられており、また、評価結果は社会に公表されること等、JABEEによるアクレディテーション審査とは異なる面を持つ、そのため、既存の認証評価機関を訪問してヒアリングを実施するとともに、認証評価機関の候補機関に対して予備的な検討依頼を行った。本講演では、これらの結果についても報告する



[略歴]

九州大学情報工学科卒業. 同博士後期課程修了. 工学博士. 現在, 佐賀大学知能情報システム学科助教授.

2001年度より学科の教育システムの構築を推進し、2003年度に JABEE 認定を受けた.

2004 年度より情報処理学会アクレディテーション委員会幹事および JABEE 基準委員、IT 人材育成における産学連携活動を推進中、データベースおよびソフトウェア工学を専門とする。

情報処理学会, 電子情報通信学会等会員.

●パネル討論 3月12日(木) 15:40-16:30 [第2イベント会場(コラーニングハウス I 1F C101)]

司 会: 筧 捷彦(早大)

略歴·写真は「シンポジウム(5):ソウルアコード - 情報専門学部教育認定の国際相互承認 - 『基調報告(1) ソウルアコード』」を参照。



パネリスト: 浅野 敦行(文部科学省)

[略歴]

1993年文部省入省. 1994年学術国際局国際学術課.

1996年参議院法制局. 1998年高等教育局企画課.

1999年高等教育局医学教育課. 2002年在英日本国大使館.

2005年文化庁文化財部文化財国際協力室長. 2008年高等教育局専門職大学院室長.



パネリスト:有賀 貞一(ミスミグループ本社)

[略歴]

1970年一橋大学経済学部卒,野村電子計算センター入社.90年に野村総合研究所(NRI)取締役,94年同常務取締役.97年 CSK 専務取締役就任.2000年同代表取締役副社長,2005年 CSK ホールディングス代表取締役.2008年 現職、NRI、CSK を通じて、人材育成、情報処理技術者試験、政府関係委員会、生産性向上などに尽力、情報サービス産業協会(JISA)副会長(2006年~2008年), 岩手県立大学理事(2006年~2008年), 東京工業大学非常勤講師、情報処理学会、経営情報学会等会員、2007年度情報化貢献個人表彰(経済産業大臣表彰)受賞、

パネリスト:大岩 元(帝京平成大)

略歴・写真は「講演(2) IT 専門職大学院を対象とした認証評価の基準と評価プロセス」を参照.

パネリスト: 大原 茂之(東海大)

略歴・写真は「講演(1) IT 専門職大学院について」を参照.

パネリスト:掛下 哲郎(佐賀大)

略歴・写真は「講演 (3) IT 専門職大学院を対象とした認証評価の組織とビジネスモデル」を参照.



パネリスト: 平林 純一(経済産業省)

「略歴]

法政大学経済学部経済学科卒.

1984年4月通商産業省入省(大臣官房会計課),中小企業総合事業団共済推進部共済計画課長代理,経済産業研修所研修官,中小企業庁経営支援部経営支援課企画調整一係長,製造産業局産業機械課専門職(重電担当)等を経て2008年8月より現職.

※このプログラムは講演申込時のデータを元に作成しております。 (所属は略称)

第1分冊

(アーキテクチャ)

一般セッション [1A 会場] (3 月 10 日 (火) 9:30 ~ 12:00)

並列処理と動的再構成技術 座長 嶋田 創(京大) 1 Cell プロセッサにおけるソフトウェアトランザクショナルメモリの

- ○出宮健彦, 高山征大, 境 隆二 (東芝) 実装と評価
- 2 3次元格子状接続並列計算機による,疎密のある物理空間の計算のための マッピングアルゴリズム:ミラーマッピング ○村田 淳 (千葉大)
- 3 上流設計フェーズでの組み込みシステム性能評価方式の高精度化に ○大森康宏, 石田仁志, 関 誠司 (三菱) 関する考察
- (講演取消)
- 5 FPGA に適した複素乗算器構造の検討および評価

○佐藤啓一, 多田十兵衛, 後藤源助, 田村安孝 (山形大)

一般セッション [2A 会場] (3 月 10 日 (火) 14:30 ~ 17:00)

座長 田端 利宏 (岡山大) 仮想化技術

- 1 ファイルサーバ向け仮想化機能の設計と実装(1)
 - ○中野隆裕, 揚妻匡邦, 松沢敬一, 亀井仁志 (日立)
- ファイルサーバ向け仮想化機能の設計と実装(2)
 - ○松沢敬一, 揚妻匡邦, 亀井仁志, 中野隆裕(日立)
- ファイルサーバ向け仮想化機能の設計と実装(3)
 - ○亀井仁志, 揚妻匡邦, 松沢敬一, 中野隆裕(日立)
- 4 仮想マシン環境におけるセキュア VM 間通信機構の開発

○片山吉章、松本利夫 (三菱)

- 仮想マシン環境における障害解析支援手法
 - 実行トレース再生機構の検討 -

○近江雅紀,松本利夫,片山吉章,樋口 毅,國分俊介(三菱)

- 仮想計算機上の RT-OS と非 RT-OS に対するタイマ割込み管理手法 ○金城 聖, 永島 力, 毛利公一(立命館大)

一般セッション [3A 会場] (3 月 11 日 (水) 9:30 ~ 12:00)

座長 合田 憲人 (国立情報学研) 高性能計算

- 1 大規模メモリ環境下におけるモデル検査ツール Spin のマルチコア ○小林史佳, 上田和紀(早大) 給証機能の性能評価
- 2 強連結成分ベースのグラフ分割による分散並列 LTL モデル検査の高速化 ○三輪真弘, 上田和紀 (早大)
- 3 GPGPU を活用したモーションデータの楽曲同期システムにおける マッチング処理の高速化に関する一検討

○八木良一,柳原広昌 (KDDI研)

- 5 粒子フィルタを用いたハミルトン系の数値シミュレーション

○佐藤 哲 (オプトリンクス)

一般セッション [4A 会場] (3 月 11 日 (水) 15:30 ~ 17:30)

省電力と高信頼技術

座長 吉瀬 謙二 (東工大)

- 1 HPC 向け高速・大容量ストレージの省電力化を図る階層ストレージ アーキテクチャと階層管理方式の提案 ○赤池洋俊(日立). 藤本和久, 岡田尚也, 三浦健司, 村岡裕明 (東北大)
- 2 アクセス予測を利用した HPC 向け高速・大容量階層ストレージの 階層管理方式における予測確率に関する検討

○岡田尚也, 藤本和久 (東北大).

赤池洋俊(日立), 三浦健司, 村岡裕明(東北大)

- 3 パーソナルコンピュータの元気化によるライフサイクル延長について ○志田晃一郎, 横山孝典, 兪 明連(武蔵工大)
- 4 自動データ移行によるディスクアレイ保守容易化技術の開発
 - ○野中裕介, 西本 哲, 永田幸司, 酒井幸介(日立)
- 5 バッファオーバーフロー検知用付加プロセッサの概要
 - ○野間翔平, 布目 淳, 平田博章, 柴山 潔 (京都工繊大)

一般セッション [5A 会場] (3 月 12 日 (木) 9:30 ~ 12:00)

組込みと効率化 座長 毛利 公一(立命館大)

- 1 差分情報を用いた複数の組み込み機器の F/W 更新方式
 - ○藤澤 暁 (三菱)
- 2 大容量 NAND フラッシュ向け組込み Linux ファイルシステム評価 ○波平真二 (東芝)

- 3 データ生存期間の規則性を活かした高速高効率メモリ管理手法
 - ○上久保雅規 (NEC), 菱沼智道 (コアーズ),
 - 森 義和 (NEC情報システムズ), 鳥居 淳 (NEC)
- 4 高速差分抽出方式による非同期リモートバックアップの効率化
 - ○根本 潤, 須藤敦之, 中村隆喜(日立)
- NAP-Web の次回アクセス補助機能における次回アクセス待ちユーザの ○加地智彦, 最所圭三(香川大)

一般セッション[4J 会場](3 月 11 日(水)15:30 ~ 17:30)

システム LSI 設計技術

座長 福水 洋平(立命館大)

- 非同期式制御回路設計における STG の CSC conflict 解消のための 効率的な因果関係追加に関する一考察
 - ○山藤友紀,桑子雅史,新家稔央(武蔵工大)
- 積層型高速低コスト半導体不揮発性メモリの基礎検討

○渡辺重佳 (湘南工科大)

3 各種 3 次元型トランジスタを用いたシステム LSI のパターン設計法 ○渡辺重佳 (湘南工科大)

学生セッション [1K 会場] (3月10日(火)9:30~12:00)

仮想化と言語処理系

座長 揚妻 匡邦(日立)

- 1 仮想計算機モニタにおける割込み処理の性能評価
 - ○永島 力、金城 聖、毛利公一(立命館大)
- 組込みシステムを想定した Xen の軽量化手法
 - ○小野利直,金城 聖,永島 力,毛利公一(立命館大)
- 協調型仮想計算機システムにおける協調機構

○荒木裕靖, 毛利公一(立命館大)

- 仮想化技術を用いたサーバ統合環境におけるリソース浪費の検出と遮断 ○岡本慶大,河合栄治,砂原秀樹(奈良先端大)
- 仮想計算機と仮想ネットワークによるグリッドコンピューティングに 関する研究 ○中村友太郎, 寺澤卓也(東京工科大)
- 静的解析情報を利用したセキュアシステムの侵入検知精度向上
 - ○服部眞也, 毛野高彦, 桑原寬明, 國枝義敏 (立命館大)
- プログラミング言語 Perl によるオペレーティングシステム構成法の研究 ○浅野一成,並木美太郎 (農工大)
- 8 型推論機能を持つ意味解析器の生成系

○佐藤宇洋,中井 央,天野勝利,佐藤 聡 (筑波大)

学生セッション [2K 会場] (3月10日(火) 14:30~17:00)

プロセッサ設計とメモリシステム 座長 橋本 隆 (パナソニック)

- プロセッサ設計教育の実践と評価
 - ○山根章吾, 鈴木裕人, 小柳 滋(立命館大)
- プロセッサアーキテクチャ学習のためのスーパースカラシミュレータの ○志水建太、山崎勝弘(立命館大)
- ハード / ソフト協調学習のためのコンパイラ開発の検討
 - ○井手純一, 志水建太, 山崎勝弘 (立命館大)
- プロセッサ設計におけるデザインパターンの検討
 - ○安倍厚志, 山崎勝弘, 志水建太(立命館大)
- PISA based VLIW Processor への割込み / 例外制御機能の実装
 - ○五井孝典, 横田隆史, 大津金光, 馬場敬信 (宇都宮大)
- PISA based VLIW Processor 向けクロス環境の構築
 - ○石井浩登, 月川 淳 (宇都宮大), 古川文人 (帝京大), 横田隆史, 大津金光, 馬場敬信 (宇都宮大)
- 7 (講演取消)
- 8 CMP におけるキャッシュメモリ階層構成の違いによる電力性能評価 ○安西由行,大津金光,横田隆史,馬場敬信(宇都宮大)

学生セッション [3K 会場] (3月11日(水) 9:30~12:00)

チップマルチプロセッサと並列化技術 座長 宮嶋 浩志 (パナソニック)

- メニーコアプロセッサの高速プロトタイピングシステム ScalableCore の ○高前田伸也,渡邉伸平,吉瀬謙二(東工大)
- 2 拡張容易な CMP シミュレータの電力評価環境構築
 - ○佐藤裕輔,大津金光,横田隆史,馬場敬信(宇都宮大)
- 3 ループ並列化における命令移動によるデータ依存同期待ち削減法の検討 ○水沼 光,大津金光,横田隆史,馬場敬信(宇都宮大)
- 4 グラフ理論に基づくスレッド分割手法におけるループ展開の適用検討 ○阿部武志、大津金光、横田隆史、馬場敬信(宇都宮大)
- 5 タスク分割による Cell 用の自動並列化コンパイラの開発

○漆尾有史(立命館大)

- 6 パスペーススレッド分割手法に基づいた自動並列化システムの実装 ○伊里拓也,小川大仁,大津金光,横田隆史,馬場敬信(宇都宮大)
- 7 バイナリレベル変数解析に基づいた自動並列化システム

○白戸卓志、大津金光、横田隆史、馬場敬信(宇都宮大)

8 Cell による DMA 通信機能を用いた動画像圧縮方式の検討

○藤田大地, 三浦康之(湘南工科大)

学生セッション [4K 会場] (3 月 11 日 (水) 15:30 ~ 17:30)

HPC と高速化 座長 加納 健(NEC)

- 1 (講演取消)
- 2 条件分岐の SIMD 化手法の Cell への適用

○岩田 顕,漆尾有史,桑原寛明,國枝義敏(立命館大)

- 3 ホットループパス検出機構における動的最適化に向けたパラメータの検討 ○津田 翼、矢野目秀人、大津金光、横田隆史、馬場敬信(宇都宮大)

Shamim Akhter (東工大),合田憲人 (国立情報学研 / 東工大),

Yann Chemin (International Rice Research Institute)

- 5 (講演取消)
- 6 Snort ルールを入力とするネットワーク侵入検知ハードウェアの開発 ○若葉陽一,川中洋祐,永山 忍,稲木雅人,若林真一(広島市大)

学生セッション [5K 会場] (3月12日(木) 9:30~12:00)

マルチスレッドと省電力

座長 佐藤 真琴(日立)

- 1 動的最適化のためのハードウェアホットパス検出機構の実装
 - ○中島伸吾, 横田隆史, 大津金光, 馬場敬信 (宇都宮大)
- 2 Control Independence におけるリソース管理手法の提案

○西川直樹、孟 林、西岡拓生、小柳 滋(立命館大)

3 2パス限定投機システムの提案 - スレッド実行機構 -

○米田淳一,福田明宏,十鳥弘泰,佐藤和史, 大津金光,横田隆史,馬場敬信(宇都宮大)

- 4 2パス限定投機システムの提案 マルチスレッド制御機構 -
 - ○佐藤和史,福田明宏,十鳥弘泰,米田淳一, 大津金光,横田隆史,馬場敬信(宇都宮大)
- 5 2パス限定投機システムの提案 メモリアクセス機構 -

○十鳥弘泰,福田明宏,佐藤和史,米田淳一, 大津金光,横田隆史,馬場敬信(宇都宮大)

- 6 2パス限定投機システムの提案 スレッドコード生成処理系 -
 - ○福田明宏,十鳥弘泰,佐藤和史,米田淳一, 大津金光,横田隆史,馬場敬信(宇都宮大)
- 7 省電力 MIPS プロセッサコア評価のための計算機システムの FPGA による 試作 ○木村一樹,砂田徹也 (農工大),長井智英 (東大), 関 直臣 (慶大),近藤正章 (東大),天野英晴 (慶大),

宇佐美公良(芝浦工大),中村宏(東大),並木美太郎(農工大)

- 8 消費電力の実行時予測を用いた電力最適化
 - ○高橋英樹, 桑原寬明, 國枝義敏 (立命館大)

学生セッション [6K 会場] (3月12日(木) 14:30~16:30)

プロセッサと可視化

座長 上久保雅規(NEC)

- 1 CacheCore の動的最適化による積極的なデータ供給支援
 - ○森 洋介, 吉瀬謙二 (東工大)
- 2 SMT プロセッサにおける軸タスク分割を考慮したスケジューリング アルゴリズム
 - ○市川博紀, 兪 明連, 横山孝典, 志田晃一郎(武蔵工大)
- 3 Cell/B.E. への MINIX 3 の移植とヘテロジニアスマルチコアプロセッサ 上でのプロセス管理方式の実現 ○野尻祐亮,並木美太郎(農工大)
- 4 Linux における動的再構成可能プロセッサの実行管理機構の試作
 - ○高畠和幸, 佐藤未来子, 磯部泰徳, 並木美太郎 (農工大)
- 5 汎用ホモジニアスマルチコアにおける異種 OS の連携機構
 - ○磯部泰徳, 佐藤未来子, 並木美太郎 (農工大)
- 6 マルチコアプロセッサにおけるスクラッチパッドメモリを用いた メモリ管理システムの試作
- ○北原 悠,佐藤未来子,磯部泰徳,並木美太郎(農工大)
- 7 (講演取消)
- 8 計算機システム学習支援環境「港」における OS 可視化ツールの開発 ○本橋大樹, 青山誠一 (拓大),

西野洋介(都立府中工業高校),早川栄一(拓大)

学生セッション [1L 会場] (3月10日(火)9:30~12:00)

組込みとネットワーク 座長 阿部 洋丈 (豊橋技科大)

- 1 組込み OS(T-Kernel) における分散共有メモリの研究
 - ○松原裕人, 山原 亨, 大谷 真 (湘南工科大)
- 2 T-Kernel 分散共有メモリ機能のためのメモリ高速転送の実現
 - ○山原 亨, 松原裕人, 酒井隆行, 大谷 真 (湘南工科大)
- 3 動的更新が可能な組み込み OS に関する研究
 - ○樋上真人, 横山孝典, 志田晃一郎, 兪 明連(武蔵工大)
- 4 組み込みシステム向けのダイナミックリンク手法に関する研究
 - ○野原史朗, 横山孝典, 志田晃一郎, 兪 明連 (武蔵工大)
- 5 小型組込み機器を対象とした分散システムの構築法とその言語処理系の試作 ○盛合智紀, 並木美太郎 (農工大)
- 6 組み込みシステムのためのアスペクト指向によるコンフィギュレーション 手法 ○松岡幸典、横山孝典、志田晃一郎、兪 明連(武蔵工大)
- 7 センサ・アクチュエータノードにおけるプロセスの目的を考慮した 資源割当て手法 ○金丸達雄, 横田裕介, 大久保英嗣(立命館大)
- 8 無線基地局と端末の協調による QoS 制御システム

○川口雄二郎, 毛利公一(立命館大)

9 MANET における物理ネットワークを考慮したオーバレイネットワーク 構築手法 ○西原雄太, 植田裕規, 陶山優一, 横田裕介, 大久保英嗣(立命館大)

学生セッション [2L 会場] (3月10日(火) 14:30~17:00)

上流設計技術 座長 山田 晃久 (シャープ)

- 1 モデル検査に対応する上位ハードウェア記述言語 Melasy と XML 中間表現 ○岩崎直木,野村達雄,和崎克己(信州大)
- 2 上位ハードウェア記述言語 Melasy からの VHDL ターゲットコード生成器 ○野村達雄、岩崎直木、和崎克己(信州大)
- 3 Cプロトタイプ解析によるハード/ソフト最適分割システムの構築と マルチコアへの適用 ○和田智行,山崎勝弘(立命館大)
- 4 FPGA とプロセッサを組み合わせたシステム設計教育に関する研究 ○中村尚香,澤田 直(九産大)
- 5 FPGA 実装に適した離散データの近似多項式生成手法
 - 〇若本雄大,永山 忍,稲木雅人,若林真一(広島市大)

学生セッション [3L 会場] (3 月 11 日 (水) 9:30 ~ 12:00)

論理・物理設計技術 座長 金本 俊幾 (ルネサステクノロジ)

- マルチスレッディングに基づく並列フロアプランニング手法の開発と評価 ○佐藤友昭、稲木雅人、永山 忍、若林真一(広島市大)
- GALS 型システムにおける効率的なインタフェースの一構成法
 - ○唐澤陽平,桑子雅史,新家稔央,横山孝典(武蔵工大)
- 3 システム LSI における低消費電力化手法の比較検討
 - ○花見 智,渡辺重佳(湘南工科大)
- 4 スピントランジスタを用いた積層型 NAND MRAM の検討
 - ○玉井翔人,渡辺重佳(湘南工科大)
- 5 セグメント分割伝送線を用いた任意信号の品質向上
 - ○島内優希,安永守利(筑波大)
- 6 積層化した3次元型トランジスタを用いたシステム LSI の設計法
 - ○許 智杰,渡辺重佳(湘南工科大)
- 7 積層方式 NAND 構造1トランジスタ型 FeRAM の検討
 - ○菅野孝一,渡辺重佳(湘南工科大)
- 多層化半導体における回路長最短を目標とした配置手法の提案

○石井健作, 齋藤義人 (山形大),

永井明彦 (緑屋電気), 松尾徳朗 (山形大)

学生セッション [6ZD 会場] (3 月 12 日 (木) 14:30 \sim 16:30)

ネットワークと専用アーキテクチャ 座長 清水 剛(富士通研)

- 1 小規模クラスタ型並列計算機 Ships1 向けネットワークの開発と評価 ○加藤 渉, 松原裕人, 三浦康之, 大谷 真,
 - 渡辺重佳,高野誠一(湘南工科大)
- 2 (講演取消)
- 3 NoC におけるマルチパスルーティング
 - ○鈴木啓司,チュオン ソングェン,小柳 滋(立命館大)
- マルチリンク Ethernet 環境における SMP クラスタの最適化
 - ○小林智史, Axida SHAN, 吉永 努 (電通大)

5 次世代マルチコアプロセッサの試験評価を目的とした PS3 クラスタ システムの構築

○篠原啓志,大津金光,横田隆史,馬場敬信(宇都宮大)

高速モチーフ探索回路の提案

○佐藤由香, 田沢純子, 宮崎敏明(会津大)

3次元 DCT を効率的に実行するアレイプロセッサの提案

○生垣佑樹,宮崎敏明,Stanislav Sedukhin(会津大)

動的リコンフィギャラブルプロセッサを用いた暗号化アルゴリズムの 高速化の検討 ○亀井雄介, 山崎勝弘(立命館大)

(ソフトウェア科学・工学)

一般セッション [6A 会場] (3月 12日(木) 14:30~16:30)

プログラミング教育と開発管理 座長 白銀 純子 (東京女子大) 学習者に適応的なプログラミング学習環境構築のためのリアルタイムな

理解状況把握手法 ○山本耕大,中野聡美,柳生亜也子(東京学芸大),

中村勝一(福島大), 横山節雄, 宮寺庸造(東京学芸大) 2 ソフトウェア創造実習におけるグループ学習の推進

○吉村 晋, 山本昇志, 鈴木 弘, 斎藤敏治(都産業技術高専)

- 実プログラミングとプロセス観察による短期技術者診断プログラムの試案 ○松澤芳昭(静岡大),大岩 元(慶大),酒井三四郎(静岡大)
- グローバルなオフショア開発におけるビジネスプロセス知識の共有手法の ○矢口隆明, 岩田 彰 (名工大), 伊藤孝行,

Mark Klein (Massachusetts Institute of Technology), 福田直樹 (静岡大)

- Apache Struts 設定削減機能の試作評価

○倉持和彦、熊井秀憲、五十嵐政志、米田貴雄(三菱)

一般セッション [1B 会場] (3 月 10 日 (火) 9:30 ~ 12:00)

プログラム検証と品質管理 座長 永籐 直行(立命館大)

ソフトウエア開発における効果的なソースコード解析手法

○酒井正志, 宮崎肇之, 渡部淳一, 板東由美, 河崎文雄(日立)

- テスト駆動開発におけるソースコードの循環的複雑度の計測
 - ○細谷泰夫 (三菱),森崎修司,松本健一 (奈良先端大)
- 画面遷移とシステム環境を用いた Web アプリケーションのモデル化と SPIN による検証
- ○本間 圭 (宮城大), 高橋 薫 (仙台高専), 富樫 敦 (宮城大) 実時間スケジューリングを想定したエレベータシステムへのモデル検査適用 ○藤原聡子 (東芝)
- テスト設計支援ツールの設計と実装
 - ○大村 裕, 渋谷健介, 嶋田大輔, 早川祐志 (NEC)
- UI 設計ツール NINA による組み込み機器 UI ソフトウェアの再利用性向上 ○豊岡 明, 小中裕喜 (三菱)
- 7 業務アプリケーション向けリバースツールの設計と実装

○嶋田大輔, 渋谷健介, 大村 裕, 早川祐志 (NEC)

一般セッション [2B 会場] (3月 10日(火) 14:30~17:00)

数理モデル化と問題解決 座長 佐藤 彰洋(京大)

- 不均一な内力作用を持つ新製品需要予測モデル
 - ○宗形 聡, 手塚 大(日立東日本ソリューションズ)
- 最急降下モデルによる日本全域尾根線つき3次元地形図の作成

○夜久竹夫, 浅沼稔美(日大), 杉田公生(東海大),

土田賢省(東洋大), 富田啓介, 野牧賢志, 牧山華実, 安井真也(日大)

- Boolean モデルによるモデルベース診断
 - ○平塚 聡, 柴田明輝, 房岡 璋 (立命館大)
- 確率格子モデルによる生息地破壊:絶滅と種数の関係

○中桐斉之(兵庫県大), 向坂幸雄(茨城県医療大), 吉村 仁, 泰中啓一(静岡大)

- 個人の特性と話題を考慮した情報伝播モデルの研究
 - ○千葉隆雄, 鈴木育男, 山本雅人, 古川正志 (北大)
- 正規圧縮距離に対するガウス型白色ノイズの影響

○石原正道 (郡山女子大)

7 工程に基づくシーケンスプログラム設計方法 ○中川晃一 (三菱)

一般セッション [3B 会場] (3 月 11 日 (水) 9:30 ~ 12:00)

アルゴリズムとその応用 座長 久保田光一(中大)

- 1 Balanced (C4,C14)-2t-Foil Decomposition Algorithm of Complete Graphs ○潮 和彦(近畿大)
- モジュラリティによるネットワーク進化過程の観察
 - ○三好栄次, 鈴木育男, 山本雅人, 古川正志 (北大)
- ノード類似度分析による解析目的に応じたマルチグラフ構造推定

○山本康高, 細見 格, 久寿居大 (NEC)

- 自己組織化を利用したネットワーク可視化の評価と比較
 - ○岩田泰士, 鈴木育男, 山本雅人, 古川正志 (北大)
- 多数の低信頼性文字列からの日本語文の復元

○瀬戸就一(金城大短大), 杉森公一, 川辺弘之, 下村有子(金城大)

- ダブル配列による動的辞書の構成と評価
- ○矢田 晋, 田村雅浩, 森田和宏, 泓田正雄, 青江順一(徳島大)
- 7 Octgrid に基づく表編集アルゴリズム

○吉住寿洋, 塩野康徳 (東洋大), 夜久竹夫 (日大), 土田賢省 (東洋大)

一般セッション [4B 会場] (3月11日(水) 15:30~17:30)

最適化問題 座長 畠中 利治(阪大)

- 1 市場占有率の分析手法 ○木鳥基文 (ワイド)
- 進化的計算手法を用いた多変量システムの因果推定と予測問題への応用 ○鈴木智也, 上岡祐太, 佐藤春樹 (同志社大)
- ホモトピー法のパラメータに一次分数変換を適用したホモトピーパスの ○黒坂翔一(創夢),鈴木秀男(能開大東京校)
- 並列化実装した動的計画法による最適なエレベータ運行ルールの計算 ○稲元 勉, 松本卓也, 太田 能, 玉置 久, 村尾 元 (神戸大)
- Really-Full-Lookahead と ACO の統合による学校時間割自動編成システム ○越野 亮 (石川高専), 大谷隆浩, 木村春彦 (金沢大)
- ストレージ指向センサネットワーク設計問題に対する準最適解法 ○羽田明生, 土屋隆司, 平井 力(鉄道総研)

一般セッション [5B 会場] (3月 12日 (木) 9:30~12:00)

プログラム設計支援

座長 鷲崎 弘宜(早大)

1 UMLを入力とするソースコード自動生成ツールの試作

○河村美嗣 (三菱), 土屋 隆,

浅見可津志 (三菱電機インフォメーションシステムズ)

- 宇宙機運用向けタスクフロー図の構築支援
 - ○柏木裕恵,原内 聡,北村操代,舟生豊朗 (三菱)
- API を用いたデータ移行並びに検証方式の提案
 - ○古田裕久, 石原 鑑, 山本浩和 (三菱)
- モデルとビューの分離・統合を利用した要求定義ノウハウの可視化と ○橋本憲幸, 位野木万里, 松尾尚典, 吉田和樹 (東芝ソリューション)
- 5 DIコンテナを利用した業務アプリケーションにおけるプロトコル依存性の 分離 ○齋藤伸也(オージス総研)
- 6 (2B セッションに移動)

学生セッション [4L 会場] (3月11日(水) 15:30~17:30)

要求定義とプログラミング言語・設計・実装

座長 吉川 隆英(富士通研)

- 1 フレームワークを用いた Java Web アプリケーション自動生成システムの 試作と評価 ○菰田直樹 中所武司 (明大)
- 静的構造モデリングのためのアスペクト指向設計環境
 - ○添田隆弘, 横山孝典, 志田晃一郎, 兪 明連(武蔵工大)
- 3 モデル検査の振舞駆動開発への応用 〇小倉真人、深海 悟 (阪工大)
- 4 組み込みソフト向け Hichart 開発環境における動作仕様検査
 - ○荻原秀人,後藤隆彰(東洋大),夜久竹夫(日大),土田賢省(東洋大)
- ファイル機能を有さない軽量プログラム言語

○富家康之, 三浦孝夫 (法大)

- Web アプリケーションのための動的適応可能な処理分担機構の設計と実装 ○山之井啓泰, 石橋 崇, 佐藤 喬, 小宮常康 (電通大)
- Ruby における文字コード変換環境の向上
 - ○神林義博,松本章代,Dürst Martin(青学大)
- 8 継続の共有化による継続ベース Web サーバのメモリ使用量削減
 - ○新宮澄夫, 小宮常康, 佐藤 喬, 多田好克 (電通大)

学生セッション [5L 会場] (3 月 12 日 (木) 9:30 ~ 12:00)

プログラミング支援環境 座長 中田 秀基 (産総研)

1 Java アプレットのプログラミング初学者のためのトレース能力の修得を 目的とした学習支援システムの実装

○大谷育弘, 小塩貴裕, 島崎智也, 中泉 純, 荒井正之(帝京大)

2 バイトコードによる Java servlet プログラムの解析

○野口建仁,松井藤五郎,大和田勇人(東理大)

3 Web サービスを利用したプログラム開発環境

○中谷賢一, 丸山勝久(立命館大)

- 4 (講演取消)
- 5 スクリーン・スクレイピングを利用したアプリケーションの連携とデバッグ ○西村紅美,塚本享治(東京工科大)
- 6 Java プログラムの実行負荷を解析して表示するシステムの試作

○寒川明好, 岩澤京子(拓大)

- 7 プログラム理解を支援するシーケンス図表示システムの開発
 - ○塩谷祐介, 岩澤京子(拓大)
- 8 コード視覚化手法を用いた MPI プログラム開発環境のユーザインタフェース ○副島直樹, 桑原寛明, 國枝義敏 (立命館大)
- 9 Java 言語におけるテスト駆動開発支援ツール

○川上貴之, 松浦佐江子 (芝浦工大)

学生セッション [6L 会場] (3月 12日 (木) 14:30 ~ 16:30)

ソフトウェア設計 座長 蜂巣 吉成 (南山大)

- UML 要求分析モデルからの UI プロトタイプ自動生成手法の評価実験 ○小形真平,松浦佐江子(芝浦工大)
- 2 (講演取消)
- 3 組込みシステムにおけるトップダウン設計方法の一考察

○伊藤邦彦, 松浦佐江子 (芝浦工大)

- 4 ソフトウェア分析におけるアブダクションの脳生理学的な効果測定
- ○上原俊樹,大木幹雄(日本工大) 5 PIC タイマーを用いた組込みソフトウェア教育カリキュラムの開発
- 6 使用性の向上を目的とした Java 単体テスト方法学習支援ツールの分析と ○渡邉暢志, 松浦佐江子(芝浦工大)

○梅野晶裕(九産大), 古瀬 潤(アイヴィス), 澤田 直(九産大)

7 ペアプログラミング手法を活用したプログラミング教育方法の提案 ○熊谷英紀、山田敬三、田中 充、佐々木淳(岩手県大)

学生セッション [1M 会場] (3月10日(火)9:30~12:00)

ソフトウェア実装 座長 服部 操作履歴を利用したユーザビリティ評価手法

> ○矢下雄一郎(早大),岩田 一(神奈川工科大), 白銀純子(東京女子大),深澤良彰(早大)

- 2 分散処理を用いたコーディングパターン検出ツールの実装
 - ○悦田翔悟, 伊達浩典, 石尾 隆, 井上克郎 (阪大)
- 3 Web アプリケーションの生成と適用実験による評価

○森 望美,塚本享治(東京工科大)

哲 (東工大)

- 4 情報システム開発における生産性・保守性向上のためのプロジェクト間の 横断的ナレッジ共有環境の構築
 - ○倉俣恵祐,山田敬三,田中 充,佐々木淳(岩手県大)
- 5 DFD から ER 図を自動作成するツール ER AssistV2

○宮下郁弥、土屋雄太郎、呉 建敏、大木幹雄(日本工大)

6 組込みシステムを指向した構造化モデリング支援システムの開発

○林 亮介, 早川栄一, 青山誠一(拓大)

- 7 稼働中のシステムのデータ構造を変更できるデータ設計とクラス構造に ついて
 - ○佐藤佑紀,大森雄太,鈴木拓哉,前島 司,内田智史(神奈川大)
- 8 Web アプリケーションにおける統合的な開発環境について
- ○鈴木拓哉、大森雄太、佐藤佑紀、前島 司、内田智史(神奈川大) 学生主体のソフトウェア開発における品質向上及び作業の効率化について
- ○大森雄太, 佐藤佑紀, 鈴木拓哉, 前島 司, 内田智史(神奈川大)

学生セッション [2M 会場] (3 月 10 日 (火) 14:30 ~ 17:00)

進化的計算とデータマイニング 座長 山田 武士 (NTT)

- 1 因果性発見を用いた時系列データからの情報の構造化・モデル化手法 ○渋谷 崇、原田達也、國吉康夫(東大)
- 2 欠損を含む時系列データの非線形時系列予測

○瀬木 宏, 三井貴視, 鈴木智也 (同志社大)

- 3 ブートストラップ法を用いた少数データに対する局所線形近似予測法 ○上野佑輔、鈴木智也(同志社大)
- 4 Dulmage-Mendelsohn 分解を用いたマトリクスクラスタリングアルゴリズム

 ○小股正博、小林 学、坂下善彦(湘南工科大)
- 5 記憶ベース推論における k 最近傍探索効率化手法の提案

○小林俊介, 木村昌臣 (芝浦工大)

6 進化的計算手法を用いた多変量予測モデルの動的最適化

○佐藤春樹, 鈴木智也 (同志社大)

マルチプルアラインメントに対する遺伝的アルゴリズムの検討

○筧田祐一郎, 河本敬子, 水野陽介,

一野天利, 谷澤一雄, 堀部和雄 (近畿大)

- 8 分散遺伝的アルゴリズムにおける移住低減手法の検討
 - ○濱野賢治, 内田 健, 吉野純一 (サレジオ高専)
- 9 GP を用いたディジタル回路の合成における遺伝子表現の検討 ○石田康太郎、新井浩志(千葉工大)

学生セッション [3M 会場] (3月11日 (水) 9:30~12:00)

数理モデルと問題解決 座長 鈴木 智也 (同志社大)

- 「協力度」を考慮した戦略によるネットワーク上での協力の進化 ○岩田 学, 秋山英三 (筑波大)
- 2 ハトタカゲームにおける空間効果は協調戦略を促進させるか?
- ○倉知宏憲,守田 智,吉村 仁,泰中啓一(静岡大) 素数ゼミの進化シミュレーション:素数サイクルの優位性の検証

○渥美良太(静岡大),田中裕美(兵庫県大), 吉村 仁,泰中啓一(静岡大)

- 4 伝染病の格子モデルにおける蔓延シミュレーション
 - ○岩本侑也,秦中啓一,吉村 仁,杉浦康二 (静岡大), 中桐斎之 (兵庫県大),向坂幸雄 (茨城県立医療大)
- 5 重調和方程式の有限要素解の収束について

○今野佑哉, 久保田光一(中大)

- 6 訪問者に応じたチャイム音生成支援システムの構築
 - ○岡田典子, 三木光範, 廣安知之 (同志社大)
- 7 Ambient Calculus を用いた物流検査システムの実装

○辻村俊伸, 加藤 暢, 樋口昌宏(近畿大)

3 車両検査スケジュール改善のためのアルゴリズムとその評価

○浜口和也(早大), 又多啓之, 白石規哲, 花岡俊樹(JR貨物), 菱山玲子(早大)

- 9 観光動向におけるシグナリング効果
 - ○寺西俊樹、川村秀憲、鈴木恵二、大内 東(北大)

学生セッション [4M 会場] (3 月 11 日 (水) 15:30 ~ 17:30)

ソフトウェア分析 座長 丸山 勝久(立命館大)

- l ソフトウェアパタンの分析に基づくパターン記述言語の提案
 - ○奥村和恵, 金澤典子, 塚本享治 (東京工科大)
- 2 視覚化を用いた要求獲得方法の提案
 - ○鈴木香予, 村瀬珠美, 中道 上, 青山幹雄 (南山大)
- ユースケース記述推敲における用語の洗練方法

○福島寛人, 松浦佐江子 (芝浦工大)

- 4 Homotopy Extension Property を用いた講義管理システムのπ算法における モデリング ○荒木孝太、近藤大介、大森健児(法大)
- 5 HLP を用いた講義管理システムのπ算法におけるモデリング

○近藤大介, 荒木孝太, 大森健児 (法大)

- 軽量サービス指向アーキテクチャ設計方法の提案と評価
 - ○池崎 崇,中道 上,青山幹雄(南山大)
- 自動車組込みソフトウェアへのサービス指向アーキテクチャの提案 ○田邊隼希, 生駒光平, 近藤貴大, 中道 上, 青山幹雄(南山大)
- 3 アクティビティ図を用いたユースケースの例外抽出手法におけるシステム品質改善の検証実験
 - ○天川美那, 小形真平, 松浦佐江子 (芝浦工大)

学生セッション [5M 会場] (3月 12日 (木) 9:30~12:00)

アルゴリズム 座長 堀山 貴史(埼玉大)

- マルコフモンテカルロに基づく分布推定法を用いた最適化アルゴリズム ○近山祐美, 宗久知男, 宗久保子 (山梨大)
- 2 一様でない遷移確率を用いた焼き鈍し法

○鈴木悠也, 宗久知男, 宗久保子 (山梨大)

3 SAPによるプログラムの自動編成

- ロボットアームを用いた荷物運搬問題への適用 -

○田辺竜也, 三木光範, 廣安知之(同志社大)

- 4 パンケーキグラフにおける節点対間の互いに素な耐クラスタ故障経路選択 アルゴリズム ○渡部達朗,金子敬一(農工大),彭 旭東(法大)
- 5 焦げたパンケーキグラフにおける耐故障経路選択アルゴリズム

○岩崎達矢, 金子敬一 (農工大)

6 WorldTSP における MapReduce の適用

○山下尊也,廣安知之,三木光範,横内久猛(同志社大)

- 7 鉄道を利用した旅行における集合場所を最適化するためのアルゴリズム ○永井敏裕,清水智公,萩野達也,服部隆志(慶大)
- 8 点パターン検索のためのアルゴリズムの提案

○松田考史,中村成道,山口一章,增田澄男(神戸大)

9 ZKIP を実現するために組合せ問題を基本機能に分解する枠組み

○岩崎 豪, 上嶋章宏(大阪電通大)

学生セッション [6M 会場] (3月12日(木) 14:30~16:30)

ソフトウェア開発 座長 吉田 敦(和歌山大)

- 1 オープンソースを用いた C 言語記述スタイルの統計分析の試み ○宮島明寛、松本章代、Martin J. Duerst(青学大)
- セマンティック Web 技術を用いた Java ソフトウェアの構造検索
- ○長谷川明史,塚本享治(東京工科大)

3 変数の使われ方に着目したプログラム疲労に関する一考察

○吉田勇輝, 坂本裕司, 金子正人,

武内 惇 (日大), 薗田孝造(マイクロテクノ)

- 4 HAYST 法を用いたソフトウェアテストの網羅率改善ツールの試作と その効果 ○白 香蘭, 大木幹雄(日本工大)
- 5 サービス指向に基づくソフトウェア開発モデルの提案

○大原晋吾,中道 上,青山幹雄(南山大)

- 6 コードクローンの特徴に基づくリファクタリング手法
 - ○大熊祥平, 松浦佐江子 (芝浦工大)
- 7 ソースコード抽象化による設計変更情報再現支援システムの試作
 - ○廣岡修治,太田 剛(静岡大)
- 8 コードクローン間依存関係に基づいた C プログラムのリファクタリング 支援 ○荻野真也、太田 剛 (静岡大)

デモセッション [デモ会場]

デー01 (3月12日 (木))

ソフトウェアのグリーン IT について 〇山本理浩, 五味佳代 (ソラン)

(データベースとメディア)

一般セッション [6B 会場] (3月 12日(木) 14:30~16:30)

マイニング 座長 高須 淳宏(国立情報学研)

- 1 小規模な分散 Web ロボットの最適化に関する一考察
 - ○幸谷智紀(静岡理工科大)

- 2 (講演取消)
- 3 ニュース記事の話題分岐を時系列で追跡可能な可視化法

○森 幹彦 (京大)

- 4 商品カテゴリ階層に着目した商品の評価基準抽出手法
 - ○山崎義隆,鈴木 優,川越恭二(立命館大)
- 5 Web アクセスログを用いた革新性推定手法の推定精度向上に関する一考察 ○岸本康成、中村美穂、市川裕介、佐藤宏之、小林 透 (NTT)
- 6 重要な観点で内容検索可能なポータルサイトの構築
 - ○金久保正明, 山岡寛幸, 河原崎真之介 (静岡理工科大)

一般セッション [1C 会場] (3 月 10 日 (火) 9:30 \sim 12:00)

コンテンツ作成支援 座長 大村 廉 (慶大)

- 1 Webページ分割情報を利用したモバイルコンテンツの自動生成について ○浅見昌平、平田紀史、大囿忠親、新谷虎松(名工大)
- 2 OpenLaszlo による XHTML からの柔軟な Flash 生成システム

○後藤旭人(明大),早川智一(ティージー情報ネットワーク),

疋田輝雄 (明大)

3 法教育のための法の可視化とユーザインターフェース

○清水勇喜(名城大)

4 容易性と自由性を両立したウェブページ作成システムの実現

○朱 槿, 浦野義頼 (早大)

5 美しいフォント高速配信システムの試作と負荷評価

○安藤哲志、伊藤孝行、藤田桂英(名工大)

6 階層的質問による日記作成支援システム

○金久保正明, 渡邊真也(静岡理工科大)

7 内面を形成する対話型キャラクター作成支援システム

○金久保正明, 市川大介(静岡理工科大)

一般セッション[2C 会場](3 月 10 日(火)14:30 ~ 17:00)

コンテンツ推薦 座長 出羽 達也 (東芝)

- 1 位置情報付きコンテンツの改変による場所への操作手法の提案と著作権 意識の啓蒙への利用
 - ○平林真実(岐阜県国際情報科学芸術アカデミー)
- 2 ユーザの未来の行動の「検知」と、それに対する「情報通知」の実現 ○大野岳夫、小倉章嗣、村上隆浩、森 拓也、

佐治信之 (NEC), 石塚清司, 小林 功 (NTT ドコモ)

- 3 利用者状況に適した方式で情報を推薦する「マルチモード推薦システム」の 実現 ○菅野亨太、村上千央、松川淑子、山田洋志、西村健士、 河又恒久(NEC)、石塚清司、小林 功(NTTドコモ)
- 4 マルチモード推薦方式における推薦効果評価方式の提案

○白木 孝, 菅野亨太, 西村建士, 河又恒久 (NEC)

- 5 アイテム組合わせポリシーを考慮した協調フィルタリングによる服装 コーディネート支援 ○原田史子, 岡本友紀子, 島川博光(立命館大)
- 6 blog データのクラスタリングと分析

○力 規晃 (徳山高専), 越村三幸, 藤田 博, 長谷川隆三 (九大)

7 Web 文書への主観的評価を融合しての検索結果の順位決定方式

○高山 毅 (岩手県大)

一般セッション [3C 会場] (3 月 11 日 (水) 9:30 ~ 12:00)

情報検索 座長 江口 浩二 (神戸大)

- 1 フォルスドロップを 0 にするシグネチャファイルの構成に関する一考察 ○二神常爾(聖学院大)
- 2 転置インデックスに位置情報を付与する新手法

○安田知弘, 岩山 真(日立)

3 ログ検索向け正規表現検索条件の自動生成方式

○松本良央、加藤 守、中村隆顕、郡 光則(三菱)

4 スライドの流用性に着目した企業内スライド検索手法の提案

○有熊 威, 白石展久 (NEC)

- 5 非構造データと構造化データを統合した分析手法の提案
 - ○高山茂伸,平田飛仙 (三菱)
- 6 情報爆発時代の情報検索結果俯瞰サービスの提案
 - ○嶋津恵子,森田想平,森 薫,奥村祐介(慶大)
- 7 (講演取消)

一般セッション [4C 会場] (3月11日(水) 15:30~17:30)

情報システム 座長 天笠 俊之 (筑波大)

- 1 ストリームデータ処理のためのプロセススケジューリングに関する一考察 ○河合栄治(奈良先端大)
- 2 履歴追跡技術を活用した製造業品質管理方式の提案

○藤野友也,郡 光則,菅野幹人(三菱)

3 会議に基づいて生成・利用される情報に関する調査と分析

〇内藤圭三,本橋洋介,坂上秀和 (NEC)

- 4 AWS (自律型 Web サービス) とそのミドルウェア
 - ○大谷 真,伊東正起,塚本修也,高木良輔,木村泰輔(湘南工科大)
 - 確率的 ARG マッチングを用いたスケッチ画像を問い合わせとする 動画像検索システム ○中村直人,高野 茂,岡田義広(九大)
- 6 島根大学における大学評価支援のためのデータベースシステムの構築 ○高清水直美(島根大)

学生セッション [1N 会場] (3月 10日(火) 9:30~12:00)

Web サービス提供 座長 志築文太郎(筑波大)

- 1 AWS (自律型 Web サービス) ミドルウェアの研究 アプローチと構成 -○伊東正起, 塚本修也, 高木良輔, 木村泰輔 (湘南工科大)
- 2 AWS ミドルウェアの研究 動的モデル協調層 -
 - ○塚本修也, 高木良輔, 木村泰輔, 大谷 真 (湘南工科大)

3 AWS ミドルウェアの研究 - アプリケーションフレームワーク層 -

○高木良輔、塚本修也、木村泰輔、大谷 真(湘南工科大)

AWS ミドルウェアの研究 - 自律型メッセージング層 -

○木村泰輔, 高木良輔, 伊東正起, 大谷 真 (湘南工科大)

- Web 行動履歴に基づく Web アプリケーション動作検証システムの試作 ○柿元宏晃, 中村正人, 大囿忠親, 新谷虎松 (名工大)
- 入出力データ構造の対応による Web サービスの自動合成

○王 秋時,紫合 治(電機大)

- Web 上のデータ再利用性を高めるための統一的アクセス手法の提案
 - ○前山晋哉, 小板隆浩, 佐藤健哉 (同志社大)
- Web 推薦のための P2P ネットワークの構築と評価

○安齋 嶺 (電通大), 丸山一貴 (東大), 寺田 実 (電通大)

学生セッション [2N 会場] (3月 10日 (火) 14:30 ~ 17:00)

座長 高橋 慈子 (ハーティネス) Web 応用

- マッシュアップシステム開発の一事例 「My room」システム -○センサワート スワット, 越田高志 (松江高専)
- マッシュアップ・プロファイルを考慮した Web API リポジトリの試作
- ○後藤友和, 大囿忠親, 新谷虎松(名工大)
- マッシュアップ型リッチクライアントサービス開発モデルの提案 ○横井公紀,中村浩二,中道 上,青山幹雄(南山大)
- 日付を優先検索条件とした海外ツアーの検索・比較サービス " 旅ときらいん " ~マッシュアップアプローチによるサービスの実現~

○長谷川正幸, 鮎澤香澄 (東京工科大), 岡崎博樹 (手仕事工房), 上林憲行 (東京工科大)

- Google Map と @nifty TimeLine を用いたイベント情報ポータルサービス "Joy べんと " の試作 ○大村美紗, 松本勇人 (東京工科大), 岡崎博樹 (手仕事工房), 上林憲行 (東京工科大)
- マッシュアップによる意思決定支援のための地理情報検索システムの ○鈴木勇祐, 塚本哲也, 西山裕之 (東理大) 設計と実装
- マッシュアップを利用した企業向けアクセスページの自動生成ツール ○種本有希, 松原裕人, 小林鉄也, 大谷 真 (湘南工科大)
- WEB 情報を用いたスケジュール管理支援システムの実装

○松浦 寛, 西山裕之, 塚本哲也 (東理大)

学生セッション [3N 会場] (3月11日(水) 9:30~12:00)

メタデータ活用 座長 森 正弥(楽天)

- ブラウザに依存しないプレーンテキスト上の Web アノテーション機能の ○石井裕介, 松本章代, Martin Duerst (青学大)
- Webページへの付箋アノテーションを用いたニュース記事閲覧支援システム ○加藤健太, 佐野博之, 大囿忠親, 新谷虎松 (名工大)
- オフライン Web 技術に基づく付箋アノテーションシステムの試作
- ○高崎 隼, 佐野博之, 大囿忠親, 新谷虎松 (名工大) 思い出に付随するメタデータを用いた思い出の品分類支援

○石橋 将,仲谷善雄(立命館大)

- メタデータを用いた多言語資源相互利用の実現
 - ○鵜飼真充,八槇博史,竹内育大(名大)
- オントロジー更新時における検索障害の分析と回避手法

○柳田憲士郎, 塚本享治(東京工科大)

- 潜在的意味索引付けとルールを統合した顔注釈システムについて
 - ○川井優司, 伊藤秀昭, 輿水大和(中京大)
- 目的指向商品推薦システムのための商品属性値の自動決定手法

○安藤哲志, 伊藤孝行, 高橋侑也, 見並史彬 (名工大), 小林幹門 (北陸先端大)

ユーザの嗜好を考慮する空間的スカイライン問合せ

○兒玉一樹, 飯島裕一, 石川佳治(名大)

学生セッション [4N 会場] (3月11日(水) 15:30~17:30)

マルチメディアとメタデータ 座長 奥村 学 (東工大)

- ウェブ上の BML コンテンツ制作支援環境の開発
 - ○孟 凡凡,森本豪一,高野 茂,岡田義広(九大)
- 2 (講演取消)
- 動画共有サイトにおけるコメントを用いた動画分類の細分化手法 3

○澤田敬治, 手塚太郎, 木村文則, 前田 亮(立命館大)

スポーツフォーメーション解説用アニメーション作成手法の検討 ○松永圭司,平川 豊 (芝浦工大) 5 映像シーンの引用に基づく映像アノテーションとその応用 ○増田智樹, 石戸谷顕太郎, 大平茂輝, 長尾 確(名大)

インク検索を可能にする手書きアノテーションシステム

- ○秋田宣嗣、織田英人、寺田達也、朱 碧蘭、中川正樹(農工大)
- 分割スケジューリング方式を用いた放送型配信に関する一検討 ○安里 諒,青木輝勝,沼澤潤二 (東北大)

楽曲演奏学習のための時間的揺らぎの特徴抽出

○水野美沙,鈴木 優,川越恭二(立命館大)

学生セッション [5N 会場] (3月 12日 (木) 9:30~ 12:00)

座長 井上 潮 (電機大)

- 他人のコンテンツ評価を用いたユーザの嗜好推測に基づくコンテンツ推薦 ○鈴木健太, 濱川 礼(中京大)
- 適合フィードバックを利用した映画推薦システムの研究

○岡本慎平, 東 基衞 (早大)

3 (講演取消)

7

ユーザ間の人間関係を考慮した店舗提案サービスの実装 4

○森 勇海, 高橋 修, 新美礼彦 (はこだて未来大),

渥美幸雄(専修大), 荒井健次, 鈴木祥太, 村越一輝(はこだて未来大)

商品推薦システムの評価方法についての提案

○矢部卓也, 吉見哲哉, 江川久美, 宮澤勇人, スティーラ パンティラヌラク, 辻 秀一 (東海大)

- 利用者の商品選択プロセスに着目した推薦商品提示手法
 - ○多田克哉, 鈴木 優, 川越恭二 (立命館大)
- 献立選択履歴に基づく利用者の潜在的な特徴を考慮した献立推薦手法 ○辻 健太,鈴木 優,川越恭二(立命館大)
- 観光地推薦における R 木を用いた目的別推薦の効率化

○平山 篤, 鈴木 優, 川越恭二 (立命館大)

学生セッション [6N 会場] (3月 12日 (木) 14:30~16:30)

ビジネス応用 座長 奥 雅博 (NTT)

- Web からの新店舗情報の自動収集に関する研究
 - ○西江将男,樫山武浩,田中成典,木下智弘,增满 光 (関西大)
- 2 (講演取消)
- 電子商取引におけるネットワーク評価法を用いたユーザの信頼性指標の作成 ○小林真雄、伊藤孝行(名工大)
- レコメンデーションに誘導されやすい顧客の抽出方式の拡張と評価 ○太田光雄, 高山 毅, 村田嘉利, 佐藤永欣, 松本謙治(岩手県大)
- 分散したコンピュータによる URI とコンテンツ発信証明手法の検討 ○永井俊行, 坪川 宏 (東京工科大)
- ネット上のコミュニティ発見と特徴把握法 〇田口貴裕(東京工科大)
- 多段決定木構築による属性選択法を用いたクレジットカードの不正利用 検出システムの提案

○峰岸達也,新美礼彦,小西 修(はこだて未来大), 伊勢昌幸 (インテリジェントウェイブ)

- 閲覧者の嗜好を考慮した Web 文章への広告挿入手法の提案
 - ○鈴木督史, 鈴木 優, 川越恭二 (立命館大)

学生セッション [1P 会場] (3月10日(火) 9:30~12:00)

XMI と応用 座長 高山 毅 (岩手県大)

- 1 UML におけるシーケンス図の検索
 - ○人見和樹, 中村貴仁, 三浦孝夫 (法大)
- 大規模 JSON ファイルのデータ構造を保存した分割法

○濱野聖人, 鈴木徹也 (芝浦工大)

- 限定された XPath 構文に関する充足可能性問題について
 - ○福島雄司,鈴木伸崇(筑波大)
- WebAPI から得られる XML 文書に関するデータ統合手法の検討 ○秋永 智,木村昌臣(芝浦工大)
- 5 RSS の選択的配信による LAN 内情報通知円滑化システムの構築 ○岸野一二三 (東工大)
- 6 ストリーム指向 XML データに対する効率的フィルタリング

○高橋 翼,藤田 悟 (法大)

- 7 XMLを用いた歴史文書のタグ付け支援ツール
 - ○安孫子一敏,中平勝子,三上喜貴(長岡技科大)
- 8 料理レシピの構文解析によるメタ情報の抽出と付加

○雨野未奈, 塚本享治 (東京工科大)

学生セッション [2P 会場] (3月 10日 (火) 14:30~17:00)

Web マイニング 座長 鈴木 伸崇(筑波大)

- 1 (講演取消)
- 2 Webページからの人物に関する位置情報の抽出

○高守雄也, 上田 洋, 村上晴美 (大阪市大)

3 テキストアートの言語に依存しない抽出法

○林 和幸, 小熊 光, 鈴木徹也 (芝浦工大)

4 主観評価に基づくタグ重み付けによる blog 話題遷移点の抽出

○谷内幸憲, 徳永幸生, 杉山 精 (芝浦工大),

杉崎正之,望月崇由(NTT レゾナント)

- 5 ニュース記事の主題に着目したニュース収集・理解支援に関する研究 ○上村紘輝、東 基備(早大)
- 6 犯罪予告の早期自動発見手法に関する研究

○山本雄平,中村健二,田中成典,寺口敏夫,大谷和史(関西大)

7 日本語ブログ空間におけるスパムブログ発見手法の提案

○寒河江明博, 勝野裕文 (電機大)

8 ソーシャルブックマークにおけるスパムの検出

〇宗片健太朗(電機大),福原知宏(東大),山田剛一, 絹川博之(電機大),中川裕志(東大)

9 携帯電話のセッション推定に基づくアクセスログの補完について

○中村正人, 柿元宏晃, 近藤圭佑, 大囿忠親, 新谷虎松(名工大)

学生セッション [3P 会場] (3月11日 (水) 9:30~12:00)

情報管理とシステム 座長 河合 秀紀 (NEC)

- 1 Erlang を用いた P2P レコード交換システムのためのシミュレータの構築 ○堀田孝司, 飯田卓也, 李 峰栄, 石川佳治(名大)
- 2 書籍情報から得た個人情報のソーシャルネットワークへの活用
- ○塚本哲也,大和田勇人,西山裕之(東理大)
- 3 構内 3 次元経路案内システム ○丹羽広次, 久保田光一 (中大)
- 4 カントリー・ドメイン・ガバナンス分析用統合データ管理システム
- ○新井裕樹,三上喜貴,中平勝子(長岡技科大)
- 5 バージョン管理システムを利用したグループ内ファイル共有システム ○福山 悠(名工大),福田洋治(愛知教育大),

毛利公美(岐阜大), 白石善明(名工大)

6 業種非依存なスキル評価システムの研究

○櫻井一欽, 片瀬由貴, 大谷 真 (湘南工科大)

- 7 Ruby on Rails による ETSS スキル評価システムの開発
 - ○片瀬由貴,櫻井一欽,浅井琢也,大谷 真(湘南工科大)
- 8 ネットワーク資産の把握・一元管理に適した DB の設計
 - ○不破秀高,井下善博(岐阜大),福田洋治(愛知教育大), 白石善明(名工大),毛利公美(岐阜大)
- 9 ネットワーク資産情報を的確に把握するための効果的な提示手法
 - ○井下善博,不破秀高(岐阜大),福田洋治(愛知教育大), 白石善明(名工大),毛利公美(岐阜大)

学生セッション [4P 会場] (3 月 11 日 (水) 15:30 ~ 17:30)

情報可視化 座長 遠山 元道 (慶大)

- 1 SVG 画像のグループ編集アプリケーションの開発
 - ○大橋恒平,Martin Dürst,松本章代(青学大)
- 2 デジタルアーカイブにおける時空間情報の提示手法
 - ○関戸亮介 (慶大),遠山緑生 (嘉悦大),服部隆志,萩野達也 (慶大)
- 3 マルチブラウザのための Web コンテンツの自動変換環境とその応用
 い藤土は、注目目で、土田中畑、新公島が、(タエー)
 - ○近藤圭佑,浅見昌平,大囿忠親,新谷虎松(名工大)
- 4 セマンティックウェブ上の情報可視化フレームワーク

○朴 斌, 伊藤正彦, 田中 譲(北大)

5 電子掲示板のスレッド内の話題に注目した参照関係を可視化する研究

データマイニング結果の可視化、比較・分析支援ツールの開発

○今城彰子,中村健二,田中成典,高橋亨輔,田中裕一(関西大)

○三井田浩,和田雄次(電機大)

7 着目キーワードからの連想検索手法の検討

○溝渕正剛, 坪川 宏 (東京工科大)

8 文章解析を活用したメールにおける情報支援

○山口重也, 諏訪敬祐 (武蔵工大)

学生セッション [5P 会場] (3月12日(木)9:30~12:00)

情報検索(1) 座長 岩山 真(日立)

- URL の類似度に基づく Web ページの信頼度算出手法
 - ○森 祐樹,鈴木 優,川越恭二(立命館大)
- Web 文書における効率的な情報発信源特定手法
 - ○見市高一,鈴木 優,川越恭二(立命館大)
- Web 検索ログに基づく複数の関連度を利用した情報ニーズ検索支援方法の 提案 ○柳 阿礼,徳永幸生,杉山 精(芝浦工大),

杉崎正之,望月崇由(NTT レゾナント)

- 4 Web 閲覧履歴の共有による検索効率改善のためのグループ形成手法の提案 ○山口雄大、新美礼彦、小西 修(はこだて未来大)
- 5 時系列情報を用いた研究リソース共有・推薦システム

○真木 努,越智洋司,井口信和(近畿大)

- 6 検索キーワードに応じて適切な検索 API を選択するメタ検索システムの開発 ○小西隆太、上原子正利、小柳 滋(立命館大)
- 7 局所的 IDF を用いた検索結果の再ランキング手法

○平川雄三,鈴木 優,川越恭二(立命館大)

8 適合性フィードバックにおけるユーザ負担の軽減

○石本将洋 (芝浦工大)

学生セッション [6P 会場] (3 月 12 日(木)14:30 ~ 16:30)

情報検索(2) 座長 佐藤 貴子 (横浜国大)

- URL を用いた検索結果の分類手法
 - ○山下真理子,鈴木 優,川越恭二(立命館大)
- (講演取消)

2

3 ネットワーク解析を可能とするトピックマップデータベースの構築

○栗原優樹,木村昌臣,山崎恭史,細谷岳志(芝浦工大)

- 4 モバイル検索ログを用いた年代別固有名詞データベースによる年代推定 ○佐野勝浩,徳永幸生,杉山 精 (芝浦工大), 尾下順治,星川剛彦 (エフルート)
- 5 シラバス閲覧からの学生の興味関心の獲得と時間割スケジューリング ○高橋和麻、今井慈郎、堀 幸雄(香川大)
- 6 協調フィルタリングを用いた論文における共著関係の予測

○曽原寿允,堀 幸雄,今井慈郎(香川大)

- Web ページを対象とした不正引用の検出に関する研究
 - ○原川秀哲,樫山武浩,田中成典,木下智弘,増満 光(関西大)
- 8 ドメインを考慮した論文の理解支援に関する研究
 - ○栗田泰伸,中村健二,田中成典,大谷和史(関西大)

学生セッション [1Q 会場] (3月 10日 (火) 9:30~ 12:00)

ユーザ支援 座長 鈴木 優 (東芝)

- 1 書類入力支援システムの設計と実装
 - ○安田 愛,藤澤公也(東京工科大)
- 2 IC カードを利用した Web フォームへの登録内容入力支援ソフトの開発 ○近藤克彦,宮崎 剛,山本富士男(神奈川工科大)
- 3 Java アプレットを用いたブログシステム上での数式作成支援ツールの開発 ○小笠原正彦,宮崎佳典(静岡大)
- 4 xfy における数式処理フロントエンドの開発とその応用
 - ○片岡正彰, 甲斐 博 (愛媛大), 田村恭士 (ジャストシステム)
- 5 xfy における幾何図形編集コンポーネント
 - ○高村基文、甲斐 博 (愛媛大)、田村恭士 (ジャストシステム)
- 6 xfy における数学教育用コンテンツ統合編集環境の開発
 - ○嶋津央礼,甲斐 博(愛媛大),田村恭士(ジャストシステム)
- 7 個人情報空間フレームワークを用いた電子メールの引用のハイパー テキスト化と暗号化メールの部分情報公開

○小早川隆嗣, 後藤文太朗(北見工大)

8 スマートフォンのためのカードモデルを利用したコンテンツ開発環境の実現 ○工藤聖広、佐野博之、大囿忠親、新谷虎松(名工大)

デモセッション [デモ会場]

デー07 (3月10日 (火),3月11日 (水),3月12日 (木))

歴史研究支援ソフトウェア KuKuRI の開発

○堀井 洋(北陸先端大),山本晃平(COM-ONE), 沢田史子(金沢星稜大),林 正治(北陸先端大), 米田 稔(COM-ONE),吉田武稔(北陸先端大)

デー08 (3月12日 (木))

デジタル地図におけるユーザ意図を用いた動的ランドマーク抽出に基づく コンテンツ連動システム

 \bigcirc 小林加織里,小寺里佳,北山大輔,角谷和俊(兵庫県大) デー 09(3 月 12 日(木))

地域依存コンテンツのための地理的特徴語に基づく動的検索方式

○藤坂達也, 北山大輔, 李 龍, 角谷和俊 (兵庫県大)

第2分冊

(人工知能と認知科学)

一般セッション [5C 会場] (3月12日(木) 9:30~12:00)

画像処理基礎 座長 井手 一郎(名大/国立情報学研)

1 相互相関係数を用いたオプティカルフローによる内視鏡画像の奥行き 情報抽出

○古木友子,安藤竜太,三谷 純,福井幸男,西原清一(筑波大)

- 2 形状のボクセル表現による物体形状の分類 〇松井 徹(和歌山大)
- 3 微小形状特徴を用いた物体の堆積画像からの堆積量の推定手法

○田村 仁(日本工大)

4 残差周波数変換とその画像圧縮への応用

○芦澤恵太, 山谷 克, 小川順司 (名城大)

5 織物表面微小画像によるタイル合成画像と実織物との色の見えの比較 ○尾崎敬二(国際基督教大)

一般セッション [6C 会場] (3 月 12 日 (木) 14:30 \sim 16:30)

画像処理応用

座長 鈴木 健嗣(筑波大)

1 低価格カメラを使った探し物支援システム

○ THI HOANG LIEN NGUYEN,佐藤 喬,多田好克(電通大)

2 江戸版本のつづき文字部分に対する識別の試み

○舟久保登(豊橋創造大)

- 3 競技タイムテロップを用いたスポーツ競技番組自動チャプタリング システム ○高山俊輔, 山本晃司(東芝)
- 4 平均顔表情画像に基づく口開閉男女認識の研究

○周東 晃, 土屋祐太, 田方一樹, 伊藤正博, 石井壮一郎, 西村優一, 嶋 好博(明星大)

5 非定常行動検出における特徴量の検討

○田中秀典 (NTT), 内藤正志 (名大), 数藤恭子 (NTT アイティ), 新井啓之, 小池秀樹 (NTT)

一般セッション [1D 会場] (3月10日(火) 9:30~12:00)

ゲーム・ロボカップ

k) 9:30 ~ 12:00) 座長 中島 智晴(大阪府大)

- 1 制約付き Delaunay 三角形分割を利用したエージェント配置モデル
 - ○秋山英久,野田五十樹(産総研) 気の利くサッカーエージェント実現に向けた味方モデルの構築の試み

○河原林友美, 山田達也(福井高専), 久保長徳(福井大)

3 ロボカップサッカーエージェントにおける行動ルール表現の設計と実装 ○久保長徳、滝澤 崇(福井大)、河原林友美(福井高専)、

黒岩丈介, 小高知宏, 小倉久和 (福井大)

- 4 RoboCup2D サッカーシミュレーションにおける遺伝的アルゴリズムを 用いたチーム強化 ○河本敬子,岩間裕和,清永 翔, 一野天利,谷澤一雄,堀部和雄(近畿大)
 - ACO を用いた RoboCup サッカーエージェントにおける行動獲得手法の評価
- ○笹岡久行,山田太郎 (旭川高専) 6 方策勾配法を用いたサッカーエージェントの学習:パス・レシーブ
- ○五十嵐治一,福岡仁志,佐野直人(芝浦工大),石原聖司(近畿大) 7 (講演取消)

一般セッション [2D 会場] (3 月 10 日 (火) 14:30 \sim 17:00)

音声・音楽情報処理 座長 伊藤 彰則 (東北大)

- 1 ソフトマスクと音響モデル適応を用いた3話者同時発話音声認識
 - ○高橋 徹 (京大),中臺一博 (ホンダ RIJ), 駒谷和範,尾形哲也,奥乃 博 (京大)
- 2 携帯電話試作機上で動作する旅行会話向け自動通訳システムの開発 ○長田誠也, 花沢 健, 磯谷亮輔, 奥村明俊 (NEC)
- 3 携帯電話試作機上で動作する旅行会話向け音声認識システム

○花沢 健, 荒川隆行, 岡部浩司, 辻川剛範, 長田誠也, 磯谷亮輔 (NEC)

- 4 自動 DJ ミックス再生における信号伸縮率を用いた楽曲順序決定方法 ○石先広海,帆足啓一郎,滝嶋康弘(KDDI 研)
- 5 楽曲類似検索における特徴量抽出の高速化
 - ○青木圭子, 神田龍一, 帆足啓一郎, 柳原広昌 (KDDI 研)
- 6 4段階評価方式の対話型作曲支援システムの評価の揺らぎ

○蓮井洋志 (室蘭工大)

7 マルチコアプロセッサ上でのハーモニッククラスタリングを用いた 基本周波数解析の並列処理 ○鈴木涼介,吉田明正(東邦大) 一般セッション [3D 会場] (3月11日(水) 9:30~12:00)

人工知能(1) 座長 長尾 確(名大)

- 1 変化する環境に対するステップサイズパラメータオンライン調整法
 - ○野田五十樹(産総研)

テンプレートにもとづく時系列データからの相関ルールマイニングシステム

- ○杉村 博, 高野義士, 田中靖士, 松本一教(神奈川工科大) 3 ロボットによる卓上物体操作のための RNN を用いた道具身体化モデルの
 - 構築 ○中川達裕,尾形哲也(京大),
 - 谷 淳 (理研), 高橋 徹, 奥乃 博 (京大)
- カオスの縁における 1/f ゆらぎ 〇蜷川 繁(金沢工大)
- 広義 Hebb 則で現れる現象の考察 ○一色智裕,志村知洋(とめ研究所)

一般セッション [4D 会場] (3月11日(水) 15:30~17:30)

人工知能(2) 座長 和泉 憲明(産総研)

ライフログサービスのための平常・非平常ラベルの検討

○村山卓弥(NTT),河田博昭(NTT 東日本), 手塚博久,山田智広,武藤伸洋,阿部匡伸(NTT)

2 レシピ文書を対象としたオントロジー整備作業の評価

○稲葉真純(東芝),古田和浩(東芝ホームアプライアンス),

長野伸一 (東芝)

- 3 認識能力を備えたデータ解析システム
 - ○木野千晶,鈴木喜雄,武宮 博,中島憲宏 (JAEA)
- 4 制約最適化・分散制約最適化問題における半正定値計画法の適用の検討 ○松井俊浩、松尾啓志(名工大)
- 5 電力系統における変電所電圧・無効電力制御へのマルチエージェントの 適用方式の開発
 - ○永田 武, 佐伯礼吏 (広島工大), 波多野亮介 (中部電力)

一般セッション [5H 会場] (3月12日(木) 9:30~12:00)

自然言語処理 座長 福本 淳一 (立命館大)

- Romanized Myanmar Input Method for Mobile Devices
 - MyintOo Hlaing,三上喜貴,中平勝子(長岡技科大)
- 2 自己中心性に基づく質問回答サイトにおける意思疎通のズレの表現 ○鈴木信雄(KDDI)、津田和彦(筑波大)
- 3 話題に基づくビジネスメール自動分類

○仲野 亘, 真鍋俊彦, 坪井創吾, 布目光生 (東芝)

- 4 ニュースからのトピック構造の抽出法とその対話的ニュース提供への適用 ○東原智幸、渥美雅保(創価大)
- 5 Web 上の製品評価サイトのクチコミデータの特徴解析と

ブランドマネジメントへの応用 ○石塚隆男(亜大)

- 6 プログにおける表記の揺れを修正するためのルール自動生成システムの提案 ○池田和史,柳原 正,松本一則,滝嶋康弘(KDDI研)
- 7 デジタルに話すサル:デジタル言語の獲得が人類を生み出した

○得丸公明 (エムシーシー)

学生セッション [2Q 会場] (3月10日(火) 14:30~17:00)

ロボカップ・ロボット

座長 髙橋 友一(名城大)

- 人間型ロボットによる自律的な音韻獲得と物体動作の関連付け
 - ○金 国林,鈴木健嗣(筑波大)
- 2 Sweet Robot
- ○廖 忠興 (正修科技大)
- 3 3D エージェントの簡易歩行制御の開発

○中村 哲, 山西輝也(福井工大)

- 進化型 CPG を用いたヒューマノイドエージェントの歩行動作生成 ○内種岳詞, 畠中利治 (阪大)
- 災害ロボット開発における動的シミュレーション環境の一実現方法 ○四倉 茂, 岡谷 賢, 高橋友一(名城大)
- 災害救助シミュレータにおけるエージェントのシミュレータ間の移動 プロトコルについて ○岡谷 賢,四倉 茂,高橋友一(名城大)
- RoboCup ロボットのための色検出にもとづく物体認識方式

○佐藤 孝,中村克彦(電機大)

- 8 戦略の異なったサッカーエージェントからなるチームの チームパフォーマンス分析 ○山田達也,河原林友美(福井高専)
- 9 情報教育におけるロボット教材の比較

○内山雅文, 市橋浩典, 高橋友一 (名城大)

学生セッション [3Q 会場] (3月11日(水) 9:30~12:00)

音声の分析・合成 座長 服部 浩明 (NEC 情報システムズ)

- 1 英語音声ファイルから発音が近い和文の自動生成 空耳自動生成システム ○ 榊間祐太, 堀幸一郎, 水谷雄樹, 濱川 礼 (中京大)
- 2 傘の開閉音の音を利用した鳥の羽ばたき音の合成方法

○五十嵐史郎, 徳永幸生, 杉山 精 (芝浦工大), 阿部匡伸 (NTT)

3 NAM マイクによる心音の収録とその明瞭化

○松本恭徳 (大阪高専), 川波弘道, 猿渡 洋, 鹿野清宏 (奈良先端大), 福嶋茂信 (大阪高専)

- 4 (講演取消)
- 5 携帯電話を利用した生活音識別システムの実装

○大野雄也,猿舘 朝,上野育子,伊藤憲三(岩手県大)

- 6 騒音環境による音量制御システム ○有泉和也, 堀口文男 (東洋大)
- 7 大画面ディスプレイにおける鉛直方向の腹話術効果に関する考察

○福江一智(山梨大), 佐藤純生(シャープ),

木下雄一朗,小澤賢司(山梨大)

学生セッション [4Q 会場] (3月11日 (水) 15:30~17:30)

音声対話・音声要約

座長 東中竜一郎(NTT)

- 1 対話音声を対象とした母音の音響的特徴による話者分類
 - ○小林恵太, 西崎博光, 関口芳廣(山梨大)
- 2 音声認識と言語理解を動的に選択する音声理解フレームワーク

○勝丸真樹(京大), 中野幹生(ホンダ RIJ), 駒谷和範(京大), 成松宏美(津田塾大), 船越孝太郎, 辻野広司(ホンダ RIJ), 高橋 徹, 尾形哲也, 奥乃 博(京大)

- 3 実環境音声対話システムにおけるバージイン発話のタイミングを 活用した指示対象の同定 ○松山匡子,駒谷和範,白松 俊, 武田 龍,尾形哲也,奥乃 博(京大)
- 4 音声対話システムにおける想定外発話の文法検証を用いた対話行為 推定に基づくヘルプ牛成
 - ○池田智志, 駒谷和範, 高橋 徹, 尾形哲也, 奥乃 博 (京大) 音声対話システムにおける韻律修正合成音声の利用
 - ○木澤 宏,白木克英,趙 國,山下洋一(立命館大)
- 6 会話エージェントにおけるマルチモーダルコミュニケーションのための対話管理プラットフォームの構築

○山岡雄治(農工大),中野有紀子(成蹊大)

7 音声ドキュメント検索用テストコレクションにおける音節インデックスの 効果 ○前沢慎吾、杉本樹世貴、西崎博光、関口芳廣(山梨大)

学生セッション [5Q 会場] (3 月 12 日 (木) 9:30 ~ 12:00)

ニューラルネット(1) 座長 松本 哲也(名大)

1 神経細胞置換を取り入れたニューラルネットワークモデル

○若木裕子,服部元信(山梨大)

- 2 連想記憶における学習動態の三次元可視化
- ○小田明人、高丸尚教、野畑昌宏、加賀智之、大石智彦(中部大)3 神経回路モデルを用いた音声模倣モデルによる音声バブリングと母音 獲得過程シミュレーション

○神田 尚,尾形哲也,高橋 徹,駒谷和範,奥乃 博(京大)

4 砂時計型ニューラルネットワークを用いた特徴空間の構築

○小山達矢, 大枝真一 (木更津高専)

- 5 重みベクトルの分布に基づいた KFM 連想メモリの学習の高速化 ○羽田貴央, 長名優子(東京工科大)
- 6 時系列アナログパターンのための領域表現を用いた KFM 連想メモリ ○白鳥友規, 長名優子(東京工科大)
- 7 重みベクトルの分布に基づいた想起が可能な KFM 連想メモリによる 強化学習の実現 ○小池昌弘、長名優子(東京工科大)
- 8 ニューロンの追加が可能な不応性を有する領域表現を用いた KFM 連想 メモリ ○今林朋久,長名優子 (東京工科大)
- 9 複数勝者 KFM 連想メモリを用いた強化学習の実現(2)

○池谷孝裕, 長名優子 (東京工科大)

学生セッション [6Q 会場] (3月12日(木) 14:30~16:30)

ニューラルネット (2) 座長 鈴木 麗璽 (名大)

- 2 RBF ネットワークを用いた風景画像中の人工物領域の特定

○小坂 良, 長名優子 (東京工科大)

- 3 カオス複素双方向連想メモリ ○矢野祐一, 長名優子 (東京工科大)
- 4 分散表現層入力別分割型逐次学習可能なカオス連想メモリ

○高森洋平, 長名優子 (東京工科大)

5 人工物領域を考慮した類似画像検索

○花垣大地, 長名優子 (東京工科大)

自己組織化マップを用いた動径基底関数ネットワークの構築

○山下和彦, Goutam Chakraborty, 馬淵浩司, 松原雅文 (岩手県大)

- 7 自己組織化マップを用いた衝撃貫通画像の分類と評価
 - ○大久保賢司, 小川毅彦, 金田 一(拓大)
- 複素ネットワークインバージョンによる不良設定逆問題の解法

○深見斉正,小川毅彦,金田 一(拓大)

学生セッション [1R 会場] (3 月 10 日(火)9:30 \sim 12:00)

マルチエージェント (1) 座長 服部 宏充 (京大)

- 商品普及過程における広告効果のマルチエージェントシミュレーション ○中村 覚,鈴木正昭,奥田洋司(東大)
- - タスクの分割配分に基づいたリスク分散分析

○齋藤義人, 松尾徳朗(山形大)

4 Dung 意味論における議論を用いた推薦システムの提案

○納田憲一, 若木利子(芝浦工大)

- 5 人間関係に依存される価値の分析に基づく電子経済メカニズムの提案 ○奈良部崇晃, 齋藤義人, 松尾徳朗(山形大)
- 6 マルチエージェントを用いた避難シミュレーションによるオフィス レイアウト案の評価 ○尾崎 匠, 長名優子(東京工科大)
- 7 マルチエージェントを用いたフロア全体を考慮したオフィスレイアウト案 評価システム ○高梨裕之,長名優子(東京工科大)
- 8 一方に情報の非対称性が存在する場合の2サイドマッチングプロトコルの 設計 ○畠中将徳、松原繁夫(京大)
- 9 マッチングプロトコルにおける相関価値の影響 ○小谷敏也(京大)

学生セッション [2R 会場] (3月 10日 (火) 14:30~17:00)

マルチエージェント (2)・知識ベース 座長 松原 繁夫 (京大)

- 1 失語症者向け会話支援話題データベースの構築
 - ○下出裕也, 宮本翔平, 桑原和宏(立命館大)
 - トピックマップ構造におけるスコープ自動抽出方法の提案 ○山崎恭史,木村昌臣(芝浦工大)
- 3 組み込みシステム向けエージェントフレームワーク

○中溝克明, 須田唯之, 横山孝典, 志田晃一郎, 兪 明連 (武蔵工大)

4 マルチエージェント強化学習を用いた交通信号制御システムの検証

○中村圭佑, 三上貞芳(はこだて未来大)

協調的に学習する顔認識フレームワークの提案

○田中弘起, 岩崎剛士, 高田司郎 (近畿大)

6 議論に基づく交渉システムの実装

○関口知之, 大久保崇行, 若木利子(芝浦工大)

7 エージェント間での報酬の受け渡しを考慮した強化学習(2)

○中原雅之, 長名優子 (東京工科大)

8 複数論点交渉問題におけるナッシュ交渉解発見手法の提案

○藤田桂英, 伊藤孝行(名工大)

9 情報場に依存した振る舞いをする人工無脳エージェントの提案

○富田昌平, 坂下善彦 (湘南工科大)

学生セッション [3R 会場] (3 月 11 日 (水) 9:30 \sim 12:00)

学習 座長 福田 直樹 (静岡大)

- 人間型ロボットによる変分ベイズ学習を用いた稼動範囲の獲得 ○原田 篤,鈴木健嗣(筑波大)
- 2 通信規約学習の拡張による協調精度の向上

○葛西達也, 小林隼人, 篠原 歩 (東北大)

3 経験知識にもとづく時系列データの予測システム

○高野義士, 杉村 博, 田中靖士, 大里雄一, 伊藤知司, 松本一教(神奈川工科大)

4 アイテム探索を利用した相関ルールマイニング

○田中靖士, 杉村 博, 高野義士, 大里雄一, 伊藤知司, 松本一教(神奈川工科大)

5 マインドマップを用いた発想支援に関する考察

○伊藤知司, 杉村 博, 殿生剛士, 田中靖士, 高野義士, 大里雄一, 松本一教(神奈川工科大)

帰納論理プログラミングを用いた Web ラッパー自動生成

○河野 碧, 西山裕之, 大和田勇人 (東理大)

e-puck における走行ルート自動訂正方式の検討

○酒井隆行, 寺島悠貴, 大谷 真 (湘南工科大)

野球における捕手の配球予測に関する方法

○桑原 崇,岸 義樹 (茨城大)

言語を認識する1次元セルオートマトンの漸次学習による合成

○菅家悠喜,中村克彦(電機大)

学生セッション [4R 会場] (3 月 11 日 (水) 15:30 ~ 17:30)

音楽演奏・生成 座長 平賀 譲(筑波大)

連続発音中の音色変化に着目した未学習譜面への演奏信号生成

○安良岡直希,安部武宏,糸山克寿, 高橋 徹, 尾形哲也, 奥乃 博 (京大)

音色特徴量に基づく調波・非調波統合モデルによる楽器音モーフィング ○安部武宏, 糸山克寿, 高橋 徹, 駒谷和範, 尾形哲也, 奥乃 博 (京大)

Probabilistic Classification of Monophonic Instrument Playing Techniques ○前澤 陽, 糸山克寿, 高橋 徹, 尾形哲也, 奥乃 博(京大)

事例に基づく演奏表情生成システムにおける視覚的表現を用いた旋律類似性 ○日野達也(芝浦工大),鈴木泰山(ピコラボ), 野池賢二 (無所属), 徳永幸生, 杉山 精 (芝浦工大)

ユーザとのインタラクションプロセスを前提とした楽曲のグルーピング 構造の分析手法 ○田中駿二, 橋田光代, 片寄晴弘 (関西学院大)

編曲作業の時系列分析 - オーケストラ譜からピアノ譜への変換 -

○大沼 翔, 浜中雅俊(筑波大)

7 複数の音楽の一部分を組み合わせて、ユーザーの好みに沿ったメドレーを 自動作成するシステム

○新美怜志, 佐藤 学, 鈴木健史, 濱川 礼 (中京大)

学生セッション「5R 会場」(3 月 12 日 (木) 9:30 ~ 12:00)

音楽給索・解析 座長 平田 圭二 (NTT)

新たな楽曲発見のためのランキング情報を利用した楽曲推薦システムの ○樫山裕史, 手塚太郎, 木村文則, 前田 亮(立命館大)

歌詞の印象に基づく楽曲検索のための楽曲自動分類に関する検討 ○舟澤慎太郎(早大), 石先広海, 帆足啓一郎,

滝嶋康弘 (KDDI研), 甲藤二郎 (早大)

楽曲の構成情報を考慮した歌詞による楽曲推薦システムの構築

○谷川壮洋, 手塚太郎, 木村文則, 前田 亮(立命館大)

ハミング楽曲検索のための音響信号からのデータベース生成の検討

○小杉 優, 伊藤 仁, 伊藤彰則, 牧野正三 (東北大)

A music retrieval approach from alternative genres of query by adjusting instrument volume ○王 凱平, 糸山克寿 (京大),

後藤真孝 (産総研), 駒谷和範, 尾形哲也, 奥乃 博 (京大)

ベース音高とクロマベクトルの相関に基づいた和音進行認識

○高野秀樹,須見康平,糸山克寿,駒谷和範,尾形哲也,奧乃 博(京大) 歌唱ロボットのためのビート情報と楽譜情報の統合による音楽音響信号の

実時間楽曲位置推定手法の開発 ○大塚琢馬 (京大),

村田和真 (東工大), 武田 龍 (京大), 中臺一博 (ホンダ RIJ), 高橋 徹, 尾形哲也, 奥乃 博 (京大)

時間軸上における映像と音楽のずれが一体感に関する検討

○綱本光洋,松井淑恵,風井浩志,片寄晴弘 (関西学院大)

学生セッション [6R 会場] (3 月 12 日 (木) 14:30 ~ 16:30)

自動生成・合成 座長 杉本 和英 (三洋電機)

移動物体を除去したパノラマ画像の自動生成に関する研究

○加藤雄大,谷口寿俊,田中成典,西田義人(関西大)

キャラクタデザインのための画像合成手法の研究

○伊藤和弥, 渡辺賢悟, 宮岡伸一郎 (東京工科大)

群行動とビデオ・シンセシスを組み合わせたアニメーション生成法

○岡部龍太郎, Gissela Colqui, 千種康民 (東京工科大),

服部泰造 (東京国際大)

画像認識機能を有する画像共有システム

○福嶋亜希, 小林卓夫, 清水郁子 (農工大)

5 ユーザーの注視領域を考慮した類似画像検索システムの開発

○亀山淳一, 馬場謙介, 高野 茂, 岡田義広 (九大)

6 ユーザーの検索意図を抽出する類似画像検索インターフェースの開発 ○川述文比古, 高野 茂, 岡田義広 (九大), 田邊勝義 (NTT)

学生セッション [18 会場] (3月 10日 (火) 9:30~ 12:00)

情報検索・評価分析 座長 高村 大也(東工大)

Weblog からのタレントに関する好感度情報抽出

○大根千明, 松尾 豊, 木戸冬子 (東大),

勝 芳邦 (ヤフー), 石塚 満 (東大)

2 CGM からの評価表現辞書の自動作成に関する基礎研究

○瓜谷芳樹, 中村健二, 田中成典,

高橋亨輔, 寺口敏生, 田中裕一 (関西大)

タグ付けツールによる評判情報コーパスの作成支援

○唯野良介,嶋田和孝,遠藤 勉(九工大)

宿泊施設レビューにおける評判の要約と評価基準の重要度を用いた ランキング ○小宮山博之,太原育夫(東理大)

学習項目オントロジーとの対応付けを用いた情報工学教材の検索 ○田古島太郎, 西尾太佑, 杉本 徹 (芝浦工大)

日中英ニュース記事比較のための収集と検索

○斉藤雄介,山田剛一,絹川博之(電機大),中川裕志(東大)

曖昧な情報要求に対する分類と推薦を用いた検索支援

○和田洋祐 (芝浦工大)

ユーザの検索意図を考慮したクラスタリング検索システム

○小部山知伸, 東 基衞 (早大)

学生セッション [2S 会場] (3月10日(火) 14:30~17:00)

自然言語処理一般 座長 内山 将夫 (NICT)

英語論文に頻出する表現の獲得と分類

○酒井佑太, 杉木健二, 松原茂樹 (名大)

教材資料を対象とした用語収集とその分析手法

○北村怜子,塚本享治(東京工科大)

留学生の日本語助詞修正システム

○三浦雅則, 横山晶一, 橋本 力 (山形大)

複数形式の文書に対するネットワーク分析による文書分類システムの構築 ○矢部大輔, 木村昌臣(芝浦工大)

共起関係に基づく階層型単語概念体系の動的構築法

○新井志勇人, 森田和宏, 泓田正雄, 青江順一(徳島大)

パーサ適応と格フレームによる特許文構文解析精度の向上

○吉田節行, 横山晶一, 橋本 力 (山形大)

語尾変化とカテゴリ情報を利用した受身・使役・丁寧文の述語知識への 変換法 ○上條敦史, 石川 勉(拓大)

KeyGraph を用いた時系列における聖書の比較解析による考察

○新井智也, 伊藤 誠 (中京大)

(講演取消)

学生セッション [3S 会場] (3月11日(水) 9:30~12:00)

情報抽出 座長 中川 哲治 (NICT)

児童向け新聞教材のための言い換え表現対の抽出に関する研究

○大林 睦 (関西大)

関連語に基づく文の関係を用いたコラムの自動要約

○大木環美, 木村昌臣 (芝浦工大)

Wikipedia のリンク構造を利用した商品機能シソーラスの構築

○小阪卓史, 杉本 徹 (芝浦工大)

4 (講演取消)

(講演取消)

6 Webからのメタファ抽出方式

○間中宏修, 山田剛一, 絹川博之 (電機大)

7 Web からの名称とその読み情報の自動抽出

○森 正樹, 福本淳一(立命館大)

8 映画あらすじ文からの人物関係の抽出

○服部純次, 杉本 徹 (芝浦工大)

学生セッション [4S 会場] (3月11日 (水) 15:30~17:30)

対話・質問応答 座長 北村美穂子(沖電気)

1 ニュース記事のための対話的トピック分析システムとその高速化手法に ついて ○平田紀史, 浅見昌平, 大囿忠親, 新谷虎松(名工大) 2 同時通訳者の話速変動の定量的分析

○于 海貝, 笠浩一朗, 松原茂樹 (名大)

知的ヘルプシステムの実現に向けたヘルプテキストの分析

○荒木 亮, 杉本 徹 (芝浦工大)

Ore 法太

○深沢朋弘, 三浦孝夫(法大)

(講演取消) 5

独居老人支援に向けた備忘録付き音声仮想対話システム

○生井雄一, 東原智幸, 渥美雅保 (創価大)

Wikipedia と GoogleMaps を利用した対話型観光地推薦システム

○冨樫潤平, 杉本 徹(芝浦工大)

How-to 型質問応答システムにおける回答の選択手法

○杉山大輔, 太原育夫 (東理大)

学生セッション [5S 会場] (3 月 12 日 (木) 9:30 ~ 12:00)

認知・推論・探索 座長 片上 大輔(東工大)

- RNN を備えたロボット 2 体間の首振動作と音声によるインタラクションに おける共有シンボル創発 〇日下 航、神田 尚、尾形哲也(京大)、 小嶋秀樹 (宮城大), 高橋 徹, 奥乃 博 (京大)
- 人間型ロボットによる内発的動機に基づく物体理解のための行動選択 ○鈴木智也, 鈴木健嗣 (筑波大)
- ロケーションアウェアな思い出想起支援の提案

○土本勇介, 仲谷善雄 (立命館大)

- 極小非可解構造の埋め込み操作による 3COL インスタンスの組織的生成 ○長澤圭孝, 水野一徳 (拓大), 西原清一 (筑波大)
- Binary CSP のための制約違反最小化戦略に基づくハイブリッド型 Ant System の提案

 ○奥住雅仁, 水野一徳 (拓大), 西原清一 (筑波大)
- 分散制約最適化問題における局所負荷分散手法の提案

○斎藤倫紀, 能登正人(神奈川大)

ベイジアンネットワークのモデル構築手法の検討

○鈴木康之, 木村昌臣 (芝浦工大)

不確実な問題空間における先読みに基づく実時間探索手法

○高橋侑也, 伊藤孝行(名工大)

ユーザの嗜好性を考慮した Web ショッピングエージェントの開発 ○本寺康晃, 皆月昭則(釧路公大)

学生セッション [6S 会場] (3月12日(木) 14:30~16:30)

遺伝的アルゴリズム・人工生命 座長 有田 隆也(名大)

- 遺伝的アルゴリズムを用いたオフィスレイアウト支援システム - 解探索能力の向上 -○立川量太, 長名優子(東京工科大)
- 2 複数のフロアを考慮したレイアウト案の生成が可能な対話型遺伝的 アルゴリズムを用いたオフィスレイアウト支援システム - フロア分割案の生成 -
 - ○尾崎 喬, 池田嵩暁, 長名優子 (東京工科大)
- 3 複数のフロアを考慮したレイアウト案の生成が可能な対話型遺伝的 アルゴリズムを用いたオフィスレイアウト支援システム - レイアウト案の生成 -
 - ○池田嵩暁, 尾崎 喬, 長名優子 (東京工科大)
- 拡張 GA による効率的な複雑ネットワーククラスタリング手法の提案 ○西澤慎紘,木村昌臣(芝浦工大)
- 遺伝子間作用のある動的環境下での GA による貨物輸送ルート作成 ○谷津幸夫(早大), 花岡俊樹, 白石規哲(JR 貨物), 浜口和也, 菱山玲子 (早大)
- 中性ノードを導入した遺伝的ネットワークプログラミングの拡張

○服部恭史, 高丸尚教, 星野達哉 (中部大)

先天的な脳機能局在性を考慮した認知機構のモデル化

○島 一将, 伊藤英則, 国立 勉 (名工大), 加藤昇平, 武藤敦子(名工大)

8 自動車のデザインの系統樹からみるミームの系統解析

○前田実里,鈴木麗璽,有田隆也(名大)

学生セッション [1T 会場] (3月10日(火)9:30~12:00)

座長 中井 宏章 (東芝) 画像処理の基礎技術

- フラクタルブラウン運動の拡張と画像解析
 - ○村松 翔, 八木祐治, 金子 博 (東邦大)
- 2 視覚の誘導場の高速化 ○浅尾栄志, 西尾孝治, 小堀研一 (阪工大)
- 音による空間情報の表現に関する研究

○鹿田敦史, 櫻井隆平, 李 周浩(立命館大)

画像特徴量を用いた特定物体の検出・追跡

○野口 誠, 中屋敷薫, 坂東忠秋 (関東学院大)

画像蓄積による物体認識の研究

○渡辺弘樹、須藤 智、恩田憲一(尚美学園大)

- ステレオカメラ画像における認識へのサポートベクターマシンの応用 ○大原 牧, 宗久知男 (山梨大)
 - レーザ式測域センサを用いた自動追従ショッピングカートの設計と製作 ○小野里太志, 比志秀一郎, 田村 仁(日本工大)
- 簡易モーションキャプチャにおけるマーカ追跡手法

○川澄裕一, 宮岡伸一郎 (東京工科大)

学生セッション [2T 会場] (3月 10日 (火) 14:30~17:00)

圧縮・復元 座長 西尾 孝治(阪工大)

可逆圧縮に適したアニメーション画像の減色法に関する検討

○森川 遼, 三浦康之 (湘南工科大)

複数のカラー画像による低ビット領域の高精細化

○近藤秀樹, 山口友之, 橋本周司 (早大)

- ○原 和規,長元久幸,三橋理恵, 誤差拡散カラー画像の復元 齋城嘉孝, 土屋祐太, 嶋 好博 (明星大)
- PSF が未知の場合における上下手ぶれ劣化画像の復元手法

○豊田敬央, 宮岡伸一郎 (東京工科大)

- 拡張型多重濃度共起行列フラクタル法を用いた欠損画像の補完 - 二次元ガボールウェーブレットによる参照領域設定 -
 - ○松尾健太郎, 徳永幸生, 杉山 精 (芝浦工大), 山田辰美 (NTT)
- ハール変換における変換係数予測とデジタル画像圧縮への応用 ○小川順司, 山谷 克, 芦澤恵太 (名城大)
- 7 ブロックソートの PNG 圧縮への応用に関する検討

○鈴木正人, 三浦康之, 渡辺重佳 (湘南工科大)

8 (講演取消)

学生セッション [3T 会場] (3 月 11 日 (水) 9:30 ~ 12:00)

検出・抽出 座長 新田 直子(阪大)

- 毒キノコ支援ツールのための毒キノコ判定方法の検討
 - ○阿部俊祐, 石亀昌明, 伊藤慶明, 小嶋和徳(岩手県大)
- 映像のカット点検出におけるサンプリング手法の比較検討

○土屋祐太, 齋城嘉孝, 桂川 陽, 佐藤隆太郎, 宮本康正、波多野秀一、嶋 好博 (明星大)

- 画像処理による自動車ボディのキズ抽出に関する基礎的研究
 - ○加藤 彬,河村 圭,藤田悠介,浜本義彦(山口大)
- サッカー映像におけるゴールポスト検出

○佐藤寛晃, 堀口文男 (東洋大)

- 特定人物登場シーン抽出システム
 - ○市川雅人, 中屋敷薫, 坂東忠秋 (関東学院大)
- フレームベースクラスタリングを利用したショット検出手法の一検討 ○梅田直樹,青木輝勝,沼澤潤二 (東北大)
- カメラ映像による運搬物のゲート通過の検知

○川口 翼, 田村悠貴, 田村 仁(日本工大)

- 昼と夜に対応した道路標識の抽出・認識
 - ○松尾孝裕, 前田昇吾, 三五 徹, 田村 仁(日本工大)
- (講演取消)

学生セッション [4T 会場] (3月11日(水) 15:30~17:30)

医用・その他応用 座長 勞 世紅(オムロン)

頚動脈の形状記述に基づく動脈硬化判定法の提案

○和田 惇(三重大)

- CCD スキャナで取り込んだ胸部単純 X 線像における肋骨抽出 ○高木直人,阿部孝司(近畿大),南 昌秀(東大)
- 手描き入力による脳表上静脈および腫瘍の可視化のための半自動 MRI 編集法 ○加藤潤一, 松田浩一 (岩手県大),

藤原俊朗(岩手医大), 吉田忠弘(岩手県大)

- 画像処理によるバレーボール戦略分析システム(アタックコース分析) ○渡邉 奏,中屋敷薫,坂東忠秋 (関東学院大)
- 5 (講演取消)
- 画像認識と音声対話による冷蔵庫内の食品管理システム
 - ○松本拓也, 白井良明, 島田伸敬 (立命館大)
 - Web カメラを用いたマルチポインティングインタフェースの構築

○平間浩二, 杉田拓也, 田村 仁(日本工大)

8 2つのシルエット画像を用いた指文字認識手法とカメラ配置の検討 ○木元文章、舟川政博、平山 亳(金沢工大)

学生セッション [5T 会場] (3 月 12 日 (木) 9:30 ~ 12:00)

顔認識 座長 山崎 龍次 (パナソニックシステムソリューションズ)

- Ⅰ 微小な形状特徴を用いた顔検出 ○染谷勇佑, 田村 仁 (日本工大)
- 2 口唇の動きを用いた機器操作インターフェースシステム

〇山下良博, 田村 仁(日本工大)

- 3 対話型ロボットのための口領域動画像と音情報に基づく発話推定
 - ○元吉大介,嶋田和孝,榎田修一,江島俊朗,遠藤 勉(九工大)
- 4 GFFD を用いた発話シミュレーションに関する研究

○岳 シン (農工大

- 5 皺と顔の部位の特徴量を利用した年齢推定
 - ○小野恭平, 内田 理 (東海大)
- 6 顔認証のなりすましにロバストな光源を用いた判別法
 - ○堀内要介, 内田 理 (東海大)
- 7 顔画像における部位領域の抽出
 - ○内藤俊彦, 飯塚 論, 杉浦真由美, 吉田眞澄 (筑波学院大)
- 8 顔画像における部位の検出
 - ○飯塚 論,内藤俊彦,吉田眞澄(筑波学院大)

里中孝美 (熊本県技術短大), 内村圭一, 胡 振程 (熊本大)

学生セッション [6T 会場] (3月 12日(木) 14:30~16:30)

ロボットビジョン・行動認識 座長 向川 泰博(阪大)

- 1 階層化 CHLAC 特徴を用いた異常行動の検出
 - ○松永錦弥, 鈴木雄太, 長井 歩, 太田直哉 (群馬大)
- 2 監視カメラを用いた異常行動検出による映像要約に関する研究
 - ○打尾賢一, 西田義人, 田中成典, 馬石直登 (関西大)
- 3 歩行方向の転換を考慮した歩容認識に関する研究
 - ○村本晋一, 西田義人, 田中成典, 谷河 隆, 馬石直登 (関西大)
- 4 プライバシー保護を考慮した映像マスキングに関する研究
 - ○木本直樹, 西田義人, 田中成典, 馬石直登, 坂田能一 (関西大)
- 5 動画像を用いた性別識別に関する研究
 - ○北川洋平, 西田義人, 田中成典, 馬石直登 (関西大)
- 6 複数カメラからの画像合成を用いたロボットシステム
 - ○市橋浩典, 内山雅文, 高橋友一(名城大)
- 7 全方位センサを使用した画像データベースに基づく自己位置推定法の 高速化 ○越智 繁 (三重大)
- 8 色情報と複数の 2 次元形状の組み合わせを用いた物体の学習と認識 ○渡辺悟史、早瀬光浩、嶋田 晋 (中京大)

学生セッション [3ZD 会場] (3月11日 (水) 9:30~12:00)

センシング・複雑系・その他 座長 高田 司郎 (近畿大)

- 1 仮想ユビキタスセンサにおける測定値補完のプロトタイプ
 - ○大堀達也, 菊地 誠, 齋藤義文, 我妻裕樹, 阿部洋丈, 岡部正幸, 梅村恭司(豊橋技科大)
- 2 情報量の最大化に基づく指向性センサの方向制御
 - ○我妻裕樹, 阿部洋丈, 岡部正幸, 梅村恭司 (豊橋技科大)
- 4 人間の動作に対するアノマリ型異常検知システムの実装
 - ○藤原大輔, 阿部洋丈, 岡部正幸, 梅村恭司 (豊橋技科大)
- 5 打力を用いた球形物体の回転運動による目標位置接近に関する考察 ○永井良尚,李 周浩(立命館大)
- 6 カオス分岐におけるカオス性の考察
 - ○元井和征,清水能理(八戸工大)
- 7 部分的な因果構造を利用した複雑システムの大域的因果推定
 - ○上岡祐太, 鈴木智也 (同志社大)
- 3 少数サンプル下における Bayes 誤識別率を用いた特徴選択法の評価 ○澤村美貴子、浜本義彦(山口大)

デモセッション [デモ会場]

デー02 (3月11日 (水), 3月12日 (木))

注視領域推定による画像情報の適応的抑制

○田村 修 (リカージョン)

デー04(3月11日(水))

衛星画像より自動車が認識可能な対象物認識ツール "TD-HRS"

○茂出木敏雄 (大日本印刷)

第3分冊

(ネットワーク)

一般セッション [5D 会場] (3 月 12 日 (木) 9:30 ~ 12:00)

ネットワーク運用管理

座長 石原 丈士(東芝)

1 マルチプロトコル対応メッセージゲートウェイの実装と評価

○木下雅文, 中原雅彦(日立)

2 LiNeS における仮想ネットワーク統括機能の開発

○立岩佑一郎(名工大), 安田孝美(名大), 高橋直久(名工大)

- 3 セキュアプラットフォームプロジェクトにおける資源情報キャッシュ 更新方式の検証 ○但野紅美子,町田文雄,川戸正裕(NEC)
- 4 自律型エージェント(エージェント指向)による運用監視システム

○佐藤 祐, 伊藤雅博 (日本 HP), 高橋 修 (はこだて未来大)

- 5 形式の異なる IP ルータ構成情報を相互形式変換する方式の提案と評価 ○堀 賢治, 吉原貴仁, 井戸上彰 (KDDI 研)
- 6 多様な環境に適応した自動的なネットワークイベントの識別へ向けた トラフィックとログの相関導出方式の検討

○長尾真宏, 小出和秀, 白鳥則郎 (東北大)

- 7 メールフィルタを用いた Web ページレイティング
 - ○松澤一子, 冨永和人, 東垣外翔 (東京工科大)

一般セッション [6D 会場] (3 月 12 日 (木) 14:30 \sim 16:30)

省電力ネットワーク・システム 座長 中川 智尋 (NTT ドコモ)

- 1 マルチインタフェースの連携による VoIP 待受け省電力方式
 - ○今井尚樹、磯村 学、井戸上彰 (KDDI 研)
- 2 ネットワーク機器およびサーバの動的構成変更によるデータセンタ省電力 運用管理手順の実装 ○荒井大輔,吉原貴仁,井戸上彰(KDDI研)
- 3 省電力プラットフォーム「グリーンタップ」の提案(1)

○岩田真琴,甲斐正義,島津秀雄(NEC システムテクノロジー)

- 4 省電力プラットフォーム「グリーンタップ」の提案(2)
 - ~センサデータ予測による無線環境センサの省電力通信方式~

○山村幸太郎,石田和生,岩田真琴,甲斐正義, 島津秀雄 (NEC システムテクノロジー)

- 5 省電力プラットフォーム「グリーンタップ」の提案 (3)
 - ~省電力効果指標を用いた制御フレームワーク~

○宮崎 徹, 石田和生, 岩田真琴, 甲斐正義, 島津秀雄 (NEC システムテクノロジー)

6 省電力プラットフォーム「グリーンタップ」の提案(4)

~電力波形及び周囲環境情報による家電機器特定手法~

○岩佐淳史,岩田真琴,甲斐正義,

島津秀雄(NEC システムテクノロジー)

一般セッション [1E 会場] (3 月 10 日 (火) 9:30 \sim 12:00)

マルチメディア情報配信システム 座長 甲藤 二郎 (早大)

- 1 (講演取消)
- 2 高フレームレート映像信号に対する時間方向ダウンサンプルフィルタリングの 基礎検討 ①坂東幸浩,高村誠之,上倉一人,八島由幸(NTT)
- 3 VOD サービスのための動的サービス制御方式の拡張

○磯村 学, 今井尚樹, 井戸上彰 (KDDI研)

- 4 多人数参加型コンテンツのマルチキャスト配信スケジューリングに関する 検討 ○南川敦宣、渡邉孝文、村松茂樹、横山浩之(KDDI研)
- 5 映像監視 / 入退室管理連携システムの開発

○若林正男,三尾武史,菊地顕仁,蓬田 仁,中島宏一(三菱)

- 6 低遅延 P2P 情報配信プラットフォームの一考察
 - ○高原 誠,鈴木健二 (電通大),田上敦士,阿野茂浩 (KDDI 研)
- 7 Http を利用したデータ要求タイミングの動的決定方法

○岡原弘典 (三菱)

一般セッション [2E 会場] (3月 10日(火) 14:30~17:00)

ITS 座長 梅津 高朗(阪大)

- 1 (講演取消)
- 2 ユーザの要望・動作に応じた案内ロボットシステムの設計

○笹岡健海, 西山裕之(東理大)

- 3 スレッド分割の適正化による交通情報生成処理の高速化
 - ○今井照之,藤山健一郎,喜田弘司,中村暢達 (NEC)
- 4 通信環境を考慮したネットワーク型ナビゲーションシステムの検討

○佐々木幹郎,桐村昌行(三菱)

- 5 携帯電話通信と衛星通信の切替え通信ユニットの実装と評価
 - ○田坂和之(KDDI 研)、松嶋孝明、福家直樹、 西田知弘(KDDI)、井戸上彰(KDDI 研)
- 6 位置検出のリアルタイム性及び遅延の少ない通知方式に関する検討
 - ○今野貴洋,森脇康介,古川嘉識,廣田剛久(NTT コムウェア)
- 7 モンテカルロ法による配置密度算出
 - ○森脇康介, 今野貴洋, 古川嘉識, 廣田剛久 (NTT コムウェア)

一般セッション [3E 会場] (3月11日(水) 9:30~12:00)

センサネットワーク 座長 横田 裕介 (立命館大)

UHF 帯 RF タグに適したデータフォーマット変換手法の評価

○米澤祐紀(東京工科大),陳 卓(東工大),

江原正規, 井上亮文, 星 徹 (東京工科大)

- 2 センサネットワークのためのアプリケーションフレームワークの開発 ○圓戸辰郎,田村陽介(フィックスターズ)
- 3 センサを人体に固定しないデッドレコニング手法
 - ○上坂大輔,岩本健嗣,横山浩之(KDDI研)
- 4 加速度センサを用いた人物行動判定における時間応答性改善手法
 - ○千葉雄樹, 小西勇介, 中尾敏康 (NEC)
- 5 アドホックネットワークにおける駆けつけ方式の一検討
 - ○佐藤 直,石井和行(情報セキュリティ大)

一般セッション [4E 会場] (3 月 11 日 (水) 15:30 \sim 17:30)

分散応用システム 座長 今野 将 (千葉工大)

- l ビルセキュリティ広域ネットワーク連携システムの開発
 - ○扇谷篤志, 三浦健次郎, 北上眞二 (三菱)
- 2 ユビキタスな廃食油回収システムの提案

○福山峻一 (大阪電通大), 水本 高 (ステップ), 中林興太郎 (鳥取市民), 黒田幸明 (サイバー創研),

田村 航 (コガソフトウェア), 石井克典 (鳥取環境大)

3 廃食油回収コミュニティ形成のための情報管理方式

○田村 航 (コガソフトウェア),

中林興太郎 (鳥取市若葉台地区自治会), 水本 高 (ステップ), 坂口勝章 (サイバー創研),

石井克典(鳥取環境大), 福山峻一(大阪電通大)

4 廃食油回収ロボットの配置方式 (福山峻一(大阪電通大), 吉川憲昭(サイバー創研), 水本 高(ステップ),

中林興太郎 (鳥取市民), 黒田幸明 (サイバー創研)

- 5 廃食油回収経路推奨アルゴリズムの提案
 - ○黒田幸明(サイバー創研),福山峻一(大阪電通大), 水本 高(ステップ),中林興太郎(鳥取市若葉台地区自治会)
- 6 廃食油回収用ロボットの遠隔制御通信方式の検討

○坂口勝章(サイバー創研).

田村 航 (コガソフトウェア), 福山峻一 (大阪電通大)

学生セッション [10 会場] (3月10日(火)9:30~12:00)

センサネットワークシステム 座長 岩本 健嗣(KDDI研)

- 【 観測 QoS と通信 QoS に基づく移動センサノードの自律的位置変更手法 ○平井亮太、小杉正昭、岡啓明己、桧垣博章(電機大)
- 2 センサネットワークにおける ECA ルールを用いたデバイス制御手法 ○植田裕規、横田裕介、大久保英嗣(立命館大)
- 3 センサノードの自律的な協調処理のためのイベントを用いた問合せ処理 ○富森英生、横田裕介、大久保英嗣(立命館大)
- 4 センサネットワークにおけるメタデータを用いた統一的問い合わせ手法 ○藤原秋司,植田裕規、陶山優一,横田裕介、大久保英嗣(立命館大)
- 大規模センサネットワークにおける階層型ソフトウェア更新手法の検討 ○橋詰 葵, 峰野博史, 水野忠則(静岡大)
- センサネットワークと空調機器を連携させた空調制御システムの検討 ○増井崇裕,竹中友哉,峰野博史,水野忠則(静岡大)
- 7 SunSPOT によるワイヤレスセンサネットワークを用いた温度制御方式 ○寺島悠貴,山原 亨,中村謙太,大谷 真(湘南工科大)
- 8 ユビキタス・センサネットワークによる環境情報視覚化の提案
 - ○小室匡史,柳澤 剣,綿貫理明 (専修大)
- 9 無線センサノードの身体への装着による障害者運動能力の認識

○大崎英營, 諏訪敬祐 (武蔵工大)

学生セッション [2U 会場] (3月10日(火) 14:30~17:00)

センサネットワークプロトコル 座長 石原 進(静岡大)

- 1 エージェント数制御を行う Ant 型アドホックネットワークルーチング \bigcirc 大籔良祐,川合 誠,野口 拓(立命館大)
- 2 無線センサネットワークにおけるセンシング機能割り当てと TDMA タイムスロット割り当ての同時最適化法の提案

○川野亮平, 宮崎敏明 (会津大)

- 3 送信電力制御と複数チャネル使用による経路内衝突のない無線マルチホップ 配送 ○松村真吾、桧垣博章(電機大)
- 4 WSN における通信形態の変化を考慮した適応的プロトコルに関する考察
 ○新堀智弘, 宇谷明秀, 山本尚生(武蔵工大)
- 5 無線センサネットワ クにおけるフラッディングの効率化に関する一提案 ○牛膓隆太,宇谷明秀,山本尚生(武蔵工大)
- 6 無線センサネットワ クにおけるフラッディング効率化問題への DPSO の 適用 ○長島淳也、宇谷明秀、山本尚生(武蔵工大)
- 7 複数シンク無線センサネットワークにおける効率性と負荷分散性を考慮した データ収集機構 ○織戸英佑、宇谷明秀、山本尚生(武蔵工大)
- 8 WSN のための評価値型 Ant-Based Routing アルゴリズムにおける ノード移動時の経路テーブル局所修復法
 - ○織戸英佑, 宇谷明秀, 山本尚生 (武蔵工大)
- 9 無線センサネットワークと自律移動ロボットによるオブジェクトの 状態観測 ○松本 翔, 宇谷明秀, 山本尚生(武蔵工大)

学生セッション [30 会場] (3月11日(水) 9:30~12:00)

ネットワーク制御 座長 柳生 智彦 (NEC)

- 1 データ駆動型 ALM によるデータ配信手法について
 - ○越賀雅士,太田義勝,鈴木秀智 (三重大)
- 2 代替ノード検索を用いた ALM ツリー再構築手法
 - ○谷元勇太,太田義勝,鈴木秀智 (三重大)
- 3 ネットワークコーディングを用いたアプリケーションレベルマルチ キャストにおけるノード離脱問題の検討
 - ○大竹健司, 高橋 修 (はこだて未来大)
- 4 Network Coding を用いた転送手法における複数経路使用に関する一検討 ○嘉義智紀, 高橋 修(はこだて未来大)
- 5 マルチキャストを用いたハイブリッドローミング
 - ○小山田浩起,後藤滋樹(早大),史 虹波(横浜国大)
- 6 アドホックネットワークのパケット衝突を減少させる方式の提案 ○後藤秀暢、伊藤将志、渡邊 晃(名城大)
- 7 AODVにおける位置情報を用いた制御パケット量の低減手法
- ○岩崎みどり,太田義勝,鈴木秀智(三重大) 8 無線メッシュネットワーク向けのルーティングプロトコルの提案
- 0 無縁メックエネットソーク回りのルーティングプロドコルの提案
 - 〇森崎 明,伊藤将志,渡邊 晃(名城大)
- 9 スキップ機能を取り入れた Fast-Face アドホックルーティングプロトコルの 拡張 ○鷲尾高志、桧垣博章 (電機大)

学生セッション [4U 会場] (3 月 11 日 (水) 15:30 ~ 17:30)

位置推定 座長 上坂 大輔(KDDI研)

- 1 複数のセンサデバイスを利用した学習に基づく簡易位置推定システムに ついて ○辻野友孝,中村正人,大囿忠親,新谷虎松(名工大)
- 2 RSSI を利用したローカライゼーションプロトコルの実環境での評価 ○山田純弥、竹中友哉、峰野博史、水野忠則(静岡大)
- 3 コグニティブ無線クラウドにおける無線基地局位置推定法の提案
 - ○糸賀優樹,刈田秀人,村田嘉利,高山 毅,佐藤永欣(岩手県大)
- 4 携帯電話の Bluetooth 受信強度を用いた位置認識システムの開発
 - ○高階孝敏,藤井雅弘(宇都宮大),
 - 伊藤 篤(KDDI 研),渡辺 裕(宇都宮大)
- 5 GPS 難受信エリアの自律的検出と補正機能の提案
 - ○松倉 祐, 新井イスマイル, 西尾信彦(立命館大)
- 6 絶対位置と相対位置を利用した同行判定手法の提案
 - ○楊 建星,新井イスマイル,西尾信彦(立命館大)

学生セッション [5U 会場] (3 月 12 日 (木) 9:30 ~ 12:00)

センサネットワーク運用・制御 座長 長谷川輝之(KDDI研)

1 ユビキタス環境における異種センサネットワーク用ユーザインタフェースの 開発 ○加藤悠一郎、小倉正利、峰野博史(静岡大)、 石川憲洋(NTTドコモ)、水野忠則(静岡大)。

- 2 異種センサネットワークを連携させるゲートウェイ機能の OSGi 対応 ○伊藤崇洋, 峰野博史(静岡大), 小佐野智之,
 - 石川憲洋 (NTT ドコモ), 水野忠則 (静岡大)
- 3 センサネットワークにおけるデータストリーム処理に関する検討 ○山田典生、峰野博史、水野忠則(静岡大)
- センサネットワークにおける UCS 中空階層型クラスタリングの提案 ○菅原康太, 高橋 修(はこだて未来大)
- 5 センサネットワークの長期運用を考慮した経路決定法
 - ○加古崇文, 横田裕介, 大久保英嗣(立命館大)
- 6 センサノードの実行履歴を用いた負荷予測に基づく DVS と DMS による 協調型省電力化手法
 - ○濱千代貴大, 金丸達雄, 横田裕介, 大久保英嗣(立命館大)
- 7 移動センシングのためのデータマイグレーション機構
 - ○村山知弥, 加古崇文, 冨森英生, 横田裕介, 大久保英嗣(立命館大)
- 8 無線 LAN 環境向け分散オブジェクト基盤
 - ○秩父真司, 横山孝典, 志田晃一郎, 兪 明連 (武蔵工大)
- 9 アドホックネットワーク向け分散オブジェクトネーミングサービス
 - ○平野繁裕, 横山孝典, 志田晃一郎, 兪 明連 (武蔵工大)

学生セッション [60 会場] (3月12日(木) 14:30~16:30)

ネットワーク応用 座長 椎尾 一郎 (お茶の水女子大)

- 1 共同作業ツール作成支援のための P2P フレームワークの開発 ○大内雄矢(武蔵工大)
- 2 携帯メールを用いた web オーサリングツールの提案と実装 ○中谷 亘、真砂隆政、塚田晃司(和歌山大)
- 3 手書きオブジェクトに動きを記述できるコミュニケーション型描画 ツールの研究 ○保科一成、須藤 智、恩田憲一(尚美学園大)
- 4 無線センサデバイスを利用したプレゼンテーション実時間評価支援 システムの実現
 - ○土井達也, 浅見昌平, 大囿忠親, 新谷虎松 (名工大)
- 5 フィールドにおける音源定位のための音声視覚化デバイス 「カエルホタル」の設計
 - ○水本武志, 合原一究, 高橋 徹, 尾形哲也, 奥乃 博(京大)
- ウェーブレットを用いた音声認証システムの精度向上にむけて
 - ○深田晋吾, 馬場謙介, 高野 茂, 安浦寛人(九大)
- 音響情報を用いたライフログデータのインデキシング ○山野貴一郎、伊藤克亘(法大)

学生セッション [1V 会場] (3 月 10 日 (火) 9:30 ~ 12:00)

プロトコルと性能測定 座長 藤崎 智宏 (NTT)

- NAT-f を利用した SIP の NAT 越え通信の提案
 - ○三浦健吉,鈴木秀和,渡邊 晃(名城大)
- 2 SSL セッションマイグレーションの実装と評価
 - ○島崎聡史,中澤昌史, 金田健太郎, 齋藤孝道 (明大)
- 複数のホームエージェントによる MobileIP のプライバシー拡張 (河島佑樹(柘大)
- IEEE802.11 無線 LAN 端末の接続無線基地局選択手法とその実装 ○熊谷篤史、桧垣博章(電機大)
- 5 ユーザの協調行動を積極的に利用した ALOHA プロトコルの提案と性能評価 ○須藤勇人、奥田隆史、井手口哲夫、田 学軍(愛知県大)
- 6 (講演取消)
- 7 輻輳制御パラメータの自動解析を行う TCP 通信解析ツールの研究 ○茂木重憲,渡邊 晶(明星大)
- 8 ネットワーク符号化によるオーバーレイマルチキャスト通信に関する考察 ○井奈波拓也(名工大),福田洋治(愛知教育大),白石善明(名工大)
- 9 プライベートアドレス間通信における TTL 自動調整方式

○辻善太郎 (奈良高専)

学生セッション [2V 会場] (3月10日(火) 14:30~17:00)

ネットワーク理論・プロトコル 座長 地引 昌弘 (NEC)

- マルチリング WDM ネットワークにおける波長割当手法の提案と評価 ○曽我恭行(愛知県大)、妹尾尚一郎(三菱)、
 - 井手口哲夫, 奥田隆史, 田 学軍 (愛知県大)
- 2 メッシュネットワークにおけるクラスタリングチャネル割り当て方式の提案 ○松本 太、勝見祐介、冬爪成人(電機大)

3 リアクティブ型 TDMA アドホックルーティングにおける 配送スケジュールを考慮したスロット割当て手法の効果

○津村周典, 桧垣博章(電機大)

- 4 動的な重み付けによる WFQ の提案と評価
 - ○藤川達也,木村成伴,海老原義彦(筑波大)
- 5 CGM型アクセス発生パターンによる輻輳を回避するためのバッファ配置の 検討 - 双方向通信と片方向通信のパケットバッファリングによる比較 -
 - ○恩田和樹, 奥田隆史, 井手口哲夫, 田 学軍 (愛知県大)
- 6 無線 LAN 環境における DCCP CCID3 フローの送信レートと受信間隔 揺らぎの関係性 ○星川雄大,大塚裕太,石原 進(静岡大)
- 7 DarkNet における遅延相関とアドレス間距離との位置関係の解析

○大田昌幸, 杉本 周, 菅原俊治 (早大), 福田健介 (国立情報学研), 廣津登志夫 (豊橋技科大)

- 8 P2P オーバーレイネットワークにおける仮想接続の永続化プロトコルと その検証 ○ Hyouk Oh, 和崎克己 (信州大)
- 9 通信プロトコル TCP/IP の代数的記述

○吉村文吾, 奥井 順(近畿大)

学生セッション [3V 会場] (3月11日(水) 9:30~12:00)

ITS 座長 屋代 智之 (千葉工大)

- 1 走行車群における合意形成アルゴリズムの提案と評価
 - ○キエン チャンホン, 井手口哲夫, 奥田隆史, 田 学軍(愛知県大)
- 2 走行車群におけるグループ通信方式の提案と評価
 - ○岡村 拓,井手口哲夫,田 学軍,奥田隆史(愛知県大)
- 3 車車間アドホック通信を用いた衝突回避システムの提案
 - ○松井丈弥, 能登正人(神奈川大)
- 4 車車間アドホックネットワークにおける push/pull 型の 位置依存情報複製配布における固定ノード導入効果

○岡本惇一朗, 石原 進(静岡大)

- 5 個人用知的移動体の自動走行と障害物回避
 - ○井上泰佑, 尾崎宏樹, 安田知加, 森 直史, 長尾 確 (名大)
- 6 個人用知的移動体による移動障害物回避
- ○尾崎宏樹,井上泰佑,安田知加,森 直史,長尾 確(名大)
- 7 単眼車載カメラ画像における前方車両検出

○五十部宏幸,中村 靖(広島工大)

- 8 運転者支援システムのためのオプティカルフローによる移動物体の検出 ○飯田雄基、清水郁子、
 - ラクシンチャランサク ポンサトーン、永井正夫(農工大)
- 9 道路環境に対してロバストな道路標識抽出法 ○福田剛久(三重大)

学生セッション [4V 会場] (3月11日(水) 15:30~17:30)

P2P 座長 田上 敦士(KDDI研)

- 1 Hybrid P2P 型センサデータ共有システムにおける Node 間通信機能の実装 ○松村勇希、井口信和(近畿大)
- 2 P2P オーバレイネットワークを利用した UPnP/DLNA 機器連携システムの 提案 ○吉岡俊秀,門脇恒平,佐藤健哉,
 - 小板隆浩, Ivan Tanev, 下原勝憲 (同志社大)
- 3 Mobile PPC における仮想インタフェースの検討
 - ○水谷智大, 鈴木秀和, 渡邊 晃 (名城大)
- 4 同時コミュニケーションを前提とした放送型配信システムの実現 ○伊藤雄亮,青木輝勝,沼澤潤二(東北大)
- 5 通信環境と QoS を考慮したマルチメディアコンテンツ配信のための P2P オーバレイネットワークの研究

○河野康裕, 柴田義孝 (岩手県大)

- 6 SYN パケットの呼応に着目した P2P トラフィックの表示
 - ○三浦明日香,梅村恭司,阿部洋丈,岡部正幸(豊橋技科大)
- 7 トラフィックパターン解析に基づく P2P ファイル共有ソフトウェアの 利用検出 ○元木伸宏, 泉 裕, 塚田晃司(和歌山大)

学生セッション [5V 会場] (3月12日(木) 9:30~12:00)

ナビゲーション 座長 今井 尚樹(KDDI研)

- 1 携帯電話の GPS 測位情報を利用した周辺の交通情報表示システムの提案 ○木嶋 啓,藤井雅弘(宇都宮大),
 - 伊藤 篤 (KDDI 研),渡辺 裕 (宇都宮大)
- 2 観光客の周囲の地図をあえて消す観光支援ナビの試み

○田中 健,仲谷善雄(立命館大)

- Bluetooth を用いた屋内ナビゲーションシステム
 - ○熊崎健太, 岡田拓也, 清藤智哉, 小嶋徹也, 青野正宏 (東京高専)
- 4 GPSと Bluetooth による協調型 UD 観光情報システムの試作
 - 歴史テーマパークにおけるロケ情報提供 -
 - ○高橋恭平, 市川 尚, 窪田 論, 阿部昭博 (岩手県大)
- 携帯電話を用いた視覚障害者歩行支援システムの提案
 - ○中村有貴, 鈴木慶太, 藤井雅弘 (宇都宮大),
 - 伊藤 篤 (KDDI研), 渡辺 裕 (宇都宮大)
- 屋内公共空間における歩行者流動情報を利用したマルチエージェント・ シミュレーション ○ 都野井剛(武蔵工大), 井上 豊,
 - 幸島明男, 車谷浩一(産総研), 諏訪敬祐(武蔵工大)
- 個人用知的移動体による実世界情報の獲得とその利用
 - ○森 直史, 井上泰佑, 尾崎宏樹, 安田知加, 長尾 確 (名大)
- 8 地図情報に基づく個人用知的移動体の柔軟な屋内自動走行
 - ○安田知加, 尾崎宏樹, 井上泰佑, 森 直史, 長尾 確(名大)
- 9 個人の状態や環境を考慮した避難経路動的指示システム

○深谷 亮 (芝浦工大)

学生セッション [6V 会場] (3月12日(木) 14:30~16:30)

分散システム・運用管理 座長 石島 悌(大阪府産総研)

- 位置情報応用サービスのためのクラウドコンピューティングプラットフォーム ○山田 啓, 田島孝治, 大島浩太, 寺田松昭 (農工大)
- 協調作業支援のための JavaSpaces アクセスエージェントの開発 ○石田隼人,樋口昌宏(近畿大)
- 3 仮想 Linux 環境を利用したネットワーク構築演習システムへの SaaS モデルの適用 ○梅田雅一, 上田拓実, 井口信和(近畿大)
- 4 動的適応システムにおける機器管理方式の研究
 - ○須賀大輔, 田口和也, 久保田稔 (千葉工大)
- 5 ログ変更履歴を用いた協調型サーバ管理ツールの開発
 - ○鈴木政規,早川栄一(拓大)
- 6 DNS ラウンドロビンの動的レコード更新によるサーバ負荷分散法 ○岸本和之, 後藤滋樹 (早大)
- 7 仮想 Linux 環境を利用したネットワーク構築演習システムへの SQL インジェクション対策学習機能の実装
 - ○上田拓実, 谷村真一郎, 井口信和(近畿大)

学生セッション [1W 会場] (3月10日(火)9:30~12:00)

映像処理システム 座長 高木 真一(早大)

1 ビットストリームパターン再構成による Flash Video の

適応的 Multiple Description 符号化

- ○倉石卓也, 伊藤 仁, 伊藤彰則, 牧野正三 (東北大)
- 2 FLASH を用いたフル HD 配信システムの構築と評価
 - ○魏 元,後藤滋樹(早大)
- 3 ザッピング視聴を考慮したオーバーレイ型映像配信プロトコルの一検討 ○壹岐勇太郎, 沼澤潤二, 青木輝勝(東北大)
- 待ち時間を意識せず最新情報を選択できる携帯蓄積放送システムの開発 ○木村大毅、大野康明、唐石景子、小嶋徹也、青野正宏(東京高専)
- 超高精細全方位映像を利用した遠隔カウンセリングシステム
 - ○大葛広和,柴田義孝,橋本浩二,青木慎一郎(岩手県大)
- 6 ネットワークカメラ群を用いた不審な軌跡を抽出する防犯システム ○滝川和音、渡部貴之、佐藤永欣、高山 毅、村田嘉利(岩手県大)
- 7 全方位カメラと PTZ カメラの協調動作による自動追従撮影手法
 - ○佐藤洋介,橋本浩二,柴田義孝(岩手県大)
- 3 加速度センサ、カメラを用いた携帯電話による危険認識方式
 - ○成清裕之, 天野直紀 (東京工科大) 三解像度ディスプレス環境の構築
- 複数ディスプレイを利用した高解像度ディスプレイ環境の構築

○千葉 豪,柴田義孝(岩手県大)

学生セッション [2W 会場] (3月10日(火) 14:30~17:00)

ユビキタスコンピューティング 座長 山口 弘純(阪大)

- コミュニティセキュリティシステムにおけるグルーピング手法の検討○勝 将万,井手口哲夫,奥田隆史,田 学軍(愛知県大)
- 2 SkypeAPI を用いた簡易な仮想的グルーピング機構の実装と評価
 - ○今入庸介, 小板隆浩, 佐藤健哉 (同志社大)
- 消費者向けカーボンフットプリント表示システムの開発
 - ○戸田暁博, 江原正規, 井上亮文, 星 徹 (東京工科大)

- 4 RF タグのユーザメモリを用いた流通経路記録手法の提案
 - ○吉田真樹, 江原正規, 井上亮文, 星 徹 (東京工科大)
- 5 圧力センサを用いた歩行時の疲労検知
 - ○米川賢治, 米澤拓郎, 由良淳一, 中澤 仁, 徳田秀幸 (慶大)
- 6 商品購買時の迷い検出システムの構築
 - ○荒木貴好, 米澤拓郎, 中澤 仁, 高汐一紀, 徳田英幸 (慶大)
- MOLMOD: Mood Labeling and Modelling based on Vital Data
 - ○山本純平, 川添瑞木, 高汐一紀, 徳田英幸 (慶大)
- 8 (講演取消)
- 9 異種スマート環境間での抽象度の高いサービス指定とその解決手法の提案 ○数下直哉、榎掘 優、新井イスマイル、西尾信彦(立命館大)

学生セッション [3W 会場] (3月11日 (水) 9:30~12:00)

ロボットと社会インフラ

座長 村川 賀彦(富士通研)

- 1 意味センサネットワークを用いたロボットシステムの制御
 - ○高田 論,橋本周司(早大)
- 2 モバイルエージェントを利用したネットワークロボット協調プラット フォームの検討 ○山田朋美、佐藤健哉、小板隆浩、 Ivan Tanev、下原勝憲(同志社大)
- 3 小型家庭用ロボットの室内移動に関する研究
 - ○中川博之, 宮崎光二, 片寄晴弘 (関西学院大)
- 4 小型 2 足歩行ロボットと Wii リモコンを用いた格闘ゲームの開発 ○堀元純生,宮崎光二,片寄晴弘(関西学院大)
- 5 (講演取消)
- 6 無線メッシュネットワークを用いた異常時の移動通信網復旧システムの提案 ○遠藤零始,高橋 修(はこだて未来大)
- 7 大規模災害時における DTN 環境での利用を考慮した災害情報共有システム ○吉田昭宜, 塚田晃司 (和歌山大)
- 8 分散型家電ネットワークへのリスク機能単位の導入によるリスク回避 模擬訓練と災害時行動支援
 - ○松島俊一郎, 西村俊和(立命館大)
- 9 無償利用を目的とした無線公衆網普及に関する考察
 - ○中村 裕, 佐竹賢治(立命館大)

デモセッション [デモ会場]

デー 10(3月11日(水))

FLASH を用いたフル HD 配信システムの構築と評価

○魏 元,後藤滋樹(早大)

(セキュリティ)

- 一般セッション [5E 会場] (3 月 12 日 (木) 9:30 ~ 12:00)
 - システム・ネットワークセキュリティ 座長 上原哲太郎 (京大)
- 1 情報漏洩を防ぐ Web メールフィルタリング手法の提案と設計
 - ○浦川順平 (電通大), 鈴木信雄 (KDDI), 鈴木健二 (電通大)
- 2 提供者が主導となりプライバシ情報の開示制御が行えるプライバシ情報 セキュア流通基盤の実現
 - ○宮川伸也, 西村祥治, 森 拓也, 佐治信之 (NEC)
- 3 プライバシ情報セキュア流通基盤におけるプライバシ情報開示制御の実現 ○西村祥治, 宮川伸也, 森 拓也, 佐治信之 (NEC)
- 4 業務の正当性証明支援システムの開発
 - ○芹田 進, 伊藤信治, 本多義則(日立)
- 5 オフライン端末のセキュリティ検査方法
 - ○砂田英之, 山田耕一, 鷲尾元太郎, 中野初美, 近藤誠一(三菱)
- 6 Anomaly 型不正アクセス分析システムの正常域データの変動への対応に ついて ○榊原裕之,河内清人,北澤繁樹,藤井誠司(三菱)
- 一般セッション [6E 会場] (3 月 12 日 (木) 14:30 ~ 16:30)
 - セキュリティと社会 座長 須賀 祐治 (IIJ)
- 1 複数のサイバーネット間での保護コンテンツの流通に関する検討
- ○西村知也,島津秀雄(NEC システムテクノロジー)
- 2 行動情報収集型サービスにおける行動情報抽象化手法とプライバシ性の 変化についての報告 ○森 拓也、大野岳夫、宮川伸也、西村祥治、 佐治信之(NEC)、石塚清司、小林 功(NTTドコモ)

- 3 4W (When, Where, Who, What) 情報の組合せを考慮したライフログ 開示支援方法に関する一考察
 - ○永徳真一郎, 松村成宗, 山田智広, 武藤伸洋, 阿部匡伸 (NTT)
- 4 ユーザへの予防接種というアプローチによる標的型攻撃対策-2
 - ○山口健太郎(情報セキュリティ大),
 - 小宮山功一朗(JPCERT コーディネーションセンター),
 - 内田勝也 (情報セキュリティ大)
- 5 大学構成員向け情報セキュリティ教育の実践 〇永井好和(山口大)

学生セッション [4W 会場] (3月11日 (水) 15:30 ~ 17:30)

認証・アクセス制御 座長 松崎なつめ (パナソニック)

- 1 Privacy-aware OS Salvia におけるデータフローを主体としたアクセス 制御手法 ○井田章三, 岩永真幸, 毛利公一(立命館大)
- 2 情報漏洩防止のための出力先毎に制御可能なファイルアクセス制御方式 ○岩永真幸,毛利公一(立命館大)
- 3 e ラーニングにおける筆跡情報を用いた本人認証システム
 - ○藤森千博, 福村好美, 中平勝子(長岡技科大)
- 4 標準テンプレートを用いた耳介認証手法

○尾崎恭平, 佐竹賢治(立命館大)

- 5 ユーザレベルでの情報漏洩防止機構 User-Mode Salvia の構築
 - ○河島裕亮, 岩永真幸, 毛利公一(立命館大)
- 6 秘密分散法を応用したソフトウェア電子透かし 分散情報としての パースマークの利用 - ○棚瀬真臣,真野芳久(南山大)
- 7 Linux Security Module を用いた Privacy-aware OS Salvia の構築
 ○鍛治輝行,岩永真幸,毛利公一(立命館大)
- 8 IC カードによる動的パスワードを用いた認証

○青木琢真, 三浦孝夫(法大)

学生セッション [5W 会場] (3 月 12 日 (木) 9:30 \sim 12:00)

ネットワークセキュリティ 座長 寺田 真敏 (日立)

- 1 送信先アドレスによる関連付けを防ぐための分散型中継サービスの実装 ○佐藤良太, 蓑原 隆 (拓大)
- 2 ユーザ認証システムを用いた DHCP 認証ゲートウェイ方式検疫ネット ワークの実装及び評価 ○折原義一,安井浩之,松山 実(武蔵工大)
- 3 社内ウェブサイトの脆弱性を利用した社外からのクロスサイトスクリブ ティングを防止するシステムの構築
 - ○川内英主、千葉雄司、土居範久(中大)
- 4 安全なファイル送受信 Web システムのための ElGamal 型暗号方式
 - ○村田純一(名工大),福田洋治(愛知教育大),
 - 毛利公美(岐阜大), 白石善明(名工大)
- 5 エンターテイメント性を考慮した視覚化による意図せぬ通信の検知 ○朝永愛子、水谷正慶、武田圭史、村井 純(慶大)
- 6 異常検出手法を用いた SQL インジェクション攻撃の検出
 - ○角田直樹, 安井浩之, 松山 実(武蔵工大)
- ネットワークセキュリティのための CAM による文字列検索システム ○村田健二,原 悠希 (立命館大),
 - 中西 衛 (NTT), 小倉 武 (立命館大)
- 悪性プログラムの調査を目的とした通信データ解析ソフトウェアの実装 ○水谷正慶, 武田主史、村井 純 (慶大)
- 9 アドホックネットワークにおける端末の信頼度を考慮した分散型公開鍵 管理方式 ○立山崇之,野口 拓,川合 誠(立命館大)

学生セッション [6W 会場] (3 月 12 日 (木) 14:30 ~ 16:30)

セキュリティと社会・リスク管理 座長 小松 文子 (IPA)

- 1 Webページ向けフィンガープリント方式の一提案
 - ○鈴木貴志,青木輝勝,沼澤潤二 (東北大)
- 2 IP 通信の送信先アドレスによる関連付けの評価
 - ○三浦正明, 蓑原 隆(拓大)
- ゴール指向を用いたセキュリティ要件の定義手法の提案
 - ○府川真理子, 松浦佐江子 (芝浦工大)
- 内部統制のためのログ管理システム
 - ○友野敬大, 鈴木秀平, 上原 稔 (東洋大)
- 緊急地震速報による地震予測表示システム
 - ○郭 小進, 王 岩松, 中谷直司, 厚井裕司(岩手大)
- 基盤地図情報を用いた災害シミュレーション
 - ○佐藤 圭, 柴田和志, 高橋友一 (名城大)

7 異種無線 LAN による災害情報ネットワークの研究

○佐藤剛至,柴田義孝(岩手県大)

8 携帯エリアメールの津波警報への適用

○手代木泰顯,澤本 潤,瀬川典久,杉野栄二(岩手県大)

学生セッション [1X 会場] (3月10日(火) 9:30~12:00)

セキュア設計・実装・フォレンジクス 座長 大久保隆夫 (富士通研)

- 1 デバッグ支援のための文字列解析による SQL 構文木生成法の改良
 - Heng Li, 西田誠幸(拓大)
- 2 不要な検査を行わない整数オーバーフロー攻撃対策ツールの実装 ○山崎悟史,桑原寛明,國枝義敏(立命館大)
- 3 携帯電話向けウェブアプリケーションにおけるユーザ認証識別機能 要件に関する分析
 - ○小池大生, 武田圭史, 金井 瑛, 市川博基, 村井 純 (慶大)
- 4 バイナリコードを対象にした脆弱性検出ツールの実装と評価
 - ○今井祥子, 佐藤 喬, 多田好克 (電通大)
- 5 アクセスモニタとファイルバックアップの統合による自己修復機構の設計 ○打田悟志,西山裕之,大和田勇人(東理大)
- 6 MANET フォレンジクスにおける証拠解析方式の提案
 - ○三科 貴, 高橋 修 (はこだて未来大)
- 7 セキュリティインシデント対応のためのユーザ特定支援システムの実装 ○上原雄貴、水谷正慶、武田圭史、村井 純 (慶大)
- 8 携帯電話における電子透かしアルゴリズムの実装と評価
 - ○小関洋助, 矢崎俊志 (東京工科大),

月江伸弘(日本工学院八王子専門学校),松永俊雄(東京工科大)

9 複数の共通鍵暗号の同一 FPGA 上での比較

○中島裕介,松浦優彦,山本和正,小杉敬和,小柳 滋(立命館大)

デモセッション [デモ会場]

デー06 (3月11日 (水))

Privacy-aware OS Salvia を用いたファイルアクセス制御

○鍛治輝行, 岩永真幸, 井田章三, 河島裕亮, 毛利公一(立命館大)

第4分冊

(インタフェース)

一般セッション [1F 会場] (3月 10日 (火) 9:30~12:00)

知的ヒューマンインタフェース 座長 中西 英之 (阪大)

- 1 人間―ロボットの直感的なインタラクションのための発光視覚センサの提案 ○山口友之、橋本周司(早大)
- 2 機能選択を補助するユーザ適応型インターフェースの開発と評価 ○月江伸弘(日本工学院八王子専門学校),

森藤央一郎, 矢崎俊志, 松永俊雄 (東京工科大)

- 3 知的照明システムのための Felica を用いたユーザインタフェース
- ○鍋藤克敏,三木光範,廣安知之(同志社大) 4 高齢者向け対話インタフェース - 概念辞書を用いた話題展開法 -
 - 〇横山祥恵, 山本大介, 古賀敏之, 小林優佳, 土井美和子 (東芝)
- 5 手袋型計測装置を用いた実時間指文字認識

○平山 亮, 舟川政博(金沢工大)

- 6 発話映像から導出した特徴的口形の機械読唇への適用評価
 - ○宮崎 剛 (神奈川工科大), 中島豊四郎 (椙山女学園大)

一般セッション [2F 会場] (3月 10日 (火) 14:30 ~ 17:00)

インタフェースデザイン 座長 中村 嘉志 (産総研)

- 1 多重ワークの研究 -TSS (Time Slicing System) のグループワークへの適用 -○小村晃雅, 松永義文 (富士ゼロックス)
- 2 個人間相互作用ダイナミクスの可視化表現

○今村健一郎, 筧 康明, 仰木祐嗣 (慶大)

- 3 RomanPP: Myanmar Text Typing with Consonants Romanization and Possible Vowel Combinations Prediction with 4 Directional Arrow Keys Kyaw Thu Ye,浦野義頼(早大)
- 4 文字入力支援システム Dasher の日本語実装

○鏑木崇史,福田真啓,瀬賀一恵,松本 隆 (早大),

David. J. C. MacKay (Cambridge University)

- 歴史画像閲覧システムにおける解説表示領域の設定法の検討
 - ○早野浩章, 杉山 精 (芝浦工大), 安達文夫,
- 鈴木卓治 (国立歴史民俗博物館), 徳永幸生 (芝浦工大)
- 6 大量録画番組のブラウジングにおける検索キーワード提示の評価 ○井上 剛,小澤 順(パナソニック)
- 7 UI の機能抽象化による GUI とハードウェア UI 透過性を実現するシステムの開発 ○久原政彦, 伊藤 誠 (中京大)

一般セッション [3F 会場] (3 月 11 日 (水) 9:30 \sim 12:00)

グループウェア 座長 金井 秀明 (北陸先端大)

- 1 送受信メールのサブジェクトからのメール分類階層構造自動生成方式の提案 ○一色友宏、本橋洋介、坂上秀和、内藤圭三(NEC)
- 2 タスク処理指向電子メール利用支援システムの提案

○永井克之, 勝間田仁(日本工大)

- 3 遠隔相談を実現するリッチメディアコンテンツ共有方式
 - ○大芝 崇, 子林秀明 (NEC)
- 4 会議コンテンツの再利用に基づくプロジェクトの文脈情報の共有支援 システム ○土田貴裕、大平茂輝、長尾 確(名大)
- 5 ホワイトカラーの業務状況把握に適した IT かんばんツールの提案

○飛田伸一, 坂口基彦, 坂上秀和 (NEC)

- 6 オフィス業務の作業効率化に適したコミュニケーション情報管理に関する 考察 ○桐越孝之, 坂上秀和, 坂口基彦 (NEC)
- 7 業務分析者のユーザビリティを考慮した Human-Centric BPM システムの 開発 ○江原良典,伊藤純一,畠中晃弘(クエステトラ)

一般セッション [4F 会場] (3月11日(水) 15:30~17:30)

CG 一般 座長 高橋時市郎 (電機大)

- 1 曲率・捩率対数グラフの性質と多項式曲線の変曲点近傍の性質
 - ○吉田典正(日大),斎藤隆文(農工大)
- 2 入力点密度を考慮した手書き線図形の近似表現
 - ○上加世田暁, 齊藤 剛 (電機大)
- 3 カメラ画像を用いた簡易足型モデリングに関する研究
 - ○近藤 聡,赤木康宏,北嶋克寛 (農工大)
- 4 手指認識による形状変形の一手法 ○金谷孝之(広島国際大), 手島裕詞(静岡理工科大),西尾孝治,小堀研一(阪工大)

5 カラー位相シフト法による形状計測

○松井 徹(和歌山大)

- 6 「3D スーラ」: 3D 点群情報を用いた点描画ウォークスルーコンテンツ ○渡辺賢悟(東京工科大), 佐野実乃里(マイクロ情報通信),
 - 宫岡伸一郎 (東京工科大)

一般セッション [5F 会場] (3月 12日 (木) 9:30 ~ 12:00)

仮想現実 座長 吉高 淳夫(北陸先端大)

- モーションキャプチャデータの可視化に関する一検討
 - ○田代裕子,齊藤 剛 (電機大)
- ? モーションデータ処理に関する研究 ○木平大介, 齊藤 剛(電機大)
- 3 複数ユーザによる共創型アニメ制作システムの試作とその評価
 - ○青木輝勝(東北大), 加藤大志(NEC), 沼澤潤二(東北大), 安田 浩(電機大), 國枝和雄, 山田敬嗣(NEC)
- 4 (5X セッションに移動)
- 5 香りカプセルを用いた香り発生技術の香りディスプレイや自動車への応用 ○西村彩子, 坂入 実, 鈴木大介(日立)
- 6 (4Y セッションに移動)

学生セッション [2X 会場] (3月10日(火) 14:30~17:00)

情報共有 座長 青山 浩二 (富士通研)

- 既存のエディタを利用する少人数向け共同開発環境の設計と実装 ○山下 剛,佐藤 喬,多田好克(電通大)
- 2 議事リマインダーによる会議における議論の検索と利用
 - ○木内啓輔, 土田貴裕, 大平茂輝, 長尾 確(名大)
- 3 TimeMachineBoard: 過去の議論の柔軟な引用が可能なカジュアル ミーティングシステム ○石戸谷顕太朗,大平茂輝,長尾 確(名大)
- 4 協力・協調活動と形成的評価を利用する e ラーニング環境の実現 ○何 嵩昊,齋藤健司(北海道情報大),
 - 久保 宝 (ネオジオワークス), 前田 隆 (北海道情報大)
- 講義スライドを二次利用したプログラミング動画生成手法
 - ○大久保孝明, 井上亮文, 星 徹 (東京工科大)
- 6 情報発信者の特徴認識を可能とする携帯端末間での自律的情報交換の提案 ○貝野友香、玉井祐輔、高田秀志(立命館大)
- 7 街中での自律的情報交換における端末間認証と相互評価方式の提案 ()中川文博、玉井祐輔、高田秀志(立命館大)
- 8 携帯端末を保持する利用者の行動に基づくパーソナルネットワークの 構築と潜在的コミュニティの抽出手法

○玉井祐輔, 高田秀志(立命館大)

- 9 モバイル端末を利用した情報流通における情報提供を促進するインセンティブシステムの提案
 - ○後藤清豪, 玉井祐輔, 高田秀志(立命館大)

学生セッション [3X 会場] (3月11日(水) 9:30~12:00)

Web 応用 座長 大平 雅雄(奈良先端大)

- 実世界におけるユーザの位置や目的を考慮した自律的ブックマーク 交換手法の提案 〇伊東寛修,高田秀志(立命館大)
- 2 コンテンツ管理システムにおける柔軟なグループ管理機構の開発

○小久保勇太,早川栄一(拓大)

- 3 プログラミング講義のための Web ベース演習動向解析システム
 - ○石井 優, 井上亮文, 星 徹 (東京工科大)
- は 協調的創造活動支援のための Web サービス構築方式

○井上剛志, 小嶋弘行(広島工大)

- Webページの注目点共有による遠隔会話支援ツール「指差しチャット」の 提案 ○宮本翔平,下出裕也,桑原和宏(立命館大)
- 利用者の行動支援を考慮した地域 SNS 連携マップの開発

○曽我和哉,窪田 論,市川 尚(岩手県大), 佐々木敬志(滝沢村),阿部昭博(岩手県大)

異なる言語を用いる設計チームのための要求仕様定義支援システム

○脇屋 達(千葉工大),Moulin Claude,

- Wouters Laurent (Compiègne University of technology), 真部雄介,藤田 茂,菅原研次(千葉工大)
- 言語グリッドを用いた自治体窓口の多言語コミュニケーション支援システム ○黒澤久美 (千葉工大),
 - Wouters Laurent (Compiègne University of technology), 真部雄介 (千葉工大), Moulin Claude (Compiègne University of technology), 菅原研次 (千葉工大)

9 ワイヤレス生体センサを用いたライフログの取得と Web システムの提案 ○田中雄士 (武蔵工大), 井上 豊, 幸島明男,

車谷浩一 (産総研), 諏訪敬祐 (武蔵工大)

学生セッション [4X 会場] (3月11日(水) 15:30~17:30)

組織知 座長 由井薗隆也(北陸先端大)

- 1 システム開発における開発者知識の組織化と共有のための開発支援 環境の構築
- ○大西雅宏,柴田佳菜美,門田 樹,高橋拓也,高田秀志(立命館大)2 開発者知識と保守作業履歴を活用した携帯端末による保守作業員支援システムの構築
- ○高橋拓也,柴田佳菜美,伊東寛修,大西雅宏,高田秀志(立命館大) 3 付箋機能を用いた情報共有によるソフトウェア開発支援システムの提案
- ○門田 樹, 柴田佳菜美, 大西雅宏, 高田秀志 (立命館大)
- 4 開発者の行動に基づく情報共有のための開発者知識ネットワークの構築 ○柴田佳菜美、大西雅宏、高田秀志(立命館大)
- 5 集合知による Web ドキュメントのアニメーション化の支援
 - ○小山祐樹,望月祐洋(東工大)
- 6 Transight: 共同思考プロセスの可視化システム
 - ○村山幹朗, 小野哲雄(はこだて未来大)
- 7 ビジネスゲームを用いた合意的意思決定の再現における一考察
 - ○鈴木貴文, 柿崎達哉, 槙 拓也, 村上雅俊, 本寺康晃, 皆月昭則(釧路公大)
- 8 短期的な世代交代のある組織における注記事項の伝承に関する提案 ○橋本峻平(電通大), 関 良明(NTT)

学生セッション [5X 会場] (3月 12日(木) 9:30~12:00)

VR 基礎 座長 野嶋 琢也(電通大)

- 回転機構付プロジェクタを用いたアナモルフォーズによる立体表現○東 晃佑,宮下智至,高橋 亮,李 周浩(立命館大)
- 2 複合現実型視覚刺激が重心知覚に与える影響

○杣田明弘, 溝口晃太(立命館大),

- 木村朝子(立命館大/ JST),柴田史久,田村秀行(立命館大)
- 3 複合現実型 PreViz における映画的照明効果の付与 (1)
 - 強い日照による影成分の除去 -
 - ○波多野亮平, 一刈良介, 柴田史久, 田村秀行(立命館大)
- 4 複合現実型 PreViz における映画的照明効果の付与 (2)
 - 表面反射特性の推定による Relighting の試み -
 - ○西沢孝浩, 一刈良介, 柴田史久, 田村秀行(立命館大)
- 5 商品を介したデジタル情報の提示
 - ○出島大樹,太田高志(東京工科大)
- 6 複数マーカを用いた人物ビデオ画像への仮想衣服の合成
 - ○都筑雅史, 平山 亮 (金沢工大)
- 7 美術館等の展示物へのインタラクティブなデジタル情報の付与
 - ○黛 雅宏,太田高志(東京工科大)

学生セッション [6X 会場] (3 月 12 日 (木) 14:30 ~ 16:30)

VR とセンサ 座長 柴田 史久 (立命館大)

- 1 テレイマージョン環境を考慮した CVE を実現するためのミドルウェアの 開発 ○谷津啓介,柴田義孝(岩手県大)
- 2 ドップラーセンサを用いた複数機器の制御手法
 - ○古畑貴志,窪田裕介, 金田重郎, 芳賀博英 (同志社大)
- 3 物体表面微細構造に基づく皮膚刺激信号の抽出
 - ○野村和義, 尹 新, 田中弘美(立命館大)
- 4 複数ステレオカメラと顔認証技術を用いた集団の対人関係抽出手法の提案 ○角谷隆行、山本真吾、芳賀博英、金田重郎(同志社大)
- 5 ウェーブレット変換を用いた集団行動データの自動セグメンテーション ○柴田征宏,金田重郎,芳賀博英,上坂和也(同志社大)
- 6 3D サムネイルを利用した視線推移動態解析
 - ○福田考晃, 高丸尚教(中部大)
- 7 加速度センサと動画像処理による個人識別型位置検出手法の提案 ○川島秀人,新野 毅,田島潤一(同志社大),
 - 新谷公郎 (常磐会短大), 芳賀博英, 金田重郎 (同志社大)
- 加速度センサと位置情報を用いた ライフログ映像再現手法の提案

○村上公哉, 李 周浩(立命館大)

学生セッション [1Y 会場] (3月10日(火)9:30~12:00)

ユーザインタフェース 座長 木村 朝子 (JST / 立命館大)

- 1 (講演取消)
- 2 (講演取消)
- 3 外部で定義したシナリオにより操作手順を提示するアプリケーションの インタフェース ○矢田久美子(名工大),

福田洋治(愛知教育大), 白石善明(名工大)

- 集合知を用いた議事録へのアクセシビリティ向上支援システムの開発 ○近藤亮太、望月祐洋(東工大)
- 5 歴史資料における解説表示設定のための領域抽出法の検討
 - ○西郷智気,徳永幸生,杉山 精(芝浦工大), 安達文夫(国立歴史民俗博物館)
- 5 JavaFX Script による動的コンテンツのアクセシビリティ向上手法
 - ○加藤宝章(早大),橘 賢二(サン・マイクロシステムズ),
 - 白銀純子 (東京女子大), 岩田 一 (神奈川工科大), 深澤良彰 (早大) 画面拡大による高齢者のためのポインティング操作支援手法に関する研究
- 7 画面拡大による高齢者のためのポインティング操作支援手法に関する研究 ○小川景子、伊藤久祥、伊藤憲三(岩手県大)
- 歩行リハビリ支援システム
 - ○奥田伸二, 久原政彦, 伊藤 誠 (中京大), 佐藤 久 (山梨県障害者相談所), 古川 進 (山梨大)
- 9 Google Maps を利用した調査支援システムの開発
 - ○泉由香利,近江一成, Oky Dicky A. PRIMA, 伊藤憲三(岩手県大)

学生セッション [2Y 会場] (3月10日(火) 14:30~17:00)

入出力インタフェース 座長 三浦 元喜(北陸先端大)

- タッチセンサ入力に操作感を付与する効果音についての諸考察 ○渡辺北斗 (立命館大), 木村朝子 (立命館大/JST), 柴田史久, 田村秀行 (立命館大)
- 2 Top-AttachableToolDevice: 先端部が着脱可能な新しい道具型デバイス
 ○福田健悟(立命館大)、木村朝子(立命館大/JST)、
 - ○福田健悟(立命館大),木村朝子(立命館大/ JST), 柴田史久,田村秀行(立命館大)
 - 加速度センサを用いた文字入力方式の研究
 - ○覚野哲宏, 須藤 智, 恩田憲一(尚美学園大)
- 4 音声による Web リンク選択インタフェースの検討
 - ○秋元啓孝, 中野鐵兵, 小林哲則 (早大)
- 5 円周分割入力方式における入力切り替え方式の検討
 - ○木村祐希, 伊藤久祥, 伊藤憲三 (岩手県大)
- 6 Rough Selecting: 直接指示とボタン入力を組み合わせたアイコン選択手法 ○藤原仁貴, 田中二郎, 志築文太郎 (筑波大)
- 7 赤外線方式タッチパネルにおける接触面積を利用した押し込み操作の 基礎検討 ○内藤真樹、志築文太郎、田中二郎(筑波大)
- 8 ソフトウェアの同時・協調入力対応用システムの研究
 - ○望月順一, 天野直紀(東京工科大)
- キーボードのみで快適な操作が可能な Web ブラウザ UI の設計と実装 ○豊田義純、佐藤 喬、多田好克(電通大)

学生セッション [3Y 会場] (3月11日(水) 9:30~12:00)

アンビエント・インタフェース 座長 田村 弘昭(篠田プラズマ)

- 身の回りのモノでアクセスする情報の適合度比較
 - ○森岡恭司,徳永幸生,杉山 精 (芝浦工大),飯塚重善 (NTT)
- 2 顔追跡による音環境可視化システムのアウエアネスの改善
 - ○久保田祐史, 白松 俊, 駒谷和範, 尾形哲也, 奥乃 博(京大)
- 3 知能化空間におけるプロジェクタによる人間中心型インタフェースの提案 ○岡村龍弥、櫻井隆平、李 周浩(立命館大)
- 4 Web ブラウザを用いた照明制御ユーザインターフェース
 - ○秋山寛敏, 三木光範, 廣安知之(同志社大)
- 電子コンパスを用いたコンテンツ閲覧及び街探索ゲームの提案と実践 ○土橋美佐、小川克彦(慶大)
- 6 車窓の情報風景:沿線情報プラットフォーム
 - ○伊藤可久,小川克彦 (慶大)
- 7 空中描画を利用した空間タッチセンサの構築 〇山瀬康弘(立命館大)
- 8 RFID を用いた清掃支援システム
 - ○香川勇大, 土本善裕, 大久保雅史(同志社大)
- 9 頂点推定による ARToolKit マーカの推定
 - ○佐々木祐也, 矢内雅浩, 岡田至弘 (龍谷大)

学生セッション [4Y 会場] (3月11日(水) 15:30~17:30) AR & VR 座長 天目 隆平(立命館大) 選択・移動操作に適したピンセット型デバイスの操作性評価と考察 ○新田孝宏, 上坂晃雅 (立命館大), 木村朝子(立命館大/JST), 柴田史久, 田村秀行(立命館大) 2D/3D 空間での描画操作に適した筆型デバイスの開発 ○塚平将司,大槻麻衣(立命館大), 木村朝子(立命館大/JST), 柴田史久, 田村秀行(立命館大) 机上と壁面を併用する実世界指向電子作業空間 (1) - 全体構想 -○渡辺匡哉,藤田誠司(立命館大), 木村朝子(立命館大/JST), 柴田史久, 田村秀行(立命館大) 机上と壁面を併用する実世界指向電子作業空間(2)-システム構成と システムの試作 -○藤田誠司,渡辺匡哉(立命館大), 木村朝子(立命館大/JST), 柴田史久, 田村秀行(立命館大) 身体表象と実像を関連付ける人形型インタフェースの開発 ○内藤 慧,鈴木健嗣(筑波大) 大画面上コンテンツの指差し操作を補助するビジュアルフィードバック 手法の実装・評価 ○國保将則,中村明順,新井イスマイル,西尾信彦(立命館大)

車椅子利用者のための協調型観光支援システムの提案

○米田信之, 市川 尚, 窪田 諭, 阿部昭博(岩手県大)

視線情報とオートナビゲーションを利用した3次元HCI

○古川拓弥, 高丸尚教, 山本千恵(中部大)

局所不変特徴量を用いた屋外 MR トラッキング法の高速化と安定化 ○樋下 航, 天目隆平, 柴田史久, 田村秀行 (立命館大), 武富貴史,佐藤智和,横矢直和(奈良先端大)

学生セッション [5Y 会場] (3月 12日 (木) 9:30 ~ 12:00)

コミュニケーション支援 座長 村田 和義 (京都工繊大)

1 1bit シグナル通信によるコミュニケーションの誘発

○大垣史迅, 鈴木健嗣(筑波大)

自働会話システムにおけるフォントによる感情表現の効果

○野原雄紀, 徳永幸生, 杉山 精 (芝浦工大), 米村俊一 (NTT), 大谷 淳 (早大)

"●"プロンプタを用いるコミュニケーションシステムにおける 表現特性の分析 ○飯田真也, 徳永幸生, 杉山 精(芝浦工大), 米村俊一 (NTT), 大谷 淳 (早大)

コミュニケーションにおける会話特性に着目した顔構成要素の役割 ○花田 研 (芝浦工大), 米村俊一 (NTT),

徳永幸生, 杉山 精(芝浦工大), 大谷 淳(早大)

直感的操作とコミュニケーション支援を可能にする知育ソフトウェアの開発 ○吉澤周吾, 西原秀明, 芳賀博英, 金田重郎 (同志社大)

Fixation map による運転者と同乗者の注意状況比較

○金田哲広, 間瀬健二, 梶田将司, 平野 靖(名大)

パーソナルテンポを基とした音響リズム支援による会話支援システム ○延谷直哉, 仲谷善雄(立命館大)

個性を持つ衣服と人とのファッションコーディネートに向けた コミュニケーション支援 ○米澤友里, 仲谷義雄(立命館大)

Sympathy Mouse: 新しい情報発見を促すインタフェース

○代蔵 巧(はこだて未来大)

学生セッション [6Y 会場] (3月12日(木) 14:30~16:30)

座長 大島 千佳 (NICT/ATR)

中国ダイ民族舞踊の下半身動作におけるリズム感判定のための基礎的検討 ○周 寧寧, 松田浩一, 郡 未来(岩手県大)

伝統工芸品プレゼンテーションのための 3D モデル化と感性検索法 ○大澤博子, 柴田義孝 (岩手県大)

イメージ分布の可視化に基づく感性デザイン手法の提案

○中間 匠, 木下雄一朗 (山梨大)

4 フラクタルを用いた形の複雑さが人の感性に及ぼす影響

○東郷晃也、大久保雅史(同志社大)

HMM による時季情報を導入した衣服のコーディネート生成手法

○小杉涼夏, 赤羽根隆広, 木村紗耶香, 海上 隆, 荒井正之(帝京大)

6 プレミアムユーザインタフェースのモデル化

○田中絢子, 立石可奈, 中道 上, 青山幹雄 (南山大)

7 インタラクションデザインにおける「動きのスケッチ」支援システムの提案 ○矢部裕亮, 徳永幸生, 杉山 精(芝浦工大),

杉崎正之、望月崇由(NTT レゾナント)

8 水とのインタラクションを利用した音楽表現システムの提案 ○趙 慧寧、木下雄一朗(山梨大)

学生セッション [12 会場] (3月10日(火)9:30~12:00)

アニメーション 座長 古谷 雅理 (農工大)

実映像の人物動作推定によるキャラクターアニメーション作製支援 ○水野克哉,柏崎礼生,高井昌彰(北大),高井那美(北海道情報大)

3D キャラクターモデルの頭髪における骨格線の生成

○渡辺嘉政, 白井靖人(静岡大)

異なったボーンウェイトを持つモーションのブレンド手法

○立川正人, 渡辺大地 (東京工科大)

直感的 3D キャラクター動作生成手法の一検討

○今野 瞳,青木輝勝,沼澤潤二(東北大)

スケッチインターフェースを用いたデータベースからの動作データ生成手法 ○貝原亮太,瀧 祐也,齋藤 豪,中嶋正之(東工大)

簡便にスケッチした人型2次元キャラクターの3次元姿勢推定手法 ○瀧 祐也, 貝原亮太, 齋藤 豪, 中嶋正之 (東工大)

映画 PreViz のための CG アクションシーンの編集・生成 (1) - 空間的制約を考慮したアクションの半自動調整 -

○菊池佳保理,藤本純一,天目隆平,柴田史久,田村秀行(立命館大)

映画 PreViz のための CG アクションシーンの編集・生成 (2)

―基本要素の接合による剣戟アクションの合成―

○岡本夏実, 天目隆平, 柴田史久, 田村秀行(立命館大)

多視点画像を対象とした拡張 TIP による屋内ウォークスルーの実現 ○犬丸秀人, 前田眞一郎, 相井孝仁, 岡田至弘 (龍谷大)

学生セッション [2Z 会場] (3月 10日 (火) 14:30~17:00)

白然珇象 座長 柿本 正憲(日本SGI)

多重散乱を考慮した海面の高速レンダリング

○角田賢亮, 岩崎 慶, 吉本富士市(和歌山大)

GPU を用いた粒子ベース氷塊融解シミュレーションの高速化

○内田英行, 上田悟史, 岩崎 慶, 吉本富士市(和歌山大)

風を考慮した降雪・積雪情景の表現

○小板橋礼佳, 松原典子, 森谷友昭, 高橋時市郎 (電機大)

繁殖シミュレーションに基づく草原生成

○中島和哉, 北嶋克寛, 赤木康宏 (農工大)

二次元オブジェクトの自発的変形モデルの提案

○嶋田憲央, 田村信介, 柳瀬龍郎, 谷口秀次(福井大)

リアルタイム 3DCG における位相変化を考慮した弾性体の挙動表現に 関する研究 ○海上一徳, 渡辺大地 (東京工科大)

非線形性を考慮したモード解析 - 従来手法との比較 -

○藤井祐司, 吉田典正, 神田 亮 (日大), 新谷幹夫 (東邦大)

時空間投影画像を用いた植物の初期生長量の抽出

○楠岡真理子(農工大),七夕高也(農業生物資源研),

古谷雅理(農工大), 宮村(中村)浩子(JAEA), 斎藤隆文(農工大)

3次元 CAD による仮想年輪素材の作成と特徴ある年輪カット模様を 備えた立体像の創出 ○尾林智美,棚橋純一(中京大)

学生セッション [3Z 会場] (3月11日 (水) 9:30~12:00)

CG と可視化 座長 中村 徳裕(東芝)

多次元数値データ可視化解析ツール Time-tunnel による Web 上の データ可視化 ○岡嶋成司,岡田義広(九大)

深い階層情報に対応する円状配置を用いたアクセスログの詳細度制御付き 可視化システム ○細田英幸, 牧野光則 (中大)

つぶつぶ表現:カテゴリデータ分析のための視覚的表現手法

○白石宏亮, 三末和男, 田中二郎 (筑波大)

生体試料を対象とした電子顕微鏡断層像の3次元可視化

○山下主税, 西尾孝治, 小堀研一(阪工大)

医薬品パッケージの類似性の検出と可視化

○安本聖理奈, 古谷雅理 (農工大),

宮村(中村)浩子(JAEA),斎藤隆文(農工大)

6 MPU 法による地球シミュレータデータの補間と圧縮 - 海温分布への適用 -○伊藤 慎, 片岡慎二, 塚本勇介 (立命館大),

長谷川恭子 (JST), 仲田 晋, 田中 覚 (立命館大)

7 Volume MPU 法を用いた格子構造に依存しないデータ補間

○塚本勇介, 片岡慎二, 伊藤 慎(立命館大),

長谷川恭子 (JST), 田中 覚, 仲田 晋 (立命館大)

多重スケール解析を用いたペン画調画像生成

○渡邊真宏, 古谷雅理 (農工大),

宫村(中村)浩子(JAEA),斎藤隆文(農工大)

サンドアート風画像生成法

○舛田健太, 島影佳範, 高橋時市郎 (電機大)

学生セッション [5Z 会場] (3 月 12 日 (木) 9:30 ~ 12:00)

モデリング 座長 三浦憲二郎 (静岡大)

バブルメッシュ法を用いた 3D スキャナーデータの再メッシュ化

○佐藤和弥, 渡辺大地 (東京工科大) 2 3D スキャンデータを対象とする圧縮率操作手法の開発

○大槻勇貴,森 正壽(近畿大)

実世界指向の 3D 形状データ変換手法の提案

○土肥雅志, 三谷 純, 福井幸男, 西原清一 (筑波大)

SLIM 曲面を用いた立体集合演算の一手法

○井口恒志, 西尾孝治, 小堀研一(阪工大)

立体モデルの局所変形

○直江尚範, 伊藤 誠(中京大), 古川 進(山梨大)

多項式曲線の曲率単調性の確認手法について

○片山諒一, 吉田典正 (日大), 斎藤隆文 (農工大)

GPU を用いた簡略化形状の高速生成手法

○谷口智昭(阪工大),金谷孝之(広島国際大),

西尾孝治, 小堀研一(阪工大)

GPU を用いた点群データの高速描画

○粟野直之, 西尾孝治, 小堀研一(阪工大)

9 (講演取消)

学生セッション [6Z 会場] (3 月 12 日 (木) 14:30 ~ 16:30)

CG システム 座長 三ッ峰秀樹 (NHK 技研)

歴史的町並み復元のための大名屋敷の対話型復元手法

○高橋 慧, 佐久間昭夫, 安ベヌア友章 (電機大),

勝村 大 (インクス), 谷村知洋 (コーエー), 高橋時市郎 (電機大)

Occlusion-Culling による大規模な江戸の町並みの高速表示

○安ベヌア友章, 高橋時市郎 (電機大)

ハプティックデバイスを用いたバードカービングシステムの開発

○岸田祐樹, 三浦憲二郎 (静岡大)

仮想試着実現のための布シミュレーション演算軽量化に関する一検討 ○森 由有,青木輝勝,沼澤潤二 (東北大)

三次元ウェディングドレスモデルの作成支援及びグレーディング システムに関する研究 ○橋本剛幸,北嶋克寛,赤木康宏(農工大)

凧デザインのためのインタラクティブシミュレーションシステムの開発 ○岡本太一, 三浦憲二郎 (静岡大)

2次元画像からのレリーフ作成 ○山崎翔平, 古谷雅理 (農工大), 宫村(中村)浩子(JAEA),斎藤隆文(農工大)

Hybrid Images を用いた掲示板とその評価

○米島 葵, 古谷雅理 (農工大),

宮村 (中村) 浩子 (JAEA), 斎藤隆文 (農工大)

学生セッション [1ZA 会場] (3月10日(火) 9:30~12:00)

VR システム 座長 小川 剛史 (東大)

1 ディジタルミラーの開発 ○伊藤秀樹, 橋本周司(早大)

2 実写とアバターを用いたウォーキング支援システムの開発

○上前和也, 大久保雅史 (同志社大)

可搬型 MR-PreViz 撮影合成システムの開発

○露無將斗,一刈良介, 天目隆平, 柴田史久, 田村秀行(立命館大)

モバイル複合現実感システムのための機能分散型フレームワーク (1) - 複合現実空間を共有できるフレームワークの設計 -

> ○山下智紀, 田中和哉, 柴田史久 (立命館大), 木村朝子(立命館大/JST), 田村秀行(立命館大)

5 モバイル複合現実感システムのための機能分散型フレームワーク(2) - スクリプト言語を用いたコンテンツ制御機構の設計 -

> ○荒川祥太朗, 柴田史久 (立命館大), 木村朝子(立命館大/JST), 田村秀行(立命館大)

6 複合現実感による防災・救命訓練システム

○木村公美, 岩倉寛幸, 柴田史久 (立命館大), 木村朝子(立命館大/JST), 田村秀行(立命館大)

分散仮想環境における Revision Tree を用いた非同期協調作業支援システム ○小笠原弘樹, 柴田義孝 (岩手県大)

仮想化現実を利用した移動ロボットの適応的遠隔操作

○大垣史迅, 鈴木健嗣 (筑波大)

テレオペレーションにおける自然な把持動作のためのハプティック インタフェース開発 ○明石融貴,金安晃宏,李 周浩(立命館大)

デモセッション [デモ会場]

デー05 (3月12日 (木))

読影レポート作成作成支援システム ○山根洋平(富士ゼロックス)

(コンピュータと人間社会)

一般セッション [1G 会場] (3月 10日 (火) 9:30~12:00)

教育支援システム・教育実践 座長 辰己 丈夫(農工大)

出欠データと学習データを用いた学生の修学傾向分析

○伊藤宏隆, 堀江 匠, 舟橋健司, 内匠 逸, 松尾啓志 (名工大)

記述式試験採点支援システムを用いた採点後配点決定支援システム ○宮原隆行 (上武士)

きめ細かな学生指導を目指した単位集計ソフトの開発と適用

○堀田裕中(富山短大)

携帯電話を文字入力デバイスとして用いた文字入力練習システムの検討 ○吉岡 亨, 飯倉道雄, 樺澤康夫 (日本工大)

小規模大学における「e-learning | 授業の試み

○阿部一晴 (京都光華女子大)

シミュレーション型ゲーム教材と Web フォーラムを活用した 学校間交流学習プログラムの実践

○稲葉竹俊, 松永信介, 坂本友里 (東京工科大)

シミュレーション型ゲーム教材をグループ学習に活用することの効果 ○松永信介, 稲葉竹俊, 坂本友里 (東京工科大)

一般セッション [2G 会場] (3月10日(火) 14:30~17:00)

教育方法・教育システム 座長 大即 洋子(清和大)

大学におけるカンニング / 不正行為抑止システムのモデル化の試み ○藤本貴之(東洋大), 松尾徳朗(山形大)

大学教育における Debian Live システムの活用と実践例

○鈴木治郎, 松本成司(信州大)

映像と資料の対応付けによる複合コンテンツ作成支援システムの開発 ○横前拓磨, 高 宗實, 井口信和, 越智洋司, 向井苑生(近畿大)

情報共有による図書推薦機能を有する読書活動支援システム

○鍋島尚子(東京学芸大附属世田谷中), 松山 恵, 莫日根達来 (東京学芸大), 野中三恵子,

扇田浩水 (東京学芸大附属世田谷中), 宮寺庸造, 横山節雄 (東京学芸大)

ワークフローにもとづく直感的な授業支援型インターフェイス

○植木泰博, 冬木正彦 (関西大)

情報リテラシー授業における技能評価を含むオンライン定期試験

○古川文人, 渡辺博芳, 佐々木茂, 及川芳恵,

高井久美子, 熊澤弘之(帝京大)

全国 18 国立大学法人を結ぶ HD 対応遠隔講義システムの展開 ○櫻田武嗣, 萩原洋一, 青木教明 (農工大)

一般セッション [3G 会場] (3月11日(水) 9:30~12:00)

人文科学 座長 小方 孝 (岩手県大)

線分交叉を伴う系図表示の基礎的研究 - 人文研究が求める表現 -○生田敦司、柴田みゆき (大谷大)、齋藤 晋 (地球研)、

杉山正治(立命館大), 宮下晴輝(大谷大)

線分交叉を伴う系図表示の基礎的研究 - 既存の系図表示アプリケーションの ○柴田みゆき (大谷大), 杉山正治 (立命館大),

齋藤 晋(地球研), 生田敦司, 宮下晴輝(大谷大)

線分交叉を伴う系図表示の基礎的研究 - 線分交叉の前提と定式化に 関する考察 -○杉山正治 (立命館大), 柴田みゆき,

生田敦司 (大谷大), 齋藤 晋 (地球研), 宮下晴輝 (大谷大)

- 4 線分交叉を伴う系図表示の基礎的研究 系図表示を支えるデータベース 設計について - ○齋藤 晋 (地球研), 柴田みゆき, 生田敦司 (大谷大), 杉山正治 (立命館大), 宮下晴輝 (大谷大)
- 5 モーションキャプチャを用いた日本伝統芸能における歩行動作の特徴量抽出 ○崔 雄、関口博之、鶴田清也、八村広三郎(立命館大)
- 6 博物館における Web 映像コンテンツの視聴スタイルに関する調査 ○寺坂尚浩,杉山岳弘(静岡大)
- 一般セッション [4G 会場] (3月11日(水) 15:30~17:30)

ソフトウェア開発教育・各分野の教育(1) 座長 立田 ルミ (獨協大)

- 1 実践的システム開発演習のための教材開発とその評価
 - ○竹沢 恵, 真田博文, 岡崎哲夫 (北海道工大), 山野孝則 (HBA)
- 2 類推思考活動を主とした効果的なソフトウェア工学教育理論の開発 ○松尾徳朗(山形大),藤本貴之(東洋大)
- 3 訴訟プロセスに基づく法的弁論教育システム
 - ○角田篤泰, 富崎おり江(名大)
- 4 色彩理論に基づく英単語語源学習システム
 - ○金久保正明, 增田加世(静岡理工科大)
- 5 医学における画像診断教育のための学習管理機能について
 - ○小柏香穗理, 浜本義彦, 藤田悠介, 室川和也, 米田晴彦, 齋藤真理, 西川 潤, 寺井崇二, 坂井田功 (山口大)
- 6 心に残る名言を学習するシューティングゲーム
 - ○金久保正明, 本多真二 (静岡理工科大)
- 一般セッション [5G 会場] (3月 12日 (木) 9:30 ~ 12:00)

プログラミング教育 座長 長 慎也 (一橋大)

- 1 初等教育でのプログラミング学習における教員支援のための学習状況の 視覚化 〇野村俊太,高田秀志,大東和忠幸(立命館大)
- 2 Java による GUI プログラミング実習
 - ○林 恒俊, 榊原一紀(立命館大)
- 3 オブジェクト指向プログラムの静的・動的側面を視覚化するプログラミング 教育支援システム ○大城正典、永井保夫(東京情報大)
- 4 オブジェクト指向教育のためのモデリングならびにプログラミング教材の 検討 ○永井保夫,大城正典(東京情報大)
- 5 言語処理系教育支援ツール ○林 恒俊 (立命館大)
- 6 SIEM を活用した教室形状の違いによるモチベーション分布の可視化 ○土肥紳一、宮川 治、今野紀子(電機大)
- 一般セッション [6G 会場] (3月 12日 (木) 14:30~16:30)

情報危機管理教育・各分野の教育(2) 座長 西田 知博(大阪学院大)

- 1 パスワードに関する教育とその効果 〇八城年伸(安田女子大)
- 2 工業高専における知的財産教育 発明の思想化を重視した実践 -○福本 徹(国立教育政策研), 宮川洋一(長野県教育センター)
- 3 情報モラル教育(1)-情報モラルへの年少児の親の実態-
 - ○馬場伊美子, 大西文行, 坂元 昂 (東京未来大)
- 4 デジタル絵本を介した金融授業の試み

○西澤美希, 山田萌香, 稲葉竹俊,

松永信介 (東京工科大), 井田浩一 (りそな銀行)

- 5 聴覚障がい児のための短期記憶 WBT 教材の開発
 - ○山田萌香, 松永信介, 稲葉竹俊 (東京工科大), 濱田豊彦, 大鹿 綾 (東京学芸大)
- 一般セッション [1H 会場] (3月 10日 (火) 9:30~ 12:00)

意思決定支援とデータ分析 座長 鷲崎 早雄(静岡産業大)

- 1 一般市民の政策評価ための Web ベース意志決定支援システムの構築 ○薄井智貴,三輪富生,山本俊行,森川高行(名大)
- 2 (講演取消)
- 3 オフィスビルにおける省エネ支援のためのデータ活用事例
 - ○平田飛仙, 菅野幹人, 高山茂伸 (三菱)
- 4 プロパティマネジメント業務におけるデータ分析支援機能の体系化
 - ○藤沢英軌(NTT ファシリティーズ)
- 5 人口密度分布に対するポテンシャル解析の適用 ○梅川通久 (京大)
- 一般セッション [2H 会場] (3月 10日 (火) 14:30 ~ 17:00)

業務分析と情報セキュリティー 座長 南波 幸雄 (産業技術大)

- 1 業務分析による業務・システムの改善事例とその評価
 - ○相馬仁志, 武曽 徹, 村澤 靖 (三菱)

- 2 状態遷移を用いた業務イベント抽出方式の提案
 - ○米田貴雄, 小川康志, 細川武彦 (三菱)
- 短時間でのインシデント処理を要するシステムの構築方式(1)
 - 障害検出・復旧方式 ○大塚 亮 (三菱)
- 4 短時間でのインシデント処理を要するシステムの構築方式 (2) - 障害対応手段の決定 - ○佐藤雅之 (三菱)
 - 障害内心子权の依定 ○ 位藤郁心 単科大学における情報セキュリティポリシーの策定と運用
 - ○石坂 徹, 高木 稔, 早坂成人, 石田純一, 刀川 眞(室蘭工大)
- 一般セッション [3H 会場] (3月 11日 (水) 9:30~ 12:00)

医療分野への応用(2) 座長 田中 充(岩手県大)

- 1 ベッド上の人の起き上がり動作の検知を目的とした、センサ情報処理の検討 ○松村成宗, 茂木 学, 山田智広, 武藤伸洋(NTT)
- 2 チャット式哀情報収集機能の評価実験
 - ○野地 保, 久保壮史, Jaruwan Puttikarukot (東海大)
- 3 盲目者支援自立型音声ナビシステムの連携方式
 - ○ジュタマス パンウィライ, 野地 保 (東海大)
- 4 広域医療連携システムにおける多次元方式の比較検証
 - ○有野真史, 野地 保 (東海大)
- 5 再生医療物流システムの開発 ○太田延之, 橋本博文(日立)
- 一般セッション [4H 会場] (3 月 11 日 (水) 15:30 ~ 17:30)

医療分野への応用(3) 座長 松田 浩一(岩手県大)

- 1 血管新生観察のための超小型体内顕微鏡カメラの開発
 - ○井上雄介,中川英元,斎藤逸郎,磯山 隆, 三浦英和,河野明正,小野俊哉,時 偉(東大),
 - 岸亜由美(北里大), 井街 宏(東北大), 阿部裕輔(東大)
- 2 代表スライス法による全身 CT 画像と全身 MRA 画像の粘性流体位置 合わせの省力化 ○徳久宗一郎,金子邦彦(九大)
- 3 性感染症防御における接触抑制の有用性の検討
 - ○向坂幸雄, 高尾有香, 岩村幸雄 (茨城県医療大),
 - 横山典侑, 泰中啓一(静岡大)
- 4 生活習慣の継続的モニタリングと行動変容に応じた健康改善サービスの 実践的検証 ○富樫 敦,吉田俊子(宮城大),
 - 柴田宗一(宮城県立循環器・呼吸器病センター)。
 - 瀬戸初江 (東北厚生年金病院).

山田智子(仙台応用情報学研究振興財団/宮城大),

- 板橋吾一 (サイエンティア)
- 5 遠隔型健康福祉サービスによる生活習慣の継続的モニタリングに関する 実践研究 ○瀬戸初江,千葉浩子,荒井朱美,阿部眞秀,
 - 遠藤 実 (東北厚生年金病院), 板橋吾一 (サイエンティア), 山田智子 (宮城大/仙台応用情報学研究振興財団),
 - 吉田俊子, 富樫 敦(宮城大)
- 一般セッション [6H 会場] (3月 12日 (木) 14:30 ~ 16:30)
 - 情報システムのインタフェース 座長 高田 喜朗(高知工科大)
- 1 初期官報バックナンバー閲覧システムの開発
 - ○山澤 聡, 稲葉真人 (日大), 北村正光 (龍渓書舎), 日下由紀夫 (東総システム), 野牧賢志, 夜久竹夫 (日大)
- 2 携帯情報端末によるスポーツ観戦メタデータの抽出
 - ○大平茂輝,長尾 確(名大)
- 3 SOA フロントエンド開発を簡易化する UI 統合方式
 - ○毛利悠美子,馬場昭宏,塚本良太,吉村礼子,山足光義(三菱)
- スクリーンラッピングサービスの監視および影響分析の提案
 - ○小川康志,吉村礼子,馬場昭宏,山足光義(三菱)
- 5 画像処理システムの検討 スペクトル画像・可視化科学数学・重力加速度・ グラフ - ○今井幸雄(東海大)
- 6 地域振興促進を目的とした観光情報システム
 - ○松尾徳朗, 齋藤義人 (山形大), 藤本貴之 (東洋大)
- 学生セッション [2ZA 会場] (3月 10日 (火) 14:30~17:00)

情報社会を支える技術(1) 座長 金田 重郎(同志社大)

- 1 認知と学習プロセスに基づくオークションヘルプシステム
 - ○小澤 潤, 松尾徳朗(山形大)
- 2 個人向け情報配信システムにおける文字情報のフィルタリングに関する 研究 ○遠藤洋記、平田孝志、樋上喜信、小林真也(愛媛大)

- 3 特定分野・事業の文書集合を利用したニュース記事収集システムの提案 ○鈴木康祐、岡本 東、堀川三好、菅原光政(岩手県大)
- 4 折込チラシの Web 化による次世代広告の提案

○目片寛之(大阪経済大)

- 5 携帯電話を利用した個人向け情報配信システムにおける情報のランク付け ○矢野健太郎、平田孝志、樋上喜信、小林真也(愛媛大)
- 6 地域の人材を活用した生涯学習マッチング支援システムの構築

○小澤慶子, 朽木 拓, 原卑弥子,

山田敬三,田中 充,佐々木淳(岩手県大) 自己回帰モデルに基づく電力使用量予測を用いた電力監視システムの開発

- 7 自己回帰モデルに基づく電力使用量予測を用いた電力監視システムの開発 ○高木博宣,藤井雅弘,渡辺 裕(宇都宮大)
- 8 複雑なサービスシステムの性能評価
 - ○岩田康伸, 奥田隆史, 井手口哲夫, 田 学軍(愛知県大)
- 9 寒冷時における自動水落とし報知システムの開発

○早坂洋平, 皆月昭則(釧路公大)

学生セッション [3ZA 会場] (3月11日 (水) 9:30~12:00)

情報社会を支える技術(2)

座長 辻 秀一(東海大)

- 1 ワンルーム型居住空間における家具配置支援システム
 - ○竹島舞依子,波多野賢治(同志社大)
- 2 他者の意見を反映した洋服コーディネート推薦システム

○武井万恵,波多野賢治(同志社大)

- 3 画面表示の変化を撮影することによる座席位置特定手法の実装と検証 ○瀬高昌弘,天野直紀(東京工科大)
- 4 超音波センサを用いた顧客動態計測システムの開発

○加藤圭吾, 土橋裕樹, 阿部武彦 (金沢工大), 田嶋拓也 (石川高専), 木村春彦 (金沢大)

- 5 顧客参加型観光情報システムの提案
 - ○鈴木裕介, 堀川三好, 岡本 東, 菅原光政 (岩手県大)
- 6 Web 地図インタフェースを活用した CGM サイト構築と集合知の社会応用 ○小室匡史、柳澤 剣、松永賢次、綿貫理明(専修大)
- 7 商店街を対象としたマーケティング分析システムの提案

○野中大志郎,堀川三好,岡本 東,菅原光政(岩手県大)

- 8 (講演取消)
- 9 ソーシャルレンディングにおける返済促進のためのインセンティブメカニズム ○岩上将史、伊藤孝行(名工大)

学生セッション [4ZA 会場] (3 月 11 日 (水) 15:30 ~ 17:30)

組織の情報システム 座長 市川 照久(静岡大)

- 1 企業の戦略における価値的合理性の評価導出システムの開発と実験的検討 ○槙 拓也,本寺康晃,柿崎達哉,皆月昭則(釧路公大)
- 2 XBRL を用いた財務諸表解析支援ツールの構築

○清遠友貴 (同志社大)

- 3 (講演取消)
- 4 Goal-Based Scenario 理論に基づいた企業内研修向け e ラーニング教材の 開発と実践 ○坂本友里、稲葉竹俊、松永信介(東京工科大)、 小松原勝也(メディセオ・パルタックホールディングス)
- 5 道路維持管理システムにおける長期運用データの GIS を用いた分析 ○小澤田貴泰、窪田 論、市川 尚(岩手県大)、

加藤 誠, 小田島直樹 (小田島組), 阿部昭博 (岩手県大)

- 6 道路維持管理業務支援システムにおけるデータマイニングとその評価
 - ○一瀬邦継(同志社大),中西正樹(京都府山城広域振興局), 寺田守正(京都府流域下水道事務所),

藤澤裕樹, 吉澤憲治, 金田重郎 (同志社大)

学生セッション [5ZA 会場] (3 月 12 日 (木) 9:30 ~ 12:00)

防災と情報 座長 畑山 満則 (京大)

- 1 移動端末と DTN ルーティング手法を用いた災害情報システム ○陶山優一,横田裕介,大久保英嗣(立命館大)
- 2 想定外事象の自動生成機能を持つ災害時事業継続支援システム
- ○川村誠吾,仲谷善雄(立命館大)
- 3 災害時に有効な気球ワイヤレスネットワークの構築および性能評価 ○旭澤大輔,河野康裕,佐藤剛至,谷津啓介,柴田義孝(岩手県大)
- 4 (講演取消)
- 5 自転車を用いた被災状況収集支援システムと SRK モデルに基づく ユーザ支援 ○森川直哉、仲谷善雄(立命館大)

- 6 ユーザの生活時間帯に対応した緊急地震速報インターフェースの開発 ○河野彩光代,皆月昭則(釧路公大)
- 7 大規模災害情報提供システムにおけるユーザビリティを考慮した インターフェースの提案 ○田面木優子、柴田義孝(岩手県大)
- 8 地震災害関連情報の分析に基づく風評被害対策に関する考察
 - ○須藤一弘,長尾光悦(北海道情報大),大内 東(北大)
- 9 個人の生活環境を考慮した防災教育システム

○山本知彦, 仲谷善雄(立命館大)

学生セッション [6ZA 会場] (3 月 12 日 (木) 14:30 ~ 16:30)

行動支援とインタフェース 座長 刀川 真 (室蘭工大)

- 先延ばし習慣の減少を目的とした行動支援システムの提案
 - ○徳田義幸, 徳田英幸, 高汐一紀, 橋爪克弥 (慶大)
- 2 個人別活動記録の分析に基づくエネルギー節約

○寺山崇仁, 原田史子, 島川博光 (立命館大)

- 8 超音波センサによる浴室内転倒検知システム
 - ○門野祐紀, 土橋裕樹, 阿部武彦 (金沢工大),

田嶋拓也(石川高専), 木村春彦(金沢大)

4 学生コミュニティのネットワークを活用した、相互的な情報伝搬方式による機器の機能や操作普及実験 ○小山恭平(東京工科大)、

田丸恵理子 (富士ゼロックス), 上林憲行 (東京工科大)

- 6 複合機ユーザーの行動理解プログラムの人間中心設計による開発を通じた 効率的な開発フレームの考察 ○松田 彬 (東京工科大), 田丸恵理子, 三浦 均, 佐藤悦志 (富士ゼロックス), 上林憲行 (東京工科大)
- 6 マイページシステムによる情報通知方法の改善結果の報告

○相笠直子, 山口治男 (東京工科大)

学生セッション [1ZB 会場] (3月10日(火) 9:30~12:00)

情報教育方法論・教育支援システム 座長 坂東 宏和(桜美林大)

- | 試験対策スケジュールビルディングシステムの構築
 - ○齋藤洋一, 佐藤大希 (釧路公大)
- 2 知識を介して科目関係の提示を図る学習カルテシステム
 - ○池田悠樹,加藤 桂,山川広人,立野 仁,小松川浩(千歳科技大)
- 3 素材再利用のための効果的なメタデータ付加方法に関する研究

○千葉華子, 藤澤公也 (東京工科大)

- 学生の情報共有・交換方法としての Wiki の効果
 - ○村木 翔, 美馬義亮(はこだて未来大)
- 5 高等学校の協同学習を対象としたグループ編成支援システムの試作

○佐々木道史, 曽我和哉, 市川 尚, 窪田 諭, 阿部昭博(岩手県大)

- 6 教育用資料を対象とした検索結果の表示方法に関する研究
 - ○柴田ちひろ (東京工科大)
- 7 講義前の情報提供が学習に与える影響 ノートテイキングの内容欠落を 防ぐサポート方法の提案 - ○安 晴香,中村太戯留(東京工科大), 田丸恵理子(富士ゼロックス),上林憲行(東京工科大)
- 講義後の作問学習の効果的な活用に関する検討
 - コーネル式ノートテイキング法の反復学習効果 -

○藤井多聞,中村太戯留(東京工科大),

田丸恵理子(富士ゼロックス). 上林憲行(東京工科大)

- 9 ノートテイキングにおける誤情報の発見と修正に関する研究
 - 作問を利用したグループ学習による効果測定 -

上野 歩,三浦正輝,弥富健太,中村太戯留(東京工科大), 田丸恵理子(富士ゼロックス),上林憲行(東京工科大)

学生セッション [2ZB 会場] (3月 10日(火) 14:30~17:00) プログラミング教育・ロボット・動画・仮想空間を用いた教育

座長 鎌田 敏之 (愛知教育大)

- 1 プログラミング教育への導入のための情報システム概念に基づく アンプラグドワークショップの実践と評価 ○荒木 恵 (慶大), 松澤芳昭 (静岡大), 杉浦 学, 大岩 元 (慶大)
- 2 文系学生向けプログラム言語学習における「発想 創造」過程を含む 学習コンテンツの開発
 - ○千代谷典広,槙 拓也,森谷智史,皆月明則(釧路公大)
- 3 知能情報系独立大学院における課題達成型プログラミング教育の 自己評価に関する分析 ○岡本雅子(京大),小野 功,木賀大介, 寺野隆雄,山田隆志,小山友介(東工大),森 幹彦,喜多 一(京大)
- 4 e-Learningシステムを利用したプログラミング学習の効果について ○前島 司,大森雄太,佐藤佑紀,鈴木拓哉,内田智史(神奈川大)

- 7 プロジェクトベース学習を支援するアジャイル型プロジェクト管理ツール ○吉田英樹 (農工士) ○服部 淳,足立貴大,山田拓人,内藤広志(阪工大)
 - 3DCG を活用した感染症とその予防に関する e ラーニング教材の開発と評価 ○松本邦彦, 白井佑布子, 松永信介, 稲葉竹俊 (東京工科大)
 - 学習者特性に動的に適応する昆虫電子図鑑の開発

○鈴木貴大, 森早弥香, 金子瑞佳, 稲葉竹俊, 松永信介 (東京工科大)

学生セッション [6ZB 会場] (3 月 12 日 (木) 14:30 ~ 16:30)

教育システム 座長 加藤 謙一(ハイマックス)

- 電子白板を用いた授業の e-learning コンテンツ化方法の開発と評価 ○久保賢太郎, 寺田達也, 織田英人, 中川正樹 (農工大)
- 創作学習活動における創造性促進のための相互評価学習システムの提案 ○西口昌志, 大東和忠幸, 高田秀志 (立命館大)
- 項目反応理論を利用した学習者モデルにおける正答率推定手法 ○三浦裕嗣,渡辺博芳(帝京大)
- 教育支援を目的とするプロキシ型 Web アノテーションシステム
- ○大門明生,渡辺博芳(帝京大)
- 5 HMMに基づく理解状況推定による学習支援の効率化 ○興治 崇, 新井浩志 (千葉工大)
- 授業用 SNS のプラグイン開発
- ○河上哲也, 千種康民 (東京工科大), 服部泰造 (東京国際大) 二次元バーコード機能付きの紙と電子メディアを複合的に活用した教育 支援サービス (1)- 大人数講義における個人別フィードバック (e-FB) ○奈良祐輔, 浜崎友里, サービスの構築と評価 -
 - 太田 穣, 中村亮太, 上林憲行(東京工科大)
- 二次元バーコード機能付きの紙と電子メディアを複合的に活用した教育 支援サービス(2)-教育・学習形態に合わせた評価シートの設計と運用 -○浜崎友里, 奈良祐輔, 太田 穣, 中村亮太, 上林憲行 (東京工科大)

学生セッション [1ZC 会場] (3月10日(火) 9:30~12:00)

バイオ情報学と医用画像 座長 富永 大介(産総研)

- 質量分析データからの糖脂質構造予測ソフトウェアの開発
 - ○横井一仁(立命館大), 糸乗 前, 杉田陸海(滋賀大), 伊藤將弘 (立命館大)
- 機械学習に基づく嗅覚受容体のリガンド予測
 - ○小坂宏四郎, 上野恵介, 峯田克彦, 遠藤俊徳(北大)
- 多重解像度独立性検定を用いた遺伝子ネットワークの構築 ○山本隆之, 滝口哲也, 有木康雄 (神戸大)
- 患者脳 MR 画像からの脳表面構造の抽出と可視化
 - ○吉田忠弘, 加藤潤一, 松田浩一, 上野育子(岩手県大)
- MRA・MRI 断層画像における血管の入出力箇所の提示
 - ○高橋裕次郎, 松田浩一(岩手県大), 藤原俊朗(岩手医大)
- 連続体力学に基づくオンラインリメッシュ型穿刺シミュレーション ○藤井健史, 山下裕礼(立命館大),
 - 山口 哲(阪大), 田中弘美(立命館大)
- 7 連続体力学に基づくオンラインリメッシュ型変形シミュレーション ○中川智史(立命館大),山口 哲(阪大),
 - 平井慎一, 田中弘美(立命館大)
- オンラインリメッシュボリュームモデルを用いたパラメータ同期交信型 遠隔恊働環境の構築 ○山岡 励(立命館大),山口 哲(阪大), 田中孝英, 田中弘美(立命館大)

学生セッション [2ZC 会場] (3月10日(火) 14:30~17:00)

医療分野への応用(1) 座長 山口 高平(慶大)

- 1 腰・肩に着目した歩行リハビリ評価の定量化についての基礎的検討 ○澤田尚大(岩手県大)
- 2 診療所用電子カルテと栄養指導支援システムの連携機能の実装
 - ○小原朋也, 高橋克弥, 堀米 論, 田中 充,山田敬三,佐々木淳(岩手県大)

 - 栄養指導支援システムにおける記録項目カスタマイズ機能の実装と評価 ○田中伸幸, 高橋克弥, 堀米 諭,
- 田中 充,山田敬三,佐々木淳(岩手県大) 4 診療所用電子カルテと連携した在宅対応型栄養指導支援システムの開発と
- 評価 ○阿部 優, 高橋克弥, 堀米 諭, 田中 充,山田敬三,佐々木淳(岩手県大)
- 5 医療・養護施設で用いる紙媒体問診票の電子化システムの構築 ○飯沼裕也, 大枝真一 (木更津高専)

- 5 プログラミングにおけるポインタ操作を通した関数学習機能
- 6 OS 学習支援教材「港」におけるロボット遠隔操作教材の開発
 - ○外川大輔, 田邉伸一郎, 青山誠一(拓大), 西野洋介(東京都立府中工業高校),早川栄一(拓大)
- 組込みシステム学習支援環境「港」における LEGO Mindstorms NXT ○田邉伸一郎, 外川大輔, 青山誠一(拓大), 西野洋介(都立府中工業高校),早川栄一(拓大)
- 動画投稿共有サイトの教育への利用 大阪教育大学の実践例 -
 - ○尾崎拓郎, 佐藤隆士 (大阪教育大)
- 9 時系列に沿って質疑応答を蓄積・共有出来る3次元仮想講義システムの研究 ○小川哲史、塚田晃司(和歌山大)

学生セッション [3ZB 会場] (3月11日(水) 9:30~12:00)

- 座長 倉本 到(京都工繊大) 情報社会を支える技術(3)
- 1 食育サポートシステムの構築と効果指標に関する検討
 - ○佐藤俊幸(岩手県大)
- 2 生産者の意欲向上を考慮した地域食材情報提供システムの構築
 - ○佐藤健太, 倉俣恵祐, 伊藤紘貴, 山田敬三, 田中 充, 吉岡美子, 長坂慶子, 松本絵美, 佐々木淳(岩手県大)
- 地元食材・料理情報提供システムにおける簡易な動画像アップロード 方式の提案 〇伊藤紘貴, 山田敬三, 田中 充, 佐々木淳(岩手県大)
- 乳製品製造業における生産管理システムの構築
 - ○高橋剛史, 植竹俊文, 堀川三好, 菅原光政(岩手県大)
- 小規模事業者における農産物生産・流通システムの開発
- ○馬 欣, 植竹俊文, 堀川三好, 竹野健夫, 菅原光政(岩手県大) 水稲気象被害軽減システムによる生産者コミュニティの形成と情報共有 ○田村 亘, 南野謙一, 佐藤 匠, 渡邊慶和(岩手県大)
- MZPlatform を利用した生産工程管理システムの開発 リアルタイム 進捗管理と可視化技術 - ○清水邦宏,石田知寛,越田高志(松江高専)
- 部品発注・納品管理による生産工程管理システムの開発
 - ○荒木孝行,越田高志(松江高専)
- 購入情報記録カードを用いたリコール支援システムの提案と開発
 - ○深田伸也,縄崎北斗,井上雅裕(芝浦工大)

学生セッション [4ZB 会場] (3月11日(水) 15:30~17:30)

- 語学教育・音楽教育・心理学教育 座長 ビラール イリヤス (長野大)
- 外国人の初級日本語文におけるカナ使用法の誤り検出および訂正
 - ○杉野勝也, 絹川博之 (電機大)
- 外国人研修生用工場ノウハウ取得のための研修支援システムの構築 ○沈 彦赫, 國藤 進, 三浦元喜, 羽山徹彩 (北陸先端大)
- アラビア語学習支援システムの開発 ○ Salem Ebrahim (拓大)
- RFID を使った幼児向け英語教育システムの構築
 - ○市川 薫, 山口治男 (東京工科大)
- Web 資源の活用により半自動で問題作成可能な英語学習支援システム ○日下大輔, 堀 幸雄, 今井慈郎 (香川大)
- 音楽理論に基づく児童対象メロディ付き物語創作支援システムの改良 ○亀谷学人, 佐藤貴之(仙台高専)
- Q&A をベースにした電子楽器を多面的に学ぶ Web 映像コンテンツの ○佐野信一郎, 西尾典洋(静岡大),
- 渡辺有果子 (デジタルセンセーション), 杉山岳弘 (静岡大)
- (講演取消)

学生セッション [5ZB 会場] (3月12日(木)9:30~12:00)

- e-learning · PBL 座長 駒谷 昇一(筑波大)
- e ラーニングにおけるレコメンデーション技術の開発
 - ○浜詰祐馬,和田雄次,土肥紳一(電機大)
- 2 総合学習のための適応的コンテンツ配信 ○朝倉佑貴(阪府高専) 3 授業支援型インターフェイスを実装した CEAS/Sakai 連携システムの開発
 - 授業支援型 BBS 機能及び SCORM 学習教材学習支援機能の実現 -○矢野敏也, 冬木正彦, 植木泰博, 花田良子 (関西大)
- 4 CEAS に連携する汎用 CMS を用いた授業支援型 BBS の実装と評価 ○水上賢治, 冬木正彦, 植木泰博 (関西大)
- プロジェクトベース学習のためのファシリテーション技術の教材作成 ○橋本 唯,橋本彩香,荒木 光,内藤広志 (阪工大)
- プロジェクトベース学習の問題解決プロセスを支援するツール ○藤原僚太, 東田恵治, 三上翔平, 米田典弘, 内藤広志 (阪工大)
 - -59-

- 6 看護系の情報学講義における標準カリキュラムの策定に向けた予備調査の 考察 ○村上雅俊(釧路公大),木元久美子(釧路労災看護専門学校), 林 洋子(釧路市立高等看護学院),柿崎遠哉,松元初美(釧路公大), 平田ひろ子(釧路労災看護専門学校),皆月昭則(釧路公大)
- 7 救命救急医療システムの覚知プロセスにおける最適搬送支援システム 概念の導出と考察 ○荒川健士、小林俊基、皆月昭則(釧路公大)
- 8 救命救急医療システムの覚知プロセスにおける最適搬送支援システムの構築 ○小林俊基、荒川健士、皆月昭則(釧路公大)

学生セッション [3ZC 会場] (3月11日 (水) 9:30~12:00) 地域と観光 座長 鈴木 恵二 (北大)

1 バーチャルスタディマップにおける CG 画像の DB 化

○杉浦真由美,飯塚 論,内藤俊彦,吉田眞澄(筑波学院大)

2 公共施設における案内情報配信のためのデータ放送コンテンツの提案 ○福安真奈、堀崎千穂(中京大)、浦 正広(名大)、

久野秀幸 (瀬戸市),山田雅之 (中京大),安田孝美 (名大)

幼稚園における子育て支援システムの構築

○浅井勇貴, 岡本 東, 堀川三好, 菅原光政(岩手県大)

4 幼稚園保育所における連絡支援システムの構築と評価

○木村恭子, 山田敬三, 田中 充, 佐々木淳(岩手県大)

5 地域発展の情報に関する時空間 GIS サービスの試作

○紺社聖司, 辻 光宏 (関西大)

6 まちの変遷を考慮した住民向け地域学習支援システムの開発

○工藤 彰,窪田 論,市川 尚,阿部昭博(岩手県大)

7 野外美術館における鑑賞支援システムの考察

○佐藤 歩, 市川 尚, 窪田 諭, 阿部昭博(岩手県大)

8 歴史テーマパークを対象とした UD 観光情報システムの開発

- 基本機能と項目反応理論に基づくクイズ機能 -

○宮澤芳光, 市川 尚, 窪田 諭 (岩手県大),

大信田康統(もりおか障害者自立支援プラザ),阿部昭博(岩手県大)

9 歴史テーマパークを対象とした UD 観光情報システムの開発

~ UD への配慮とナビゲーション機能~

○川村和也, 市川 尚, 窪田 諭 (岩手県大), 大信田康統 (もりおか障害者自立支援プラザ), 阿部昭博 (岩手県大)

学生セッション [4ZC 会場] (3月11日 (水) 15:30~17:30)

身体 座長 片寄 晴弘 (関西学院大)

フェンシング動作の前移動における「隙」の検出と提示

○菅野康平,松田浩一(岩手県大)

2 内部モデルとフィードフォワード制御によるテルミン演奏ロボットの開発 ○水本武志(京大), 辻野広司(ホンダ RIJ),

尾形哲也, 高橋 徹, 奥乃 博(京大)

3 あやとり表記法を入力とするあやとりの平面図生成ツールの開発 ○小泉智史,西田誠幸(拓大)

4 和太鼓再生音のリアリティと触覚振動・音・拍打の三要因との関係分析 ○山岡 晶,風井浩志,片寄晴弘(関西学院大)

5 和太鼓の手首の動きと音の良さの関係についての基礎的検討

○中里直樹, 松田浩一(岩手県大), 中里利則(無所属)

6 Motion Capture 狂言所作 3D モデルの振り帳への変換方式について

○河村辰也(サレジオ高専),綾井 環(カラビナシステムズ), 野島伸仁(サレジオ高専),勝又洋子(電機大),

吉野純一, 市村 洋(サレジオ高専)

7 狂言謡の一人稽古を支援するシステムの開発 ○塩澤隆允, 河村辰也,神山健太 (サレジオ高専),綾井 環 (カラビナシステムズ), 野島伸仁,吉野純一,市村 洋 (サレジオ高専)

8 ピアノ演奏者のための VJ システム「Aims」

○有田翔悟(関西学院大)

学生セッション [5ZC 会場] (3月12日(木) 9:30~12:00) エンタテインメントコンピューティング

座長 藤澤 隆史(関西学院大)

- 1 空中筆記による太さや掠れの変化を考慮した筆書き風描画インタフェース ○佐々木淳, 松田浩一(岩手県大)
- 2 携帯ゲームアプリケーション開発を支援するオブジェクト指向を用いた フレームワークの開発

○橋山牧人 (慶大), 中鉢欣秀 (産業技術大), 大岩 元 (慶大)

3 レビュー採点基準作成の提案とゲーム評価への応用

○佐藤宏輝 (東京工科大)

4 人物キャラクター画像の特徴分析によるアニメ作品評価

○河谷大和,柏崎礼生,高井昌彰(北大),高井那美(北海道情報大)

- 5 アニメーションシーン発想支援法 ○寺井慎吾(東京工科大)
- 6 本質的に異なる数独解盤面の列挙と番号付け ○井上真大(京大)
- 7 落書きによるエンターテイメント性を考慮したライブチャットシステム ○斎藤優也,松田浩一(岩手県大)
 - PICTORI: 位置的関係と時間の共有によるコミュニケーション

○豊島 巧, 井上亜沙美, 近藤奈緒, 張 楠 (東海大),

中村崇之 (トリオンサイト企業組合),

富田 誠, 内田 理, 池村明生 (東海大)

fNIRS によるテレビゲーム協力プレイ時における脳活動の分析

○三浦和也, 宮崎光二, 風井浩志, 片寄晴弘 (関西学院大)

学生セッション [6ZC 会場] (3月12日(木) 14:30~16:30)

コンピュータと人間社会 座長 後藤 真(花園大)

- 1 デュアルユーステクノロジーの開発 ○井手達夫(早大)
- 2 国内学協会における学術論文電子公開推進のための調査と課題 ○相澤正人、Valerie McGown、中平勝子、福村好美(長岡技科大)
- 木簡解読のためのテキスト検索の改善

○ SOMAYEH SHERINI,未代誠仁,中川正樹(農工大), 馬場 基,渡辺晃宏(奈良文化財研究所)

4 木簡解読支援のための効果的な画像処理の研究

○高倉 純, 耒代誠仁, 中川正樹 (農工大), 馬場 基, 渡辺晃宏 (奈良文化財研究所)

5 メタデータ自動マッピングを用いた人文系データベース横断検索システムの 構築 ○鳥羽拓志、手塚太郎、木村文則、前田 亮(立命館大)

学生セッション [1ZD 会場] (3月10日(火) 9:30~12:00)

デジタルストーリーテリング 座長 角 薫 (NICT)

1 映像撮影の規則とシミュレーション - 『東京物語』を素材として -

○立花 卓, 小方 孝 (岩手県大)

物語映像における行為の分析 - 『東京物語』を素材として -

○冨手 瞬, 小方 孝 (岩手県大)

3 物語生成システムにおける物語言説生成機構

○秋元泰介, 小方 孝(岩手県大)

4 物語における表現の複合性について

○土橋 賢, 小方 孝 (岩手県大)

5 ストーリーと物語世界 〇中嶋美由紀,小方 孝(岩手県大)

6 物語生成システムにおける言語生成の諸相

○大石顕祐, 晴山 秀, 小方 孝 (岩手県大)

7 (講演取消)

8 広告における商品導入の修辞の分析とシステム

○阿部弘基, 小方 孝, 花田健自(岩手県大)

デモセッション [デモ会場]

デー03 (3月11日 (水))

RPG の特徴を有した TOEIC 用語彙力向上支援システムの開発

○瀬戸敏文, 佐藤貴之, 久保田佳克(仙台高専)

第71回全国大会委員名簿

第71回全国大会組織委員会

委員長 土井美和子(東芝) 副委員長 田中 二郎(筑波大)

厚宏(NTT), 柴山 悦哉(東大), 徳田 英幸(慶大), 西田 豊明(京大), 福田 委 員 後藤 晃(九大),

徹(東京工科大), 松原 仁(はこだて未来大), 吉野 松樹(日立)

第71回全国大会プログラム委員会

委員長 松原 仁(はこだて未来大)

副委員長 山下 洋一(立命館大)

隆(日立), 伊藤 毅志(祐司(NTTデータ), 田中 毅志(電通大), 大内 一成(東芝), 大西 淳(立命館大), 近藤 正章(電通大), 委 員 青柳

二郎(筑波大), 遠里由佳子(立命館大), 西山 智(NICT), 野田五十樹(産総研), 坂田

屋代 聡(日立), 山田 一郎(NHK技研), 山本里枝子(富士通研), 吉岡 克成(横浜国大)

第71回全国大会現地実行委員会

委員長 大西 淳(立命館大) 洋一(立命館大) 幹 事 山下

知論(立命館大), 伊藤 將弘(立命館大), 榊原 一紀(立命館大), 西村 俊和(立命館大), 林 恒俊(立命館大), 委 員 泉

毛利 公一(立命館大)

第71回全国大会プログラム編成WG

委員長 松原 仁(はこだて未来大)

阿久津達也(京大), 石原 丈士(東芝), 一戸 信哉(敬和学園大), 今井 尚樹(KDDI研), 岩山 委 員

浩(群馬大), 大久保隆夫(富士通研), 影広 達彦(日立), 金子 知適(東大), 鎌原 淳三(神戸大),

泰伸(筑波大), 齋藤 孝道(明大), 坂田 祐司(NTTデータ), 佐々木 広(東大), 佐藤 尚(神る高廣(筑波大), 地引 昌弘(NEC), 清水 將吾(首都大東京), 鈴木 卓治(国立歴史民俗博物館), 尚(神奈川工科大),

品川

高木 亮治(宇宙航空研究開発機構),高木 真一(早大),田上 敦士(KDDI研),常盤 拓司(東大),長尾 確(名大).

崇(東大), 古市 実裕(日本IBM), 帆足啓一郎(KDDI研), 松永 賢次(専修大) 中村 祐一(NEC), 二宮

宮本 勝(NTT), 宗森 純(和歌山大),屋代 智之(千葉工大),山下 洋一(立命館大),山田 敏規(埼玉大),

大作(東大), 義久 智樹(阪大),和田 勉(長野大) 構山

第71回全国大会 イベント企画

特別セッション(1):最先端IT技術による防災・減災の現在と未来

野田五十樹(産総研), 吉岡 克成(横浜国大)

特別セッション(2):コンピュータ将棋は止まらない 一人間トップに勝つコンピュータ将棋ー

伊藤 毅志(電通大)

特別セッション(3):この1曲が私の研究テーマを決めた

屋代 聡(日立)

特別セッション(4):加速度センサとその応用技術・事例 [*電子情報通信学会 ISS UBIC研究会協賛]

西山 智(NICT)

特別セッション(5): 擬人化エージェントとの音声対話を実現する基盤ソフトウェア

山下 洋一(立命館大)

特別セッション(6):未来の生活を変えるAIPSロボティクス~未来の生活を変えるメカエレキソフトの融合技術~

近藤 正章(電通大)

特別セッション(7):ロボカップ春季競技会

秋山 英久(産総研), 伊藤 暢浩(愛知工大), 野田五十樹(産総研)

シンポジウム(1):学会の新たなベクトルに向けて:情報セキュリティ心理学とトラスト研究グループの立ち上げと期待される今後の活動

村山 優子(岩手県大),情報セキュリティ心理学とトラスト(SPT)研究グループ

シンポジウム(2): 私の詩と真実

発田 弘(沖電気), 歴史特別委員会

シンポジウム(3):2008年度以降の一般情報教育のあり方を問う

河村 一樹(東京国際大),一般情報処理教育委員会

シンポジウム(4):情報を副専攻とする理工系学科の知識項目

佐渡 一広(群馬大),情報処理教育委員会

シンポジウム(5):ソウルアコード ー情報専門学部教育認定の国際相互承認ー

捷彦(早大)、アクレディテーション委員会

シンポジウム(6):IT専門職大学院を対象とした認証評価モデル

掛下 哲郎(佐賀大),情報処理教育委員会,高度IT人材育成フォーラム,IT専門職大学院認証評価検討委員会

今大会では、 立命館大学様より会場のご提供を頂き誠にありがとうございました. ここに厚くお礼申し上げます。

社団法人 情報処理学会